後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事

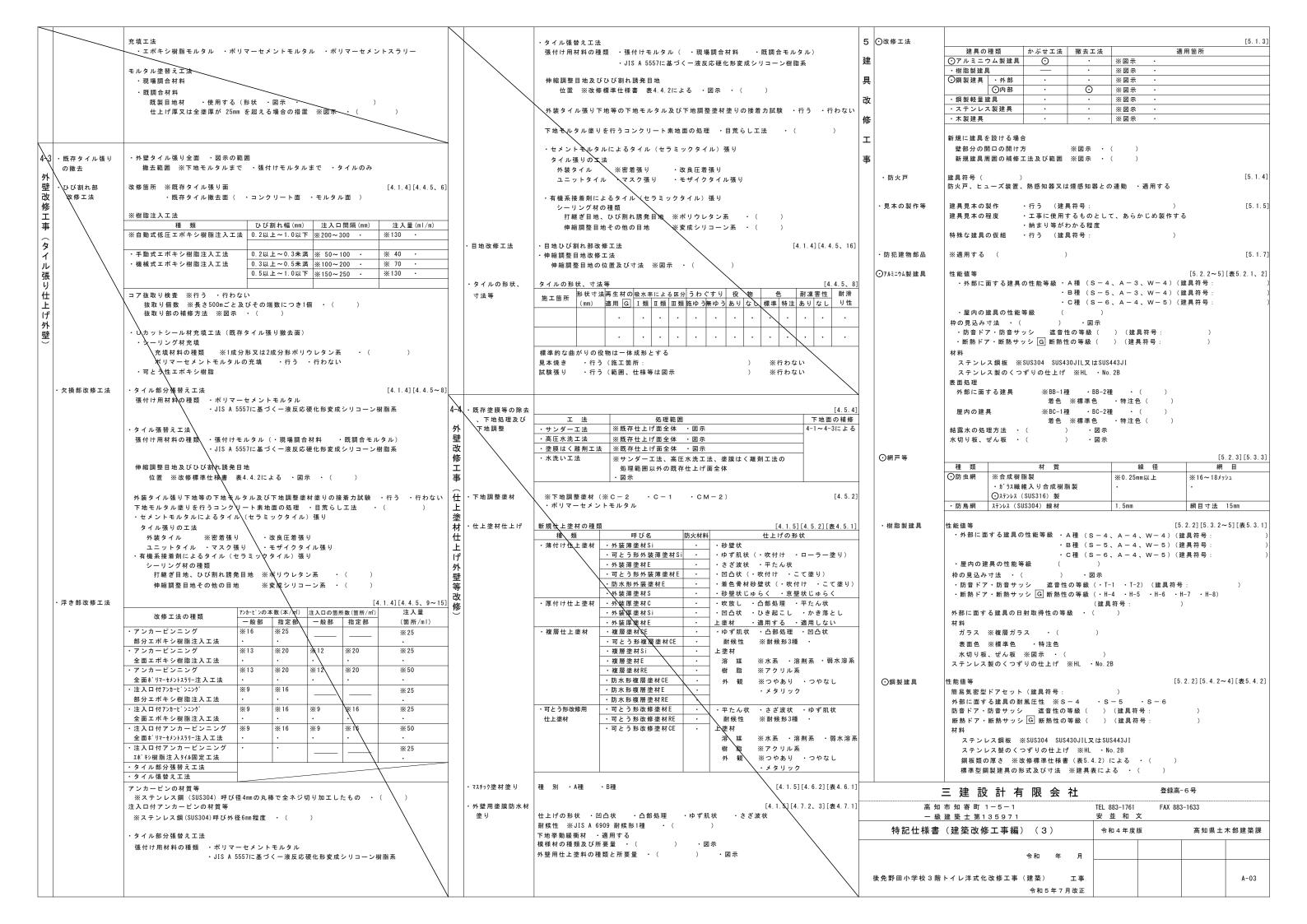
後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事

			図 面 リ ス ト	•	
意	匠 図	電気	表設備図	機相	诫 設 備 図
A-01	特記仕様書(1)	E-01	特記仕様書	M-01	機械設備特記仕様書 (1)
A-02	特記仕様書(2)	E-02	機材指定表	M-02	機械設備特記仕様書(2)
A-03	特記仕様書(3)	E-03	2階電灯設備平面図	M-03	衛生設備 3階平面詳細図(改修前・後)
A-04	特記仕様書(4)	E-04	3階電灯設備平面図	M-04	換気設備 2・3階平面図(改修前・後)
A-05	特記仕様書(5)	E-05	3階コンセント設備平面図		
A-06	特記仕様書(6)				
A-07	特記仕様書(7)				
A-08	特記仕様書(8)				
A-09	特記仕様書(9)				
A-10	特記仕様書(10)				
A-11	付近見取図・配置図				
A-12	仕上表・平面図				
A-13	平面詳細図(改修前・後)				
A-14	断面詳細図(改修前・後)				
A-15	2階天井伏図(改修前・後)				
A-16	3階天井伏図(改修前・後)				
A-17	部分詳細図 (改修前・後)				
A-18	展開図(改修前)				
A-19	展開図(改修後)				
A-20	建具表				
A-21	【新設】建具表				
A-22	家具図				
A-23	外部仮設計画図				
A-24	内部仮設計画図				

|○完成時の提出図書 | ※完成図(配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表) CADデータ(CD-R)とも 分析方法 特記仕様書(建築改修工事編) 定性分析 定量分析 記入内容は標準仕様書 表1.7.1による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 材料名 (JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2) (JIS A 1481-3 ± t-1± JIS A 1481-4) I 工事概要 ※施工計画書 (A4ファイル綴じ 提出部数:1部) 1. 工事場所 高知県南国市下野田276-2 (都市計画区域 (内)・外) 笛所数(※施工図 (CADデータ 提出部数: 1部) 箇所数(※保全に関する資料 (提出部数 ※1部 2. 敷地面積 10, 667. 21 m² 筒所数 箇所数 3. 構造 規模 RC造3 笛所数 箇所数 ___ m^{*} 5. 延床面積 1,954.62) 筒所数(4. 建築而積 779.85 ※工事写真・完成写真 写真データ (CD-R) とも 提出部数 部 数 区分 6. 主要用途 サンプル数 1箇所あたり3サンプル 分類規格 小学校 着工前及び工事中 カラー ※サービス版 Ⅱ 建築改修工事仕様 工程毎 1部 採取箇所 図示 1. 共通仕様 カラー ※キャビネ版 部 施工数量調查 調查項目 Г1. 6. 21 ・防水改修 ・外壁改修 ・((1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事 カラー・全紙版(アルミ額縁入) 枚 部 標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という)により、改修標準仕様書 調査範囲 ※図示 枚 調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・図示 に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび (令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という)による。 デジタル写真の仕様は1適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。 割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 (2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそ ※上記の他、完成写真内外6面程度(カラーサービス版)、及びその画像データを完成検査時 また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する。 れぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備改修工事の仕様書は()図、機械設備改修工事の仕様書は に1部提出する。 (必要に応じ写真等を添付する) ()図による。 ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め (3) 受注者は完了検査(中間検査を含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な書類等 監督職員と協議を行う。 調査のための破壊 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 F1 6 37 報告書等)を用意すること。 部分の補修 ○特別な材料の工法 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (1) 項目は、①印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、①印の付いたものを適用する。 ○技能士 [1, 7, 2] ・見本施工 ※行わない 技能検定作業の種別 ○町の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 工事種目 技能検定職種 とが作業 仮設工事 ・印と※印の付いた場合は、共に適用する。 L 75 ○施工図及び施工 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものと (3) 特記事項に記載の[. .]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 ・アスファルト防水工事作業・ウレタンゴム系途障防水工事作業 防水改修工事 防水施工 計画書 (4) 特記事項に記載の(...)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 (5) G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の 合成ゴム系シート防水工事作業 ○設備工事との 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ___ 特定調達品目を示す。判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 取り合い 施工範囲 区 分 シーリング 防水工事作業 ・FRP防水工事作業 (令和4年2月25日変更閣議決定)」(環境省のホームページからダウンロード可能)による。 梁貫诵部の補強 ※ 本丁事 · 別涂丁事 (6) 標準仕様書又は改修標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法 ・ 改質 アスファルトシートトーチエ法防水工事作業 梁貫通部のスリーブ ・本工事 ※別途工事 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)抵触する場合には、関係 自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアーチェック、フロアヒンジ ※本工事 · 別途工事 法令等の導守[1,1,13]の規定を優先する。 建築板余 內外装板金作業 天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強 ※本工事 · 別途工事 ・樹脂接着剤注入工事作業 从辟改修丁事 樹脂接着剤 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ・本工事 ※別途工事 注入施工 ·本工事 ※別途工事 1 ○適用基準及び ※ 建築工事監理指針(上下巻) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) 左官 ・左官作業 ※本工事 · 別涂工事 ※ 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・タイル張り作業 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート 区分 ·本工事 ※別途工事 建具改修工事 サッシ施 工 ・ピル用サッシ施工作業 国土交诵大臣官房官庁党繕部監修 鉄骨設計標準図 電気室、自家発電室などのピット(蓋含む) ※本工事 ·別途工事 · 鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会 ・ガラス工事作業 ガラス施工 · 自動ド7施工作業 章 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編) 白動ド7施工 ○撤去部分 コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする ※ 建設副産物滴正処理推進要綱 内装改修工事 建築大工 ○大工工事作業 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 内装仕上施工 ○鋼製下地工事作業 ※ 建築材料等評価名簿 ※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 内外装板金作業 建築板金 通 内装仕上施工 ⊙プラスチック系床仕上げ工事作業・カーペット系床仕上げ作業 ○ 足場等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。 ・木質系床仕上げ工事作業 〇ボード仕上げ工事作業 足場を設ける場合、改修標準仕様書2.2.1によるほか、設置においては、「手すり先行工法に 区分等 基準風速 Vo=()m/s 地表面粗度区分(・I ・II ・IV) ・化粧フィルム工事作業 関するガイドライン」別紙1 (手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準)における2の 積雪区分 建設省告示第1455号 別表() 熱絶縁施工 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業 仮 (2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 表装 ・壁装作業 外部足場に設ける防護シート等 [1.3.3] ○電気保安技術者 適用する ○適用しない ・左官作業 ○養生シート※JISA8952の I 類に適合するもの タイル張 り ・タイル張り作業 (建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの) ○施工条件 施工時間帯 ※指定なし ⊙指定有り(打合せによる) Γ1. 3. 5T **塗装改修工事** 建築塗装作業 途 装 т ・防音シート ・採光防音シート ・養生ネット 部位別の施工順序 ※指定なし ⊙指定有り(打合せによる ・鉄筋組立て作業 耐震改修工事 鉄筋施工 ・型枠工事作業 型枠施工 事 ○既存部分の養生 既存部分の養生方法 ※ビニルシート等・(Γ2. 3. 17 発生材の処理 ・引き渡しを要するもの(コンクリート圧送施工・コンクリート圧送工事作業 Γ1. 3. 121 既存家具等の養生方法 ※ビニルシート等・(特定管理產業廢棄物 (種類・ **卯**理方法: 鉄工 構告物鉄工作業 既存プラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所 ・図示(・現場において重利用を図るもの(・ レ バ 作 堂 固定された備品、机・ロッカー等の移動 ・行う(図示: とび ・再生資源化を図るもの(○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材) 環境配慮改修工事 · 建築配管作業 配管 路面表示施工 ・溶融ペイントマーカー工事作業 ・加熱ペイントマーカー工事作業 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。 ○仮設間仕切り [2.3.2][表2.3.1 仮設間仕切り等の種別 ・造園工事作業 種 別 下 地 仕上材 (厚さ mm) 充てん材 塗装 材料の品質等 ・木下地 ※せっこうボード(※9.5・ 厚さ mm A 種 本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及び ⊙室内空気中の化学 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を ※軽量鉄骨 · 合板 ※無し (※9.0 JASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする 物質の濃度測定 測定し、報告すること ・木下地 ※せっこうボード(※9.5・ ・片面 ● B 種 ※軽量鉄骨 合板 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること 測定対象室及び測定箇所数 ※図示(仕上表備考欄) ・(2)か所 (※9.0 ⋅ ※無し 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること · C 種 単管下地 防炎シート 3) 安定的な供給が可能であること ②室内空気汚染 ※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物(VOC)の放散による健康への影響に配慮し、次の ※木製扉 ※合板張り程度 **※無し** ⊙仮設扉 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること (揮 発性 有 機 化 合 条件を満たすものとする。 ・鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・ 有り 5) 製造又は施工の宝績があり その信頼性があること 使用制限 対象建築材料等 物)対策 ①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること ○監督職員事務所 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明とな 単板積層板、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、 F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする ・構内に新設する(規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書 る資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材 (施工条件明示)による) ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ホルムアルテ゛ヒト゛、 アセトアルテ゛ヒト゛、 スチレン、 トルエン、 キシレン、 ・既存建物内の一部を使用する(場所 ② 塗 料 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品及び同等品を使用するものとし、同等品を エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする ※設けない 使用する場合は監督職員の承認を受けること。 クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブを含有しない。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断 ③木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等) 非有機以系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理 ○工事用水 構内既存の施設 ※利用できる(⊗有償 ・利用できない の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木 は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する 材の合法性の確認について(通知)」による証明書等を、監督職員に提出する。 ⊙エ事用電カ 構内既存の施設 ※利用できる(⊗有償 ・①無償) 1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、 キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする ○石綿含有建材 ④内装用接着剤、木工事用接着剤 2) フタル酸ジ-n-プチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有 の調査 しない難揮発性の可塑剤を使用しているものと ※ 石綿含有建材の事前調査 祭録高-6号 三建設計有限会社 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 する ①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆ 高知市知寄町1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 貸与資料 (⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、 を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆ 一級建築士第135971 安並和文 流し台 ・ 分析による石綿含有建材の調査 ☆は同等品を使用する 特記仕様書(建築改修工事編)(1) 今和 4 年 度 版 高知県土木部建築課 室内に関わる材料は(上記①~⑤及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む 分析対象 については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジーnープチル、フタル酸 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、 ジー2ーエチルヘキシル、クロルビリホリス、ダイアジノン、フェノプカルプの有無または成分について一覧表に記入し、その クロシドライト、トレモライト 資料を添付して提出するものとする。 後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事(建築) 丁事 A-01

令和 5 年 7 月改正

3	・降雨等に対する	※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)。	~ (ウ)による ・ () [3.1.3]	・合成高分子系	絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート ・ ()	[3.5.2]		※樹脂注入工法			[4. 1. 4] [4. 2. 4~7]
防	養生方法(とい共)				ルーフィンク シート防水	断熱材 G (SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) 種類 () 厚さ・25mm ()		改修工法 外	種 類 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		□間隔(mm) ~300 ·	注入量(ml/m) ※130 ·
水	・既存防水の処理		(範囲・図示・) [3.2.3, 4, 6]			3.5.2~3][表3.1.1][表3.5.1~2]	壁		0.2以上~0.3未満 ※ 50/	100 -	× 40 ·
改		既存防水層の撤去 ・行う 立上り部の防水層撤去 ・行		- M4SI - S4S - S4SI)		工法 種別 施工箇所 厚さ(mm) 分類 ・POS ・S-F1 ※1.2 ※非歩行		以 修	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上~0. 5未満 ※100~		× 70 ·
修		既存露出防水層表面の仕上げ塗	装の除去 ・行う(・M4AS	· M4ASI · M4C · M4DI · L4X)		· S 4 S · S - F 2		エ 事		0.5以上~1.0未満 ※150	~ 250 •	※130 ⋅
T	・既存下地の処理	既存下地の補修箇所、範囲、数	:量等 ・図示 ・() [3.2.6]		· S - M 2	・設ける	*	注入状況の確認方法 ※コア抜取り	 リ検査 抜取り部の補修方法	: ※図示	• ()
重	・ アスファルト防 水	押え金物 ※アルミニウム	製 L-30×15×2.0 (mm)	• () [3.3.2]		・S 3 S ・S - F 1		コ)		
7	,							<u>ク</u>	・リカットシール材充填工法	_		
		屋根保護防水	工箇所 断熱材 G	[3.3.2~5][表3.1.1][表3.3.3~6] 絶縁用シート 立上り部の保護		・M4S ・S-M1 ※1.5・ ※非歩行 ・S-M2 ※1.5・ ・軽歩行	・カラー 脱気装置 ・シルバー ・設ける	リー	・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は	12成分形ポリウレタン系	• (,
		• P 2 A • A - 1		※ポリエチレンフィルム ・乾式保護材				<u>-</u>	ポリマーセメントモルタル	\	`	,
		· A - 2 · A - 3		厚さ0.15mm以上 ・れんが押え 又はフラットヤーンクロス ・コンクリート押え		・POSI ・SI-F1 ※1.2 ・ ※非歩行 ・S3SI ・SI-F2 ※2.0 ・ ・軽歩行		打 放	・可とう性エポキシ樹脂			
		• P 1 B • B – 1		70g/㎡程度		S 4 S I S I - M 1		Ϊ	・シール工法			
		• B - 2 • P 2 A I • A I - 1	厚さ ・25mm	・ ※フラットヤーンクロス		・M4SI ・SI-M2 ※1.5 脱気装置の種類及び設置数量 ※ル-フィングシートの製造所の指定による		仕 上	・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂			
		· A I - 2	•	70g/㎡程度 -		・ (種類: 、数量 防湿用フィルムの設置 (SI-M1、SI-M2の場合) ・適用する	個 / m³)	げ				
		· P 1 B I · B I - 1						外 ・欠損部改修工法 壁	※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリ	マーセメントモルタル		[4. 4] [4. 2. 4. 8]
		· T 1 B I · B I - 2				屋内防水 工法 種 別 施工箇所	[表3.5.3] 備考	₹				
		屋根露出防水		[3.3.2~3][表3.1.1][表3.3.7~9]			モルタルの塗厚 ・ mm	\.				
		工 法 種 別 ・M 4 C ・C - 1	施工箇所 断熱材	備考		密着工法		1-2 ・ひび割れ部 改修工法	※樹脂注入工法 種 類	ひび割れ幅(mm) 注入	口間隔(mm)	[4.1.4][4.3.5~8] 注入量(ml/m)
		· C – 2		/		既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合 (接着工法)	[3.5.4]	外	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法			※130 ⋅
		· C - 3				目地処理 ・行う (工法 増張り ・行う (S-F1、SI-F1の場合)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	壁	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 ※ 50.	~100 •	* 40 ·
		· M 3 D · D - 1		脱気装置 ・設ける				修 \	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満 ※100		× 70 ⋅
		• P 0 D • D - 2 • P 0 D I • D I - 1	種類・	改修用ドレン・設ける 脱気装置・設ける	・塗膜防水	L	[3.6.2、3][表3.1.1][表3.6.1~3] 備 考	工		0.5以上~1.0未満 ※150~	~ 250 •	※130 ⋅
		• M 3 D I • D I – 2	厚さ・2	5mm 改修用ドレン・設ける			装置 ・設ける	<u></u>	注入状況の確認方法 ※コア抜取「	リ検査 抜取り部の補修方法	: ※図示	• ()
		・M4DI 脱気装置の種類及び設置数量		inの指定による		· X − 2 · X − 1 H		モル	• ()		
		尼坦西山叶小约约时数 了法。[5]	・ (種類: 、数:			· X - 2 H · L 4 X · X - 1 脱気:	北 空 和 北 7	タ	Uカットシール材充填工法 シーリング材充填			
			\$合の、N-ハ レン周り及ひ立上 ・ () ・図:	: り部周辺の断熱材の張りじまい位置 示		X - 1		ル 塗	充填材料 ※1成分形又は	2成分形ポリウレタン系	• ()
		屋内防水		[3.3.2~3、5][表3.1.1][表3.3.10]		· X - 1 H · X - 2 H		<u>ี</u> ย	ポリマーセメントモルタル ・可と s 性エポキシ樹脂	の充填 ・行う		
		工法種別		備考		・P1Y ※Y-2 保護	層・保護モルタル ・()	仕 上				
		・P1E ・E-1 (工程3 ・P2E ・E-2	・行う) 	保護層 ・設ける		・ P 2 Y │ ※ Y − 2 │ 保護 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による		げ	・シールエ法 ・パテ状エポ キ シ樹脂			
		屋上排水溝 ・適用する				• (種類: 、数量		外	・可とう性エポキシ樹脂			
	改質アスファルト			[3.4.2、3]	○ シーリング	シーリング改修工法の種類	[3.1.4][3.7.2, 3, 7, 8]	 ・欠損部改修工法	※充填工法			[4.1.4][4.3.9、10]
	シート防水					・シーリング充填工法 ①シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジエ法			・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル			
		工法種別	施工箇所	備考		・孤幅シーリング各元県工法・フリッシエ法シーリング材の種類、施工箇所						
		• M 4 A S • A S - T 1 • A S - T 2				下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 施工箇所 シー	リング材の種類(記号)		・モルタル塗替え工法 ・現場調合材料			
		• A S - J 2		•		全ての箇所	MS-2		・既調合材料			
		• M 3 A S • A S - T 3 • A S - T 4		脱気装置・設ける・設けない 改修用ドレン・設ける・設けない					既製目地材 ・使用する(形 仕上げ厚又は全塗厚が 25mm を		. ()
		• A S - J 1				シーリング面への仕上塗材仕上げ等 ・行う ⊙行わない ブリッジエ法 ボンドブレーカー張り ・適用する		155 A dep 31 de - 14				
		• P O A S		脱気装置・設ける・設けない 改修用ドレン・設ける・設けない		フリッシエ法 ホントノレーカー張り ・週用する エッジング材張り ・適用する		・浮き部改修工法	改修工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 注入口の[箇所数(箇所/m²)	[4.1.4][4.3.11~16] 注入量
		• A S - J 1				接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験(部位)			一般部 指定部 一般部 ※16 ※25	指定部	(箇所/ml)
		• A S - J 3 • M 3 A S I • A S I - T 1		脱気装置 ・設ける ・設けない	・とい	といその他の材種 ・配管用鋼管	[3.8.2, 3]		部分エポキシ樹脂注入工法		-	※ 25
		• M 4 A S I • P 0 A S I • A S I – J 1		改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない		・硬質ポリ塩化ビニル管 (※RF-VP G・ ()	· VP)		・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	×13 ×20 ×12	※20 •	* 25 •
				DX 17 * O DX 17 * O V		ルーフドレン			・アンカーピンニング	*13 *20 *12	※20	※ 50
		改質アスファルトシートの種類 ※改修標準仕様書表3.4.1か)		種類 材種 ・ ろく屋根用 (・縦型 ・横型)	施工箇所		全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	\bigwedge	× 25
		脱気装置の種類及び設置数量				・パルコニー用			部分エポキシ樹脂注入工法			* 25
		※改質アスファルトシートの 押え金物 ※アルミニウム		類 ()・設置数量 ()個 度 ・ ()		・バルコニー中継用 防露材のホルムアルデヒド放散量			・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	* 9	* 10	* 25
		断熱材 G (ASI-T1、ASI-J1の	場合) 種類 () 厚さ ・25mm ・ ()		※「1(各章共通事項)、室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」に			・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	*9 *16 *9	*16	×50
		仕上塗料 種類 ※改質アスファルト	シートの製造所の指定による	3 · ()		既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ ()・凶ホ		・充填工法			
		使用量 ※改質アスファルト 高日射反射率防水の適用 G		ã · ()	・アルミニウム製笠木	種 類 ・オープン形式 (・押出250形 ・押出300形 ・押出350 ・シール形式 (板材折曲げ形)	形) [3.9.2、3]		・モルタル塗替え工法 アンカーピンの材質等			
		高日射反射率防水の週用 [G]	・週用する			板材折曲げ形の場合 本体幅 (mm) 板厚 (※2.0mm・)		アフカーヒフの材 貝等 ※ステンレス鋼 (SUS304)呼び	径4mmの丸棒で全ネジ切り加ご	エしたもの	
						役 物 ・適用する 表面処理 種別 ・AB-1種又はBB-1種 ・BB-2			注入口付アンカーピンの材質等			
						着色 ·標準色 ·特注色 工 法			※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び外	径 6mm 程度 • ()		
						既存笠木等の撤去 ・行う (範囲 ・ ・図示)						
						下地補修の工法 ・ () ・ 図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ () ・ 図示		特記仕様書	(建築改修工事編) (2)	令和 4 年度版	ī	高知県土木部建築課
			<u></u>		・防水保証期間	期間は(10)年とし、請負業者、施工業者、製造業者の3社	I 連名の保証とする。		令和 年	Я		
		三 建 設 計 有 限 ^{市 知 寄 町 1-5-1}						後免野田小学校 3 階	トイレ洋式化改修工事(建築)	工事		A-02
		市 知 奇 町 1-5-1 建 築 士 第135971	TEL 883-1761 安 並 和 3						令和5年7	月改正		



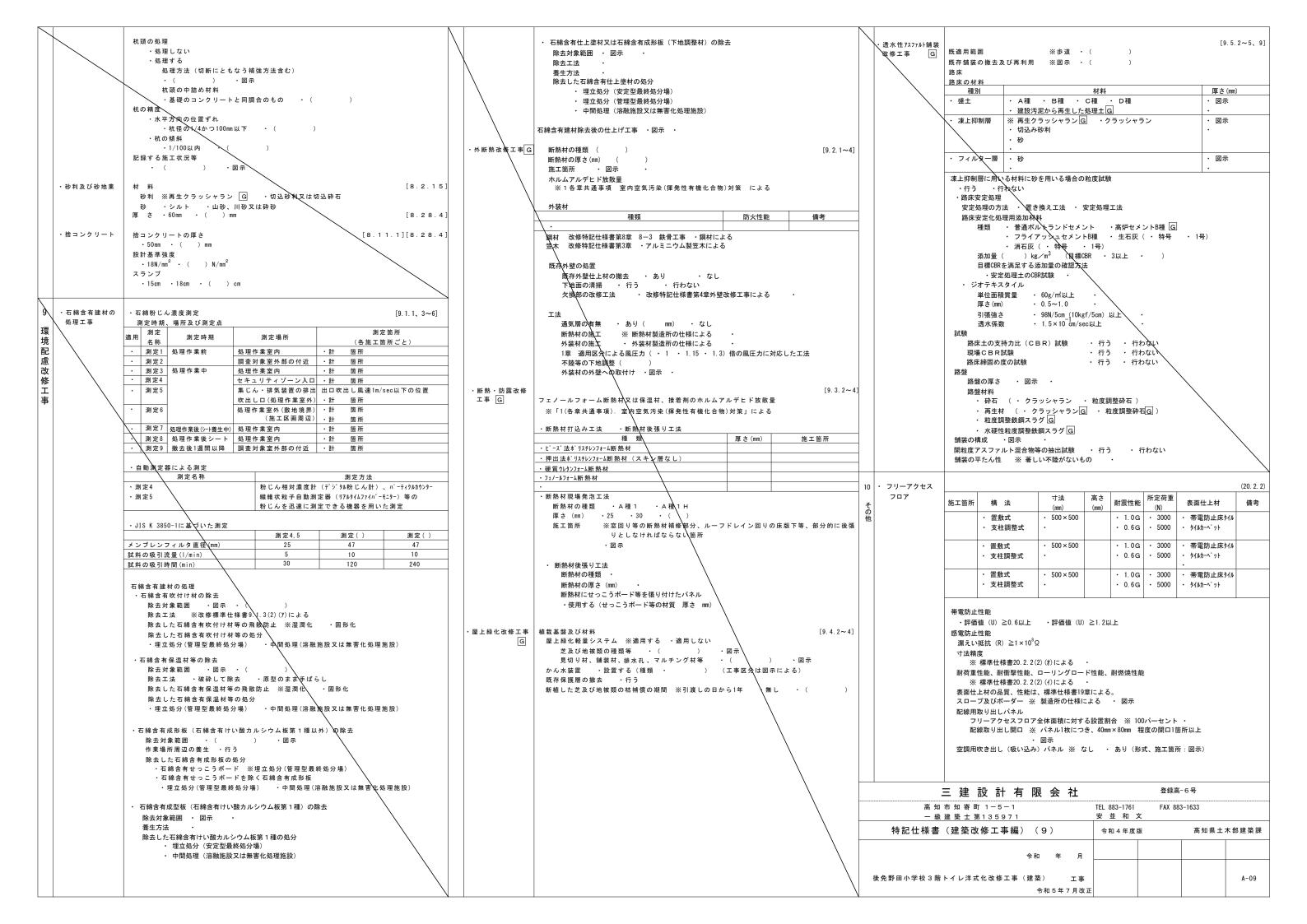
・鋼製軽量建具	性能値等 簡易気密型ド	「アセット(建	建具符号:)	[[5. 2. 2] [5. 5. 2~4]	・軽量シャッター	- 開閉方式の種類 ※ 引 耐風圧強度 (手動式 ・電動式(手動)pa	動併用)		[5.12.2~4]	6 ○改修範囲	既存間仕切壁の撤 ※壁厚程度とし					且	[6.1.3]
			遮音性の等級 断熱性の等級					安全装置 電動式シャッターの スラットの材質	D障害物感知装置 ※建	建具表による ・(()		内	天井内の既存壁の ※壁面より両側)改修範囲 じた仕上げを行う	・図示	
	ステンレス錚	■板 ※SUS30	・ビニル被覆 4 SUS430JIL: 手の材質 ※	又はSUS443JI	5 一鋼板 ・ステンレス鋼	板		・JIS G 3322 (塗装浴	容融亜鉛めっき鋼板及び銷 容融55%アルミニウムー亜鉛合金& インターロッキング形	めっき鋼板及び鋼帯	帯) めっきの付		改	既存天井の撤去に	伴う取合い部の	壁面の改修	*	《既存のまま (9図示	
	ステンレス製鋼板類の厚さ	見のくつずりの ※改修標準)仕上げ ※111	・No.2B 5.1) による	• ()		· オーハ* - ^ ット* ト* 7		「ファーロッペンテルト			[5.13.2、3]	修 ・ で 地補修	ビニル床シート等合成樹脂塗床材の	0		ルとも	情剤とも) (※図示の範囲 ・目荒し工法	・撤去範囲全	[6.2.2] て)
・ステンレス製建具				衣による ・		[5. 4. 2] [5. 6. 2~5]		※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ	※バランス式 ・チェーン式	・スタンダー ・ローヘッド ・ハイリフト	ード形 ※消 ド形 ・2	溶融亜鉛めっき鋼板ステンレス鋼板	事	は 改修後の床の清掃 既存のコンクリー エポキシ樹脂モル	範囲 ・ ト又はモルタル	(面の下地処) 1.理に用し	• 図 示	ントモルタル及 [・]	び
	外部に面する 防音ドア・防 断熱ドア・断	建具の耐風圧 音サッシ	性 ※S-4 遮音性の等級	() (建	具符号:)			風圧力による強さのE 安全装置	区分 (・125 ・100 ・	・バーチカル ・75 ・50) Pa			 		う他の構造体の	補修				[6.3.2]
	材料ステンレス鋼	板 ※SUS304	₽ SUS430JIL⋝	スはSUS443JI			⊙ガラス	電動式の場合の障害	害物感知装置 ※頭	建具表による ・(·. 2~4] [図5. 14. 1]			を超える場合の			()		
	ステンレス製 表面仕上げ ステンレス鋼	※HL仕上げ	・鏡面仕	上げ ・ (・ 合わせガラス 特性による種類	i • Ⅰ類 • Ⅱ-1類	[• Ⅱ-2類 • Ⅱ		. 2 4) [230.14.1]	⊙施工一般	材料のホルムアル ※1各章共通事		染(揮発性	有機化合	物)対策 による		[6.5.2]
・木製建具	※「1(各章共	建具に使用す 通事項) 室	- る表面材及び 内空気汚染(揮	接着剤のホル) ルムアルデヒド放散量 計物)対策」による	[5.7.2~4]		① 強化ガラス 特性による種類 ・ 熱線吸収板ガラス	i · Ⅰ類 · Ⅱ類											
	・フラッシュ戸 ・かまち戸 か ・ふすま 種別	まち樹種() 鏡板	樹種() 見込み寸法()			• 1種 • 2種				⊙木 材 G	本工事に使用すとする。但し、こ				引の森林から生産で を得て使用するこ		使用するもの
	縁仕上げ(・戸ぶすま				・新鳥の子又はビニル紙 わけい ウレタンクリアー塗装))			断熱性による区分	か · T1 · T2 ·T3 対遮へい性による区分 ·		Т6			日本農林規格JA: いることを証明す ・代用樹種		員に提出す	ること。	本農林規格の品質	基準に準じたも	のとなって
	・紙張り障子 枠及びくつずり	の材料・	()	・図示				乾燥気体の種類・熱線反射ガラス	・ 空気 ・ アルゴン	ン				間伐材等の適用			峰の表に1	己載のある場合は) その数値を優先	する)
⊙建具用金物	金物の種類及び ※改修標準仕)材質等 により適用は3	建具表による	[5. 8. 1	~3][表5.8.1~5]		日射熱遮へい性 耐久性 · A:	· 1種 · 2種 · 3 種 · B 種	3種			·製 材 G	- JAS 1083-5 製材						[6. 5. 2]
	樹脂製建具に使	用する丁番の	枚数及び大き	さ ※改修標	要準仕様書表5.8.2による 要準仕様書表5.8.3による 要準仕様書表5.8.4による			・ガラスの留め材及し建具の種類	ガラス留めれ	材	ガラス溝のこ	大きさ (mm)		施工箇所	寸法 (mm) ※	等 級 〔2級	形字	状 含水率 ※A種・Bi		間伐材等の適用
	木製建具に使用 握り玉及びレバ 錠前類、クロー	バーハンドル、	押板類、クレ	セントの取付	標準仕様書表5.8.5による けけ位置 ※建具表による 標準仕様書表5.8.1による	• ()		アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチ		建 具 の 製 造 所 の [,] 図 示	仕様による		・JAS 1083-2 製木						
· 鍵	マスターキー	・製作す ・既存の ⁻	る・# マスターキーに	製作しない こ合わせる		[5. 8. 4]		鋼製及び鋼製軽量 ステンレス製	※シーリング材 ・ ※シーリング材					施工箇所 見え掛り面 見え掛り面以外		等級 上小節 小節以上	形字	状 含水率 ※A種 ・Bi ※A種 ・Bi	種	引伐材等の適用
	その他の鍵 鍵箱	※各室 3 ※無		・有				樹脂製	・ ・シーリング材 ・ガスケット					・JAS 1083-6 製木	-第6部に基づく		 材			
・自動ド7開閉装置	種 類	駆動装置の値	防錆	検出装置の性能値	検出装置の種類	[5.9.2、3]			※グレイジングチ	ャンネル形				施工箇所	寸法 (mm) ※	等 級 1等	刑乡 ×	状 含水率 ※10%以下 ・A種 ・Bi		間伐材等の適用
	引き戸用	※改修標準	・適用する	※改修標準	・光線 (反射) センサー ・熱線センサー ・音波センサー	- ・行う (適用箇所は	・ガラスプロック積み	表面 呼び寸法 形状	厚 さ 色 調 クリア 乳白			[5.14.5] 整目地 (mm)		・JAS 1083 (製材 施工筒所		は面の品質	防虫	処理 防腐・防蟻処		代材等の適用
	駆動装置	仕様書 表 5.9.1	・適用しない		・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ	建具表による)・行わない		・125×125 ・160×160	80	※8~15 外側 ·15~25 ※1	※6m以 15以下	以下ごとに ※無し 幅10~25 ・有り		"S = 1"	造化	作材の場合 ※ A 種	_		※A種 ・B種	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	+ + - + - + -			100.0	・押しボタンスイッチ		<u> </u>	- 320 × 320	95				造作用集成材 G	・「集成材の日本	農林規格」によ	る造作用集	成材			[6.5.2]
	車椅子使用者用 便房出入口	· ※改修標準 仕様書	・適用する		車椅子使用者用便房 スイッチ			長方形 - 250×125 - 320×160		_	6以上			施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面 の品質	伐材等の適用
	引き戸用 駆動装置	表 5.9.2 による	・適用しない	\				曲面積みの曲率半径 壁用金属枠及び補強を 化粧目地モルタルの色		幅寸法の10倍以上と 	とする。							*	1等 ・2等	
・自閉式上吊り 引戸装置	性能 ※改修模	票準仕様書表5	. 10. 1による	• ()	[5. 10. 3]		シーリングの種類金属製化粧カバー) レス製 ・アルミニ ・ ()	ニウム製			・「集成材の日本」 施工箇所	1 化粧薄料		寸法 化	と粧薄板のロムム	材面 ^{見付け材面} の品質	面 間伐材等 の適用
・重量シャッター	シャッターの租	• 9	管理用 シャッタ 小壁用防火シャ 屋内用防火シャ	・ッター 耐原	LI圧強度 () pa LI圧強度 () pa		・建築窓ガラス用		形状 · 図示 ·						7 9 12	15,12	(111117)	FC (IIIII)	※1等 ・:	
	開閉機能方式の	- R	方煙 シャッター	-	!		フィルム	種類※衝撃破壊対応ガラス		内張り用 外	外張り用 ・GI-2	その他の性能値等	-	・「集成材の日本			成材 法			間伐材等
	安全装置		制動装置、急			()		・ 品質 JIS A5759によ			W. 2			施工箇所	樹利	1	(mm)	見付け材面の品		の適用
	電動式シャッ	ターの障害物	感知装置		※建具表による・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	()													※15%以	下
	管理用シャッタ スラット及びシ			・設ける	・設けない									三建設計	有限分	き 社		登録	高-6号	
	鋼板の種類	· JIS G		融亜鉛めっき	・鋼板及び鋼帯)									市 知 寄 町 1-5- 建 築 士 第1359			TEL 883 安 並	-1761 FAX: 和文	883-1633	
		まぐさ、雨掛		板及びカバー	- 、スイッチボックス類の	ふたの材質							特記仕様書	(建築改修工事	編)(4)		令和 4	4年度版	高知県土	木部建築課
	A T J V A	ang ux ≫ onoq	JUS43UJI	L 🖍 14 0U 044 J J	•										令和	年 月			+	
													後免野田小学校 3 階	トイレ洋式化改修工		工事7月改正				A-04

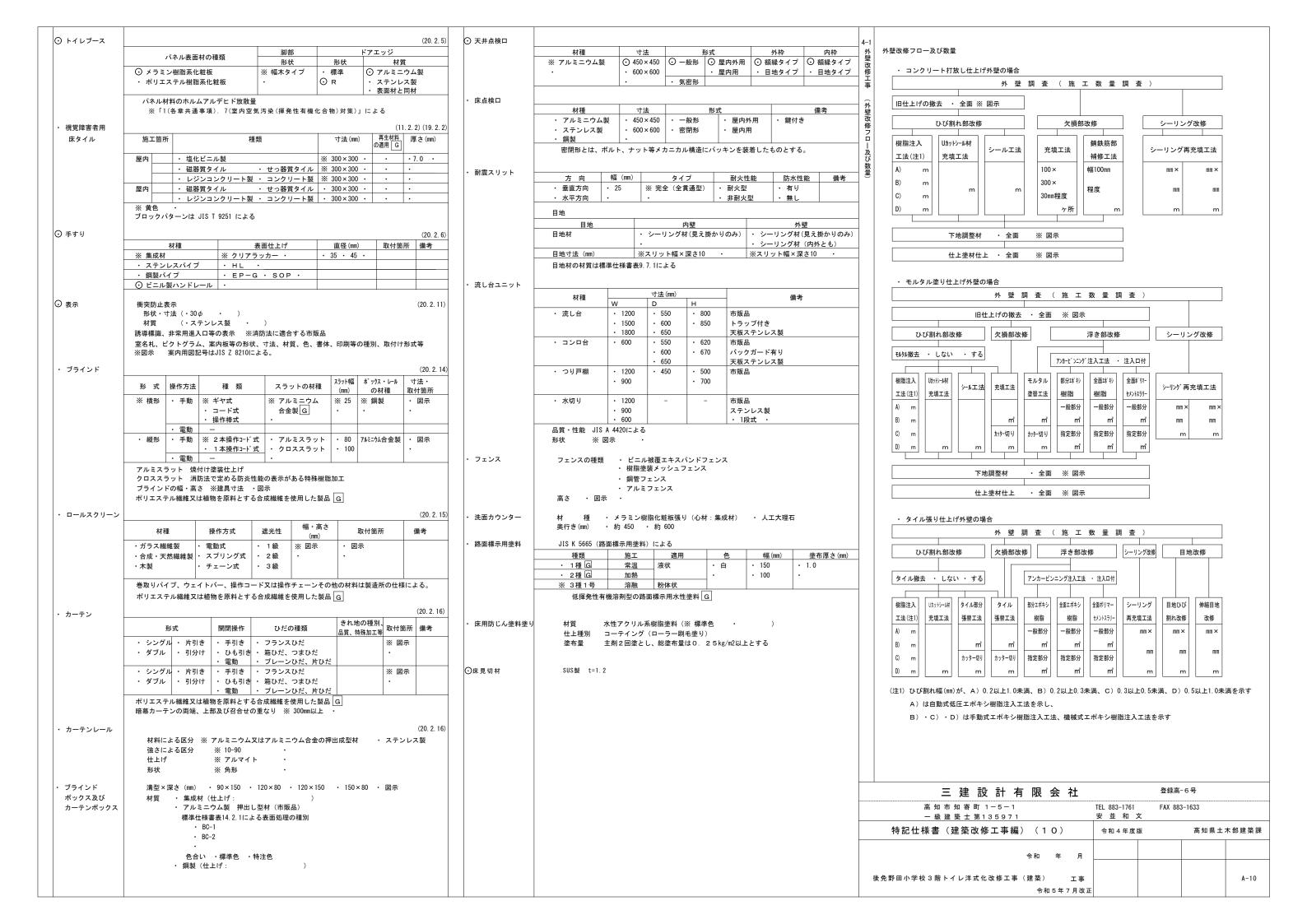
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材		· 内部間仕切軸組	・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場	易合)	[6. 5. 6]	・カーペット敷き G	・織じゅうたん			[6.9.2、3][表6.
	施工箇所 化粧薄板 芯材の 寸 法 化粧薄板の 見付け の樹種 樹種 (mm) 厚さ (mm) の品	質の適用	及び床組	※杉又は松 ・ ・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)				・ ウィルトンカーへ゜ット カ	パイル形状 ットパイル ープパイル	色柄等パイル系の種・無地・A種・柄物・B種	類 特殊機能 備 ※帯電防止
		※15%以下		※杉又は松・・					ット、ループ併 ドエ法 ・つつ	用 (標準品) · C種	
・造作用単板積層材		[6.5.2]	・ 窓、出入口その他	・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用	用いる場合)	[6. 5. 7]					• ()
G	施工箇所 品 名 <u> </u>	防虫処理 間伐材等 の適用 ・する		※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ひのき その他 ・	也 松又は杉			・タフテッドカーペット パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	寺殊機能 備 考
	- 加工しない(・1等・2等	手・3等) ・しない	・ 床板張り	- ・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 (動	製材を用いる場合)	[6. 5. 8]			%5~7 · %4~6 ·	・全面接着工法 ※ 構 ・グリッパー工法 ・	萨電防止
	・JAS 0701以外の造作用単板積層材 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			※ひのき・・				・カット、ループ併用 下敷き材(グリッパーエ)	+の担合)		
	施工箇所 (mm) さハキ 表面の品質※14%以下 ・塗装加工 ・天然木加		・ 壁及び天井下地	・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹 ※杉又は松 ・	樹種名(製材を用いる場合)	[6. 5. 9]		※反毛フェルト(JIS I		2号 呼び厚さ 8mm ・ ()
	・加工しない(・1等・2等	等・3等) ・しない		W12 × 10 14				・タイルカーペット パイルの形状 科		工箇所 寸法 (mm) 糸	。 に厚さ(mm) 備 考
・CLT(直交集成板) G	- JAS 3079に基づく直交集成板 施工箇所 品名 曲げ強度 (強度等級) 種別 (使用環境)	[6.5.2] オ 種 寸 法 間伐材等 の適用	○軽量鉄骨天井下地	野緑等の種類 屋 外・19形 ※25形 屋 内 ※19形・25形 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等		[6. 6. 2~4]		※ループパイル ※第・第・カットパイル	一種 二種	*500 × 500 *	6.5
	(En 26 %)	(IIIII) OJ NEI PT		工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15	・1.3)倍の風圧力に対応したエ	工法		・カットハイル ・カット、ループ併用 タイルカーペットの敷き	方 平場	※市松敷き ・模様流し	L
⊙合板等 G	・「合板の日本農林規格」による普通合板 厚さ 接着の 単板の	[6.5.2]		野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図 周辺部の端からの間隔 ・図 野縁の間隔 ・図				目切り 切う全物 ・2		分 ※模様流し ・市松敷 st 、種類、形状等 ※図示 ・	.
	施工箇所 (mm) 程度 樹種名 板面の品質 ※5.5 ※1類 広葉樹 · 1等 ※2	等以上 ・する の適用		既存の埋込みインサート ⊙使用する ・使用しな あと施エアンカーの引抜き試験 ・行う 試験箇所	IL)		・合成樹脂塗床				[6. 10. 2
	・ ・ 2類 針葉樹 ※ C - D 以	上・ ・しない		※屋内の・ ()場合、当該階において3箇所) 箇所			種 別 ・厚膜型塗床材	施工箇所	工法・仕 ※平滑仕上げ ・防滑仕	上げの種類 上げ ・つや消し仕上!
	・「合板の日本農林規格」による構造用合板	□ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		確認強度		+ 不堪成如 +		弾性ウレタン樹脂系塗床 ・厚膜型塗床材		・薄膜流しのベエ法 (※平滑 ·防滑)
	施工箇所	防虫処理 强度等級 の適用			立面積当たりの質量が20kg/㎡以内			エポキシ樹脂塗床		・樹脂モルタル工法(※平滑 ・防滑) ※平滑 ・防滑)
		・しない		・ (・行わない) N			・薄膜型塗床材ユリア樹脂等を用いた数	<u></u>	※平滑仕上げ	
	・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 単板の	樹種名 防虫処理 間伐材等		・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方)		※1各章共通事項 室に	内空気汚染(揮発1	生有機化合物)対策 による	
		の適用		・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合 補強方 ・天井のふところが3mを超える場合 補強方:			・フローリング張り	単層フローリング G	Г		[6.11.2
	- 特類 ・ 1類	・する・しない		・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇 補強方)		種類	樹 種 厚さ(mm	大きさ(mm) エ 法	仕上塗装 間伐木 の適用
		る単板の樹種名 防虫処理	○軽量鉄骨壁下地	※改修標準仕様書表6.7.1 によるスタッドの高さに	よる区分に応じた種類 ・([6.7.3、4]		・フローリングボード 1等	※なら ※15 ・ 12 ・ 18	長さ () (根太張り ・釘留めエ	
	· 1類 · 2類	・する ・しない		スタッドの高さが 5m を超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕	・ () - 様書表 6. 7. 4 (5) による ・ ()		・フローリングブロック	*なら **15	(直張り) ・接着工法 ※303×303 ・接着工法	※塗装品・
	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 化粧加工の方法	単板の樹種名 防虫処理	⊙t˚=ル床シート G	種類の記号施工箇所		[6.8.2、3] 厚さ(mm)		1 等			・無塗装品
	- 1類 - 2類	・する・しない			・マーブル柄 ①抗ウイルス性	※2.0		複合フローリング G 種 類	樹種種別	厚さ(mm) エ 法	位上塗装 間伐
	・パーティクルボード G				・柄物			・天然木化粧複合	※なら ・A種		** ※塗装品 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 ※15	耐水性 難燃性 ※P又はM		工法 ※熱溶接工法 ・目地処理工法 ・ (帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454)				フローリング	・ ・B種 ※C種	・12 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り)	・無塗装品
	・JAS 0360に基づく構造用パネル		・ビニル床タイル G			[6.8.2]		ホルムアルデヒド放散量	<u> </u>	・接着工法	
	施工箇所 厚さ(mm)	品名		種類の記号 施工箇所 色柄 ・FT	寸法 (mm) 特殊機能 ・300×300 ・帯電防止	厚さ(mm) ※2.0				性有機化合物)対策 による 脂発泡シート ・()	
				・ 柄物 ・ K T ・ 無地	・450×450 ・防滑性 ・300×300 ・帯電防止		・畳敷き	種別・A種・B秆			[6. 1
	・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF) G 厚さ 表裏面の状態 曲げ強さ	58 (b. 1.4 m		- 柄物	・450×450 · 防滑性		<u>a</u> w c	下地の種類 ・改修標準	- 		[0.1
	施工箇所 (mm) による区分 による区分	接着剤 難燃性 間伐材等 の適用		- 柄物	· 500×500 · 帯電防止 · 防滑性	<u> </u>		ホルムアルデヒド放散』	<u> </u>		
				· 無地 · 柄物	· 500 × 500 · 帯電防止 · 防滑性	<u> </u>		※1各草共通事項 畳表及び畳床はVOC含有		後性有機化合物)対策 による :する。	
・接合具等	造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し	[6.5.3]		帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454)				│ │ 畳表 高知県土佐畳表検査	登協会の合格品使	用(3種表の2等以上) ※適	用する ・適用しない
	諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種	1程度)	・ビニル幅木	材質の種類 ※軟質 ・硬質 高さ (mm) ※60 ・75 ・100		[6.8.2]		畳床の防虫処理は防虫加工	□紙を使用しても	よい。	
	・ (形状: 寸法: 材質:)			厚さ (mm) ※1.5以上 ・ ()							
→接着剤	ホルムアルデヒドの放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 によ	4][6.8.2][6.9.2][6.11.4、5]	・ゴム床タイル	種類 ・単層品 ・積層品 色柄 () ・フラット ・凹凸 厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0		[6.8.2]					
• 防腐、防蟻処理	・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 ()	[6. 5. 5]		寸法 (mm) ()				三建設計有	限会社	登録高	
	・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 保存処	理性能区分						市 知 寄 町 1-5-1 建 築 士 第135971		TEL 883-1761 FAX 885 安 並 和 文	3–1633
	・K2・K3 ※K4・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理							(建築改修工事編)	(5)	令和 4 年度版	高知県土木部建築
	適用部材 処理の方法	S K 1571に適合又は同等品						Ŷ.	`和 年 月		
	・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位()				後:	免野田小学校 3 階	トイレ洋式化改修工事(建	(築) 工事		A-05
ı	・合板等の加圧注入処理の適用 適用部位(,						•	令和 5 年 7 月改正		

⊙せっこうボード、			[6.13.2、3	〕 ○ 吸音材	※グラスウール(7)50充填 密度	24kg/m3		8 適用範囲	耐震改修工事以外については、新営特記仕様書を適	用とし別途記載を行う。
その他ボード及	種類	JIS記号	厚さ (mm)、規格等						工事内容	
び合板張り	・硬質木毛セメント板 G	HW	· 15 · 20 · 25 ·					<u></u>	・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	
	・中質木毛セメント板 G	MW	· 15 · 20 · 25 ·					震	・鉄骨ブレースの増設工事	
	・普通木毛セメント板 G	N W	· 15 · 20 · 25 ·	7 ○材料	屋内で使用する塗料のホルムアル	v デヒド放散量	[7.1.3]	改	・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フ	ープ巻き工法)
	・硬質木片セメント板 G	HF	· 12 · 15 · 18 · 21 ·		※1各章共通事項 室内空気汚染	と(揮発性有機化合物)対策 による		修	・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工	法)
	・普通木片セメント板 G ・けい酸カルシウム板	0.8 F K	・ 30 タイプ2 (無石綿) ・6 ・8	_ 塗		:仕上げは防火材料とする。 :防火材料とする(箇所	,	工 事	連続繊維補強工事・耐震スリット新設工事	
	- 7 い酸 カル シ ウ ム	1.0 FK	ダインと(無石柿)・0・0		- 次の回別を除る	一切人物 行こりる (自力)	,	争	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※ 9 (不燃)・12 (不燃)・)	○下地調整	塗替えRB種の場合の既存塗膜の関		[7. 2. 1 ~ 7]] 共	・制振改修工事	
			(不燃)	改	※塗替え面積の30%・図示			通	・土工事及び地業工事	
	・ロックウール吸音ボード1号 ・グラスウール吸音ボード32 K	RW-B	×25 ·	-	既存錆止め塗料の鉛含有量調査	・行う(箇所) ・行わない		事		1.2~3][8.22.2~3][8.23.2~
	・ ク フスソール吸音 ホ ー ト 32 K ○せっこうボード	G W - B	※25 (ガラスクロス包) ・ ※12.5 (不燃) ・15 (不燃) ⊙ 9.5	⊣修	下地調整			項・既存部分の処理等		[8.24.4][8.25]
	・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用)	╡ <u>_</u> │		下地調整の種別		-	撤去範囲 ・() ・図示 はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置・((8.24.4][6.25
	T MI KA C J C J III		・化粧有(トラバーチン模様)	_	下地面の種類	塗替え	─ ひび割れ部の補修		既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度) - 因水
	⊙シージングせっこうボード	G B - S	12.5 (・不燃 ⊙準不燃)	- 車	木部	※RB種 ・		-	・既存柱、梁面 打継ぎ面の15~30%程度	
	・強化せっこうボード	G B - F	・12.5(不燃) ・15(不燃)	77	鉄鋼面	※RB種		7	・既存壁 打継ぎ面の10~15%程度	
	・せっこうラスボード	G B - L	9. 5		亜鉛めっき鋼面	※RB種 ・			• ()	
	・化粧せっこうボード(木目)	G B - D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度		亜鉛めっき鋼面(鋼製建具等)	※RB種 ・			既存構造体コンクリート面の目荒らしの範囲	
		(W)	模様(※柾目 ・板目) 専用下地材有り		モルタル面、プラスター面	※RB種 ・	・行う		・平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を、st	全体にわたってつける。
	①化粧せっこうボード(トラバーチン模様) GB-D(T			コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※RB種 ・	・行う		• ()	
	・普通合板 G		・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度)		コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行う	_	ロマ せ o 株 ナ ケ	
		-	・不透明塗料塗り(しな合板程度)	_	押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	·行う	-	既存杭の撤去等 撤去範囲及び方法 ・() ・図示	[8.28.
	・天然木化粧合板 G G ・特殊加工化粧合板 G		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	-	せっこうボード面、その他ボード面	I 次 KD 性		-		
	①メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 厚さ1.2	- ・錆止め塗料塗り	 錆止め塗料塗りの種別		[7, 4, 2, 3	1	既存杭の補強・()・図示	
	・ポリエステル樹脂化粧板	1	FC1.L		素地面 塗装の種類	塗料の種別	工程の種別	-	既存杭の健全性を確認する試験・行う(方法:・	・図示 ・) ・行わない
	• \$\frac{1}{2} \frac{1}{2} \fr	G-MDF	- 3 - 7 - 9 - 12 - 無研磨 - 研磨	-		塗替え A種 ※C種	1- 1-111	1	See 11 1/6 CO LECT LE CHE HE HE SO DE SON TO	, , , , ,
	・ 単 板 張 り パーティクルポード G	1	・無研磨板 ・研磨板	1	1 SOP =	新規見え掛り A種 ※A種		1		
			· 10 · 12 · 15 · 18 ·		(工程の種別は表7.4.3)	新規見え隠れ A種 ※B種		8-1 ⊙鉄筋	鉄筋の種類等	[8.2.1][表8.2
	・化粧パーティクルボード G		・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装		[r-u	塗替え ※B種・A種 ※C種			種類の記号呼び径(mm) 備考
			・10 (難燃) ・12 (難燃) ・			新規見え掛り ※B種 ・A種 ※A種	•	数	⊙SD295 D10	
	・ハードボード (素地) G	нв	・無研磨板(・スタンダード・テンパード)		趴岬面 (二位) 注》100次7.1107	新規見え隠れ ※B種 ・A種 ※B種	•	前	· SD345	
	・ハードボード (化粧) G		・研磨板(・スタンダード・テンパード)	_		ホ谷マ ー	(下地調整RB種)	エ	•	
	· ハートホート (12社) G		・内装用・外装用・2.5・3.5・5・7		DP		(下地調整RC種)	尹	•	
	• インシュレーションホ*ート* G	A - I B	A級	-	(工程の種別は表7.4.4)	新規 7. 4. 2(1)(4)(a) ・A種		○溶接金網	 形状等	[8.2
	17727 7374 1 2	т – I В	. 9 . 12 . 15 . 18			^M による。 塗替え ※A種 ・B種 ※C種				、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位
	・火山性ガラス質複層板 化粧加工K	2 密度 A I	· 6 · 9 · 12		SOP	至首え ※A種 ・B種 ※A種		-	1 111 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	6-100×100 床
	せっこうボード等の下地 ※[3 示		-	(程())種別は表 / 4 5) 1	明 3月30年 大川里 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大		-	· 鉄筋格子	
	遮音シール材 ・適用する(・シーリング材	・ジョイントコンパウンド)			参替え C種 ・ ※C種		1		·
	合板類、繊維板及びパーティクル	レボードのホル	ムアルデヒド放散量		<u> </u>	新 鋼製建具等 C種 · ※A種		●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	継手方法等	[8.3.4][8.4.2.
	※「1(各章共通事項). 室内空気		機化合物)対策」による			規 その他 C種 ・ ※B種		7	部位維手方法	
	合板類の張付け ・A種 ※I					塗替え B種・ 一		7	柱・梁の主筋 ※ガス圧接 ・機械式継手	・溶接継手 ※D19以上
	せっこうボードの目地工法 ・作	上上表による	• ()		(工程の種別は表7.4.6)	· -		-	耐力壁の鉄筋 ※重ね継手 その他の鉄筋() ※重ね継手	D10
・壁紙張り	ー ホルムアルデヒド放散量		[6.14.2、3]		(工程の種別は扱7.4.0)	新規 B種 · 一			主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	[8.3
主机扱う	※1各章共通事項 室内空気河	· · · · · · · · · · · · · ·		' │			[7, 5, 2~7, 12, 2	ra	・構造関係共通図(配筋標準図)3.1(a) による	, , ,
		壁紙の種類		1 0 - 2			エ 程		・フックのありなしにかかわらず、40d(軽量コンク	リートの場合は50d)と、
	施工箇所 紙 繊維	隹 プラスチック 無 キ	機質 その他 防火性能 備 考		塗装の種類	塗装面 塗装面	整替え 新規	7	構造関係共通図(配筋標準図)3.1(a) 表3.1の J	重ね継手長さのうち大きい値とする
			・ ※不燃・準不燃		・合成樹脂調合ペイント塗り	(SOP) 木部(外部) ※B種	重 · ※A種 ·		• 図 示	
			・ ※不燃・準不燃			木部(内部) ※B科	重 · ※B種 ·		継手位置図	
	モルタル・プラスター面の下地訓		· A種		塗料の種類 ※1種・2種		重 ·		・構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7	1.3、8.1による
	コンクリート面の下地調整	· · · · · -	· A種				重· ※B種·	-	・図示	
	せっこうボード面の下地調整	※B種	- A種		5 11 → 7 1 1 2 2 2 2	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外) ※ B 種 (CL) 木部 ・ A 種	重 · ※B種 · ■ ※B種 ·A種 ※B種	 ・鉄筋の定着長さ	推作的发光等网 (3) 放振维网 \ 0.4 (1) (e. 1.7	[8.3
○モルタル塗り	モルタル ①現場調合材料	• 肝調会材料	[6.15.3, 5, 6]			(NAD) 屋内のコンクリート面、モルタル面 ※ B 種		・	- 構造関係共通図(配筋標準図)3.1(b)による - 図示	[8.3
O LN JN E 9	既製目地材 ・使用する(施工)		形状: ※図示)		・耐候性塗料塗り	(DP) 鉄鋼面 上塗り .		-		
	床の目地 ・設ける (工法		·			- 1級 - 2級 - 3級		●鉄筋のかぶり厚さ	│ │最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)	[8.3
	目地割り ※2㎡		" 間隔3m程度) • ()			亜鉛めっき鋼面 上塗り ・	_	及び間隔	⊙構造関係共通図(配筋標準図)表4.1による	
	壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が2					• 1級 • 2級 • 3級		(溶接金網含む)	• 図示	
A / 11 35 11						コンクリート面及び・	• A-1種		柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無	
・タイル張り	伸縮調整目地の位置・()	・図示 [6.16.2~4]			押出成形セメント板面	• B-1種		・無し	
				1 1			• C−1種	1 1	・有り適用箇所()	
	見本焼き ・行う ・行わた						E . 1/E _ 1/	<u> </u>		
	見本焼き ・行う ・行われ 試験張り ・行う ・行われ				・つや有り合成樹脂		重 · · · A種 · B相	<u> </u>	最小かぶり厚さ ・	
	試験張り ・行う ・行わな	E L'			・つや有り合成樹脂 エマルションペイント塗り (F	P-G) 屋内の木部 ※B種	重 · ※Α種 ·		・鉄筋径の1.5倍以上	
		E L'				EP-G) 屋内の木部 ※ B 種 屋内の鉄鋼面 ※ B 種		<u> </u>		
	試験張り ・行う ・行われ ・セメントモルタルによるタイル タイルの形状、寸法等	よい	うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑	-		EP-G) 屋内の木部 ※ B租 屋内の鉄鋼面 ※ B租 屋内の亜鉛めっき面 ※ B租	重 · ※A種 · ■ · A種 ※B科	<u> </u>	・鉄筋径の1.5倍以上 ・ ()	
	試験張り ・行う ・行わな ・セメントモルタルによるタイルタイルの形状、寸法等 形状寸法 再生材の 吸	: い ン張り K率による区分 = 類 II 類 III 類 施	ゆう無ゆう 有 無 標準 特注 ありなし り性 備 考	_	エマルションペイント塗り (E	P-G) 屋内の木部 ※ B 程 屋内の鉄鋼面 ※ B 和 屋内の亜鉛めっき面 ※ B 和	重 · ※A種 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ・ 無し ・ 有り 適用箇所()	
	試験張り ・行う ・行われる ・セメントモルタルによるタイノタイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 再生材の吸え(mm) 適用 G I	にい ン張り 	ゆう無ゆう 有 無 標準 特注 あり なし り性 備 考		エマルションペイント塗り (E	EP-G) 屋内の木部 ※ B 和 屋内の鉄鋼面 ※ B 和 屋内の亜鉛めっき面 ※ B 和 ・ とか ・ とか	重 ・ ※ A種 ・ 重 ・ A種 ※ B相 重 ・ A種 ・ B相 重 ※ B種 ・ A種 ※ B租 ブメントステイン塗り		・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ・ 無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加	える厚さ ()mm
	試験張り ・行う ・行われる ・セメントモルタルによるタイノタイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法再生材の吸え(mm) 適用 G I	にい ・張り K率による区分 = 1 類 Ⅲ 類 Ⅲ 類 施	ゆう無ゆう 有 無 標準 特注 ありなし り性 備 考		エマルションペイント塗り (E	EP-G) 屋内の木部 ※ B 程屋内の鉄鋼面 屋内の亜鉛めっき面 ※ B 租 塗り(EP) ※ B 租 ・ A 租 ・ ピン・オー	重 ・ ※ A種 ・ 重 ・ ・ A種 ※ B種 重 ・ ・ A種 ・ B種 重 ・ ・ A種 ・ B種 重 ・ ・ A種 ・ B種 で ・ A種 ・ B種 がメントステイン塗り	Sel Sel Sel Sel	・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ・ ()無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ま	
	試験張り ・行う ・行われ ・セメントモルタルによるタイノタイルの形状、寸法等 形状寸法再生材の吸, (mm) 適用 ⑤ I 施工箇所 (mm) の役物は一体成用	(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)	ゆう無ゆう 有 無 標準 特注 あり なし り性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		エマルションペイント塗り (E	EP-G) 屋内の木部 ※ B 和 屋内の鉄鋼面 ※ B 和 屋内の亜鉛めっき面 ※ B 和 ・ A 和 ・ ピン・オイ・A 和	重 ・ ※ A種 重 ・ A種 ※ B種 重 ・ A種 ・ B租 重 ・ A種 ・ B租 重 ※ B種 ・ A種 ※ B租 ブメントステイン塗り イルステイン塗り (0S) (0S) ※ B租 ・ A種 ※ B租	Sel Sel Sel Sel	・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ・ ()無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加: ・ () 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部:	
	試験張り ・行う ・行われ ・セメントモルタルによるタイノタイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法再生材の吸え(mm) 適用 G I 標準的な曲がりの役物は一体成形壁タイル張りの工法 内装タイノ		ゆう無ゆう 有 無標準特法 ありなし り性 備 考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E	EP-G) 屋内の木部 ※ B相 屋内の鉄鋼面 ※ B租 塗り (EP) ※ B租 ・ A租 ・ ・ A租 イント塗り (コンクリート面、モルタル	重 ・ ※ A種 重 ・ A種 ※ B種 重 ・ A種 ・ B租 重 ・ A種 ・ B租 重 ※ B種 ・ A種 ※ B租 ブメントステイン塗り イルステイン塗り (0S) (0S) ※ B租 ・ A種 ※ B租	Sel Sel Sel Sel	・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ・無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加まして() 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部・無し	
	試験張り ・行う ・行われ ・セメントモルタルによるタイノタイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法再生材の吸え(mm) 適用 G I 標準的な曲がりの役物は一体成形壁タイル張りの工法 内装タイノ		ゆう無ゆう 有 無 標準 特注 あり なし り性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		エマルションペイント塗り (E	EP-G) 屋内の木部 ※ B和 屋内の鉄鋼面 ※ B租 塗り (EP) ※ B租 ・ A租 ・ ピッ・オー・A租 イント塗り (コンクリート面、モルタル面)の塗替えの場合のしみ止め	重 ・ ※ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ B相 ・ ・ ・ A種 ・ B相 ・ ・ B相 ・ ・ A種 ・ B相 がメントステイン塗り(OS) でイルステイン塗り(OS) を ※ B種 ・ A種 ※ B和 ・ A種 ※ B和 ・ の で、プラスター面、	Sel Sel Sel Sel	・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ・ ()無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加: ・ () 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部:	分等)
	試験張り ・行う ・行われ ・セメントモルタルによるタイノタイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法再生材の吸え(mm) 適用 G I 標準的な曲がりの役物は一体成形壁タイル張りの工法 内装タイノ	K 率による区分 ² 類 II 類 III 類 III 類 III 類 III 類 III が	ゆう無ゆう 有 無標準特法 ありなし り性 備 考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E	P-G) 屋内の木部 ※ B 程 屋内の鉄鋼面 ※ B 程 屋内の鉄鋼面 ※ B 程 をり (EP) ※ B 程 ・ A 程 ・ ピッ・オー ・ A 和 イント塗り(コンクリート面、モルタル面)の塗替えの場合のしみ止めの下塗りをしみ止めシーラーとする・・	重 ・ ※ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ B相 ・ ・ ・ A種 ・ B相 ・ ・ B相 ・ ・ A種 ・ B相 がメントステイン塗り(OS) でイルステイン塗り(OS) を ※ B種 ・ A種 ※ B和 ・ A種 ※ B和 ・ の で、プラスター面、	Sel Sel Sel Sel	・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ①無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加まして() 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部で無し ・ 有り 適用箇所()	分等)
	試験張り ・行う ・行わな	K 率による区分 ² 類 II 類 III 類 III 類 III 類 III 類 III が	ゆう無ゆう 有 無標準特法 ありなし り性 備 考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E)	P-G) 屋内の木部 ※ B租 屋内の鉄鋼面 ※ B租 屋内の亜鉛めっき面 ※ B租 塗り(EP) ※ B租 ・ A租 ・ピク ・オース イント塗り(コンクリート面、モルタル面)の塗替えの場合のしみ止めの下塗りをしみ止めシーラーとする ・ りの塗替えの場合のしみ止め ・	重 ・ ※ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ B相 ・ ・ ・ A種 ・ B相 ・ ・ B相 ・ ・ A種 ・ B相 ・ B相 ・ A種 ・ ※ B相 ・ A	Sel Sel Sel Sel	・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ②無し ・ 有り 適用箇所() ・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。() 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部の・) ・ 無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ませた。	分等)
	試験張り ・行う ・行われ ・セメントモルタルによるタイルタイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 再生材の吸流 適用 図 I 様準的な曲がりの役物は一体成形壁タイル張りの工法 内装タイル 内装タイル ・ 有機系接着剤によるタイル張りタイルの形状、寸法等 形状寸法 国牛材の 吹き おおせき 大き	 (R) (R)<td>ゆう無ゆう 有 無標準特法 ありなし り性 備 考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td></td><td>エマルションペイント塗り (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)</td><td>P-G) 屋内の木部 ※ B 程 屋内の鉄鋼面 ※ B 程 屋内の鉄鋼面 ※ B 程 をり (EP) ※ B 程 ・ A 程 ・ ピッ・オー ・ A 和 イント塗り(コンクリート面、モルタル面)の塗替えの場合のしみ止めの下塗りをしみ止めシーラーとする・・</td><td>重 ・ ※ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ B相 ・ ・ ・ A種 ・ B相 ・ ・ B相 ・ ・ A種 ・ B相 ・ B相 ・ A種 ・ ※ B相 ・ A</td><td>Sel Sel Sel Sel </td><td>・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ②無し ・ 有り 適用箇所() ・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。() 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分・無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加また()</td><td>分等) える厚さ ()mm</td>	ゆう無ゆう 有 無標準特法 ありなし り性 備 考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E)	P-G) 屋内の木部 ※ B 程 屋内の鉄鋼面 ※ B 程 屋内の鉄鋼面 ※ B 程 をり (EP) ※ B 程 ・ A 程 ・ ピッ・オー ・ A 和 イント塗り(コンクリート面、モルタル面)の塗替えの場合のしみ止めの下塗りをしみ止めシーラーとする・・	重 ・ ※ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ B相 ・ ・ ・ A種 ・ B相 ・ ・ B相 ・ ・ A種 ・ B相 ・ B相 ・ A種 ・ ※ B相 ・ A	Sel Sel Sel Sel	・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ②無し ・ 有り 適用箇所() ・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。() 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分・無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加また()	分等) える厚さ ()mm
	試験張り・行う・行われ ・セメントモルタルによるタイノタイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 再生材の吸溶 (mm) 適用 G I 標準的な曲がりの役物は一体成形壁タイル張りの工法 内装タイノ内装タイル・ 有機系接着剤によるタイル張りタイルの形状、寸法 再生材の吸液 形状寸法 再生材の吸液 形状寸法 再生材の吸液	K R S S S S S S S S S	ゆう無ゆう 有無標準特注 ありなし り性偏考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E) ○合成樹脂エマルションペイント ○ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・ステイン塗り ・木材保護塗料塗り(WP) つや有り合成樹脂エマルションペせっこうボード面、その他ボード ※改修標準仕様書7.9.1の工程1 合成樹脂エマルションペイント塗 ※改修標準仕様書7.10_1の工程	P-G 屋内の木部 ※ B和	重 ・ ※ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ B相 ・ ・ ・ A種 ・ B相 ・ ・ B相 ・ ・ A種 ・ B相 ・ B相 ・ A種 ・ ※ B相 ・ A	Sel Sel Sel Sel	・鉄筋径の1.5倍以上 ・ () 軽量コンクリートで土に接する部分 ・無し ・ 有り 適用箇所() ・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。() 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分・無し ・ 有り 適用箇所() ・ 構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加まる。() ・ 横造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加まる。()	分等) える厚さ ()mm
	試験張り ・行う ・行われ	K 本による区分 1	ゆう無ゆう 有無標準特注 ありなし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E) ○合成樹脂エマルションペイント ○ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・ステイン塗り ・木材保護塗料塗り(WP) つや有り合成樹脂エマルションペせっこうボード面、その他ボード ※改修標準仕様書7.9.1の工程1 合成樹脂エマルションペイント塗 ※改修標準性様書7.10.1の工程 高日射反射率率料塗り ⑤ 下地調整(改修標準仕様書7.2	EP-G 屋内の木部 ※ B和	重 ・ ※ A種 ・ 重 ・ ・ A種 ・ ※ B相 重 ・ ・ A種 ・ B相 重 ・ ・ A種 ・ B相 1 ※ B種 ・ A種 ※ B和 2 ・ A種 ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・		・鉄筋径の1.5倍以上 ・(軽量コンクリートで土に接する部分 ・無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。 ・(耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分・無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。() 鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) ・構造関係共通図(配筋標準図)4.1による・図示	分等) える厚さ ()mm [8.3.5][図8.3
	試験張り ・行う ・行われ	K	ゆう無ゆう 有無標準特注 ありなし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E	EP-G 屋内の木部 ※ B和	重 ・		・鉄筋径の1.5倍以上 ・(軽量コンクリートで土に接する部分 ②無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。() 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部のを)を表します。	分等) える厚さ ()mm
	試験張り・行う・行われ ・セメントモルタルによるタイノ タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 再生材の吸 (mm) 適用 G I 標準的な曲がりの役物は一体成形 壁タイル張りの工法 内装タイル ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 画用 G I	K 本 L L L L L L L L L	ゆう無ゆう 有無標準特注 ありなし り性備 考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E)	EP-G) 屋内の木部 ※ B租 屋内の鉄鋼面 ※ B租 屋内の亜鉛めっき面 ※ B租 塗り(EP) ※ B租 ・ A租 ・ ピッ・オ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	型 ・ ※ A種 ・ 型 ・ ・ A種 ・ ※ B和 ・ ・ A種 ・ B和 ・ ・ B和 ・ B和 ・ B和 ・ B和 ・ B和 ・ B和 ・	特記仕様書	・鉄筋径の1.5倍以上 ・() 軽量コンクリートで土に接する部分 ①無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。(耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部で無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。(鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) ・構造関係共通図(配筋標準図)4.1による・図示 (建築改修工事編)(6)	分等) える厚さ ()mm [8.3.5][図8.3
	試験張り・行う・行われ ・セメントモルタルによるタイノ タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 再生材の吸 (mm) 適用 G I 標準的な曲がりの役物は一体成形 壁タイル張りの工法 内装タイル ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの形状、寸法 再生材の吸 (mm) 適用 G I	K 車による区分 1	ゆう無ゆう 有無標準特法 ありなし り性備考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E	EP-G) 屋内の木部 ※ B 租	重 ・ ※ A種 ・ 重 ・ ・ A種 ・ ※ B相 重 ・ ・ A種 ・ B相 重 ・ ・ A種 ・ B相 1 ※ B種 ・ A種 ※ B和 2 ・ A種 ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・	特記仕様書	・鉄筋径の1.5倍以上 ・(軽量コンクリートで土に接する部分 ・無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。 ・(耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分・無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。() 鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) ・構造関係共通図(配筋標準図)4.1による・図示	分等) える厚さ ()mm [8.3.5][図8.3
	試験張り・行う・行われ ・セメントモルタルによるタイノ タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 再生材の吸 (mm) 適用 G I 標準的な曲がりの役物は一体成形 壁タイル張りの工法 内装タイル ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 画用 G I	K 車による区分 1	ゆう無ゆう 有無標準特法 ありなし り性備考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E)	EP-G) 屋内の木部 ※ B租屋内の鉄鋼面 屋内の鉄鋼面 ※ B租屋内の亜鉛めっき面 塗り(EP) ※ B租 ・ A租 ・ ピッ・オ・ A租 ・ ピッ・オ・ A租 ・ とりをしみ止めの事業を見るの場合のしみ止めの下塗りをしみ止めシーラーとする・ りの塗替えの場合のしみ止め1の下塗りをしみ止めシーラーとする・ りの塗替えの場合のしみ止め1の下塗りをしみ止めシーラーとする・ りの塗替えの場合のしみ止め1の下塗りをしみ止めシーラーとする・ 4租 ・ ARB種 ・ RC種塗料その他規格名称 種類 等級根用高日射射率塗料 ・ 2種・ 3種	重 ・ ※A種 ・ 重 ・ ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ A種 ・ A種 ・ A種 で ・ A 種 ・ A種 ・ A種 で ・ A 種 ・	特記仕様書	・鉄筋径の1.5倍以上 ・(軽量コンクリートで土に接する部分 ①無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。(耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部・無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。(鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) ・構造関係共通図(配筋標準図)4.1による ・図示 (建築改修工事編)(6) 令和4	分等) える厚さ ()mm [8.3.5][図8.3 中年版 高知県土木部建築
	試験張り・行う・行われ ・セメントモルタルによるタイノ タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 再生材の吸 (mm) 適用 G I 標準的な曲がりの役物は一体成形 壁タイル張りの工法 内装タイル ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの形状、寸法 再生材の吸 (mm) 適用 G I	K 車による区分 1	ゆう無ゆう 有無標準特法 ありなし り性備考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		エマルションペイント塗り (E)	EP-G) 屋内の木部 ※ B 租	重 ・ ※A種 ・ 重 ・ ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ A種 ・ 8相 で ・ A種 ・ A種 ・ A種 ・ A種 で ・ A 種 ・ A種 ・ A種 で ・ A 種 ・	特記仕様書	・鉄筋径の1.5倍以上 ・() 軽量コンクリートで土に接する部分 ①無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。(耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部で無し ・有り 適用箇所(・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加ました。(鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) ・構造関係共通図(配筋標準図)4.1による・図示 (建築改修工事編)(6)	分等) える厚さ ()mm [8.3.5][図8.3

	・圧接完了後の試験		・コンクリートの打込み 工法等	部位等のコンクリートの打設工法の指定 補強工事 工法の種類 ・現場打ちコンウリート 壁の増設工事 ・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	[8.21.8][8.23.5] 適用箇所 ・全ての増設壁 ・図示による () ・全ての増設壁 ・図示による ()		アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス ・JSS II 13-2004「(社)日本鋼構造協会規 ナット・座金のセット」 適用箇所)(表 7 . 2 . 3)ト		
	• 割裂補強筋	仕 様 ・ () ・図示 [8.21.6][8.22.7]		・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ に れ ・ に は ・ に は に な し	・全ての増設壁 ・図示による() ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・図示による()		・ () ・ 図示 ・標準仕様書 表 7.2.3による 適用箇所				
8-2	・コンクリートの気乾単位容積質量による	t 普通コンクリートの設計基準強度 [8.1.3~4][表8.1.2] 設計基準強度(N/mm²) スランプ 適用箇所		(溶接金網巻き及 び溶接閉鎖7-7* ・ 流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・ 圧入工法 8.21.8(1)(4),(3) 巻き工法)	・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・図示による()		・ () ・図示 形状、寸法 構造用		(7.10.3)		
コンクリ	各	AX 1番年 1		・ 工法指定なし ・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)(2) ・ 圧入工法 8.21.8(1)(4)(3)	EL TITLE CONTROL OF		・ () ・図示 建方用 ・ () ・図示				
リートエ事		軽量コンクリートの設計基準強度 [8.1.3~4][8.9.2] 設計基準強度 (N/mm²) スランプ 適用箇所 ○ 24 ○18 床		鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フー柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・発泡プラスチック保温材等を埋込む ・(柱頭柱脚の隙間寸法 ・() ・図示)	・溶接材料	溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による。 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)以外の溶接和 材料及び使用箇所		[8.2.10]		
	・ コンクリートの 類 別	類 別 ※ I 類 ・ II 類 [8.1.3][表 8.1.1]	・補強工事後の	既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ	() ・図示 [8.21.10][8.23.7]	・ターンバックル	・ () ・図示 種類		(7.2.6)		
	⊙セメント	種 類 [8.2.5][表8.2.3] ②普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位() 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする。 ・高炉セメントB種 G 使用部位()	仕上げ・鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能	[8.1.5]		建築用ターンパックル胴 ・割株式 建築用ターンパックルボルト ・羽子板ボルト		(7.2.6)		
	○骨材	・フライアッシュセメントB種 G 使用部位() 鉄・() 骨骨アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5]		鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)	全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の 『土交通大臣から認定を受けた工場又は	・床構造用のデッキ プレート	・ () ・図示 材質、形状及び寸法 適用箇所	材質・形状・寸法	(7.2.7)		
	○混和材料	※A · B · 再生骨材H エ ①混和剤 [8.2.5][8.9.1]	・施工管理技術者		[8.1.6]		・構造床 ・合成スラブ ・床型枠用	71 Se 110 UV 1 112	DIA CO		
		種 類 ・改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による ・ () ・ 混和材 種 類 ・改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による ・ ()	・鋼材	種類等 種類の記号 適用箇所 (主要な部分)	[8.2.8][表8.2.7] 規格 ・JIS規格による ・JIS規格による		・		(7.7.8)		
	○軽量コンクリート	種 別 [8.9.2][表 8.9.1] ・1種 使用部位() ②2種 使用部位() 適用箇所 ・() ・図示 [8.9.1]			・JIS規格による ・JIS規格による ・JIS規格による ・JIS規格による		・ () ・図示 耐火認定 ・有り 耐火時間(・ ・図示) ・無し			
	・構造体用モルタル			有効細長比(圧縮材に限る)・()・B		・スタッド	材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド JIS B 1198		[8.2.11]		
	・無筋コンクリート	- 適用箇所 [8.2.5][8.11.1] ・標準仕様書 6.14.1(4)による箇所 ・標準仕様書 6.14.1(4)以外の箇所 ・図示による())) 設計基準強度 - 18 (N/mm²) - () スランプ - 15cm - 18cm - ()	・高カボルト	高力ボルトの区分 ・トルシア形高力ボルト セットの種類 ・2種(S10T) ・ () ・JIS形高カボルト セットの種類 ・2種(F10T) ・ () 高力ボルトの径・) ・図示	[8.2.9][8.14.2]		呼び名等 呼び名 呼び長さ (m ・ ・	面			
	・ひび割れ誘発目地	目地寸法 ・標準仕様書 9.7.3による ・() (6.6.4)(9.7.3) 間隔・位置・形状 ・() ・図示 (6.8.1)		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・構造関係共通図(鉄管標準図) 1-1 縁端距離及びボ・() すべり係数試験 ※行わない ・行う		・柱底均しモルタル	モルタルの種別 ※無収縮モルタル・() 無収縮モルタルの材料及び調合 材料、調合等		[8.2.12] [8.2.12]		
	・コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4][8.2.7][表8.1.4] 種 別 適用箇所 ・ A種 ・ B種	・普通ボルト	試験方法等 ・ (・ 図示 ボルト及びナットの材料 ・ 標準仕様書 表7.2.3による ()	[8.14.2]		・改修標準仕様書 8.2.12による ・ (品質及び試験方法 ・改修標準仕様書 表8.2.10による 工法の種別	(7.10.3)(
	・打増し厚さ	<td character="" cme="" cme<="" colspan="2" td="" =""><td></td><td>座 金 ・標準仕様書 7.2.3(4)による ・ (ボルトの径 ・ ()・ 図示 ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 緑端距離及びボル</td><td>) (7.2.3) (7.2.3) [8.13.2] 小間隔 による</td><td>・仮組</td><td>・標準仕様書 表7.10.2 (※ A 種 [モルタル厚・実施する・実施しない</td><td></td><td>8.13.10]</td></td>	<td></td> <td>座 金 ・標準仕様書 7.2.3(4)による ・ (ボルトの径 ・ ()・ 図示 ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 緑端距離及びボル</td> <td>) (7.2.3) (7.2.3) [8.13.2] 小間隔 による</td> <td>・仮組</td> <td>・標準仕様書 表7.10.2 (※ A 種 [モルタル厚・実施する・実施しない</td> <td></td> <td>8.13.10]</td>			座 金 ・標準仕様書 7.2.3(4)による ・ (ボルトの径 ・ ()・ 図示 ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 緑端距離及びボル) (7.2.3) (7.2.3) [8.13.2] 小間隔 による	・仮組	・標準仕様書 表7.10.2 (※ A 種 [モルタル厚・実施する・実施しない		8.13.10]
	(打放し仕上げ部)	・20mm ・() ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・()	・溶融亜鉛めっき高力ボルト	・ () セットの種類 ・1種(F8T相当) ・ ()	[8.2.9][8.20.4]	・溶接接合	開先の形状 ・図示 ・構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2による ・([8.15.4]		
	・型枠	せき板の材料 G 及び厚さ [8.2.7] ・合板 (・12mm ・15mm) ・ () 断熱材の兼用 ・行わない ・行う (6.8.2) M C R T 法用シート ・用いる (6.8.2)			图示 [8.2.9] [8.13.8]		スカラップの形状 ・図示 ・構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4による ・()		[8.15.7]		
		打増し厚さ ・20mm ・ () 1円増し範囲 ・ () ・図示 スリーブの材種		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等・構造関係共通図(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボ・() 摩擦面の処理・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)・りん酸塩処理	(8.13.2] (8.13.2] (8.20.5]		エンドタブの切除する部分 ・見え掛り部となる部分 ・ () ・図示 ・見え隠れ部となる部分 ・ () ・図示		[8.15.7]		
	・コンクリートの単位水量 測定	 実施要領 ・構造関係共通図(構造関係共通事項) 構一4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による・() 	・アンカーボルト	・構造用アンカーボルト 材 質 ・ABR400 ・ABR490 適用箇所 ・() ・図示	(7.2.4)(7.10.3)		溶接部の余盛り高さ ※(社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6「・() ・() エンドタブ・裏あて金 ※鋼材の銅種はSN-Bとし、引張強さによる区	鉄骨精度検査基準」付表3[溶接]による	[8.\15.7]		
				・建方用アンカーボルト 材質 ・SS400 ・ () 適用箇所 ・ () ・図示		特記仕様書		令和 4 年度版 高知 県土 2	木部建築課		
	<u> </u>	三建設計有限会社 登録高-6号		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボ・・(ルト間隔 による	公在服内小型社会	令和 年 月		1.63		
		市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 建築士第1 3 5 9 7 1 安並和文				夜 光 野 田 小 子 校 3 階	トイレ洋式化改修工事(建築) 工事 令和5年7月改正		A-07		

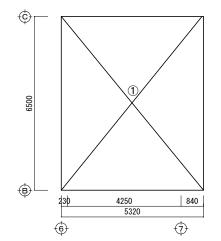
N I						
\	要 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件	・軽量形鋼構造 接合部(ボルト接合の場合)	(7.11.2)		ひび割れ部改修	[8.24.6][4.1.4
の溶接条件	・図示 ・構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4による 適用箇所	・普通ボルト接合・()			・行わない ・行う	
	・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部	・溶融亜鉛めっき 種別等	8.20.4][表8.20.1]		範囲	
	·	(基礎、主要構造部及びその他 亜鉛めっきの種別 材料			· () · 図示	
・溶接部の試験	· 浸透探傷試験 - 磁粉探傷試験	構造耐力上主要な部分に限る A種 最小板厚 6.0mm 以上の形綱、鋼板 B種 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形綱、鋼板			種 類 . 改修標準仕様書 4.1.4(1),(2)による	
	適用部位	並 高 ゼルト・・ ット 粒 マンカー ゼルト 箱			・ 改修標準性様番 4.1.4(1),(2)による 連続繊維補強杖の引張強度試験	[8.24.6
	※割れの疑いのある表面欠陥	C種 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形綱、鋼板			・行わない	
	・完全溶込み部の超音波探傷試験	素地ごしらえは、JIS H 8641 による			・行う	
	・行わない	適用箇所			引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引引	E 5+ F◆ → → →) 」 - し フ
	・行う・工場溶接の場合	· () · 図示			試験数量	(試験力法)による
	AOQL (%)	・鉄骨プレース設置後 ・ () ・ 図示	[8.22.9]		· () · 図示	
	• 4.0 • 2.5	の仕上げ			連続繊維補強材の付着強度試験	[8.24.6
	節 ・全て 検査水準 ・第6水準				・行わない・行う	
	適用箇所 ・図示による ()	— 8-4 ○あと施エアンカー 材料等			付着強度試験	
	・全数	・()kN ・図示	[8.2.4]		※JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による	
	適用箇所 ・図示による ()	あ せん断耐力 ・ () KN ・図示			試験数量	
	・工事現場溶接の場合・全数	と セット方式 ※本体打込み式改良型 ・() 施 接合筋の種類、径、長さ ・() ・図示			· () · 図示	
	適用箇所 ・図示による (工 性能確認試験・実施する		·連続繊維補強後の	· () · 図示	[8.24.7
	H12建告 第1464号第二号に関する外観試験方法等	,	図示	仕上げ		
	独立行政法人建築研究所監修「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」によ ・抜き取り検査①					
	・ 坂さ戦り検査① ※抜き取り検査②	カ せん断耐力 ・ () KN ・図示 セット方式 ※カプセル方式の回転・打撃式 ・ (8-7	スリットの方式	・完全 ・部分	[8.25.2]
	JASS 6 付則6 () [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等	T 接着剤の品質 ・有機系 ・無機系	,		設置箇所	
	JASS 10.4 (受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶料	" T			· () · 図示	
	の外観検査の扱取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観検査の不合格箇所は すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。	で、 アンカー筋の種類 ・改修標準仕様書 表8.2.1の異形棒鋼 ・金アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ () ・図示	ねじボルト 震		耐震スリット部詳細 ・ ()・図示	
	グ・C 保年は稼壷7.0.10による補修さ刊い、丹武教する。	性能確認試験 実施する	Îj			
・錆止め塗装	塗料の種別	試験方法及び試験数・(図示 ツ	・スリットの施工	1	
	・鉄鋼面の錆止め塗料	#7 # 0 # 1 1 In the F	F		・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の)位置に墨出しを行う
	屋外 ・改修標準仕様書 表7.3.1 A種	・穿孔前の埋込み 探査範囲 配管等の探査・あと施エアンカー施工部分全て	[8.12.4] 新 設		鉄筋探査機の探査方式 ・電磁波レーター法 (3D表示対応型)	
	· ()	• ()	T		・電磁波レーダー法文は電磁誘導法	
	屋内	探査方法	[8.12.4]事		・はつり出しによる	
	・改修標準仕様書 表7.3.1 ()種	・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨 鉄筋探査機の探査方式	出を行う		スリットの幅及び深さ・ () ・図示	[8.25.2
	・亜鉛めっき銅面の錆止め塗料	・電磁波レーダー法(3D表示対応型)			· () · Øx	
	· 改修標準仕様書 表7.3.2 () 種	・電磁波レーダー法又は電磁誘導法		・スリット充填材	military military	[8.25.2
	· ()	・はつり出しによる			・使用しない	
	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリー♥の内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ・改修標準仕様書 7.3.2 表7.3.1 A種	. ()			・使用する 使用箇所及び仕様	
	· ()	・施工確認試験 試験の適用	[8.12.7]		· () · 図示	
	耐火被覆材の接着する面への塗装	・実施しない			遮音材	[8.25.2
	・行わない・行う	・実施する			・使用しない	
	適用箇所	試験方法 ・引張試験機による引張試験			・使用する 使用箇所及び仕様	
	・図示による()	• ()			• () • 図示	
	塗料の種別	確認強度				
	・改修標準仕様書 表7.3.1 ()種・改修標準仕様書 表7.3.2 ()種	• () • 図示	8-8	押豆 及び成+	│ │ 材料及び工法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥	さから再生した処理+ G
				- FROMOME	C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書(施工条件明示	
・耐火被覆		8] 8-5 ・グラウト材 グラウト材	[8.2.12] ±		D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書(施工条件	明示)による。 [表 8 . 2 8 . 1
	種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ・乾式吹付けロックウール	・無収縮グラウト材(セメント、混和剤、砂は無収縮モルタルに準ず が 無収縮グラウトの品質及び試験方法	る) エ	・建設発生土の処理	3 火推州城山	[8.28.3
	・半乾式吹付けロックウール			(注放光エエのだる)	処理場所 ()	[8.28.3
	・耐火材吹付け・湿式ロックウール	ウ 無収縮性 対齢 7日 収縮しない	び		所在地 () 距離 () km
			地		その他建設発生土の搬出先は上記を予定している。	
	・繊維混入けい酸カルシウム板	T	業		搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とす	৩ .
	耐火板張り	試験方法 1)日本道路公団規格(JHS) 3+2-1999「無収縮モノ			・構内指定場所に敷き均し・構内指定場所に堆積	
	・耐火材巻付け・高断熱ロックウール	による。プレミックス形と現場調合形で混和材クス形のみとする。	が同一の場合はプレミッ	.1. 57 t o #t +		
	・ラス張りモルタル塗り		ンクサート中の水の塩化	・山留めの撤去	山留め壁等の存置 ・行う ・行わない	[8.28.3
	・耐火塗料	物イオン濃度試験方法」による。	277,10%0410	・騒音振動の防止	低騒音型 低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械	戯を使用する 。
	材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。					
	AL AP.	8-6 · 適用範囲 連続繊維補強工法		・杭地業	支持地盤の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む) ・ (・ 図示	[8.2.14][8.28.4](4.3.7
	性能 適用箇所(部位・部分)	・連続シートを柱に巻き付けて補強する工法			杭の材料、工法、寸法、施工方法等	
	・30分耐火	── 」 連│			· () · 図示	_
	・1時間耐火	続 繊 ・連続繊維シート 連続繊維の材料			・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法	
	・ 2 時間耐火	繊 ・連続繊維シート 連続繊維の材料 ・炭素繊維	[8.2.13]		・()・図示・杭の継手の箇所数、材料、工法等	
	~ rg rd #1 //	補 ・アラミド繊維			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
・建方精度	※(社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6 [鉄骨精度検査基準]付表[工事現場]による	強 ()			・杭の溶接継手	
	(7 \ 1 0.				技能資格者の技量・()・図示	
・アンカーホ^ルトの 保持	ト 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.2.4)(7.1)	事			溶接部の確認・()・図示	
及び埋込み工法	, I	ヤング係数(含浸硬化後)		性ョルギ ョ	(建筑功收于重矩) (8) 人称 (5)	吉加川 上土 加油 佐田
	建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (表 7.10.)			村記江觨書	(建築改修工事編)(8) 令和4年度版	高知県土木部建築課
	種別 ・A種 ・B種	工 法 ※ (一財) 日本建築防災協会の評価を受けた工法			,	
		※(一財)日本建業防災協会の評価を受けた工法・()			令和 年 月	
	二炷苡削作败去位			後免野田小学校3陛	トイレ洋式化改修工事(建築) 工事	A-08
	知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 中 第 和 立			○ 九五田小子取り陷	令和5年7月改正	
}	級 建 築 士 第135971 安 並 和 文				11年5年7万以上	1







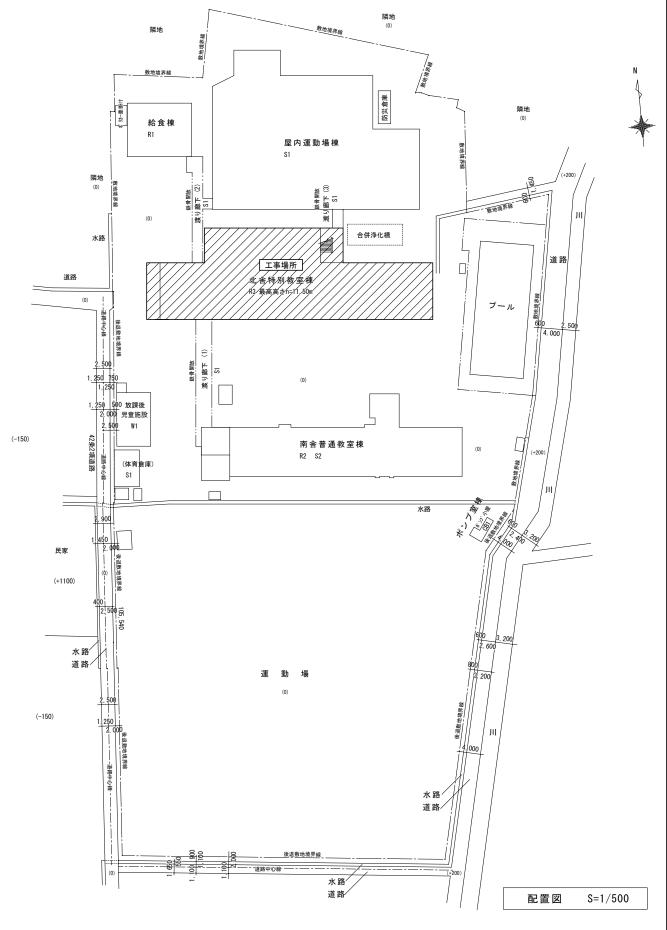
特別教室棟3階便所の洋式化、床ドライエ事、2階便所天井張替 改修工事



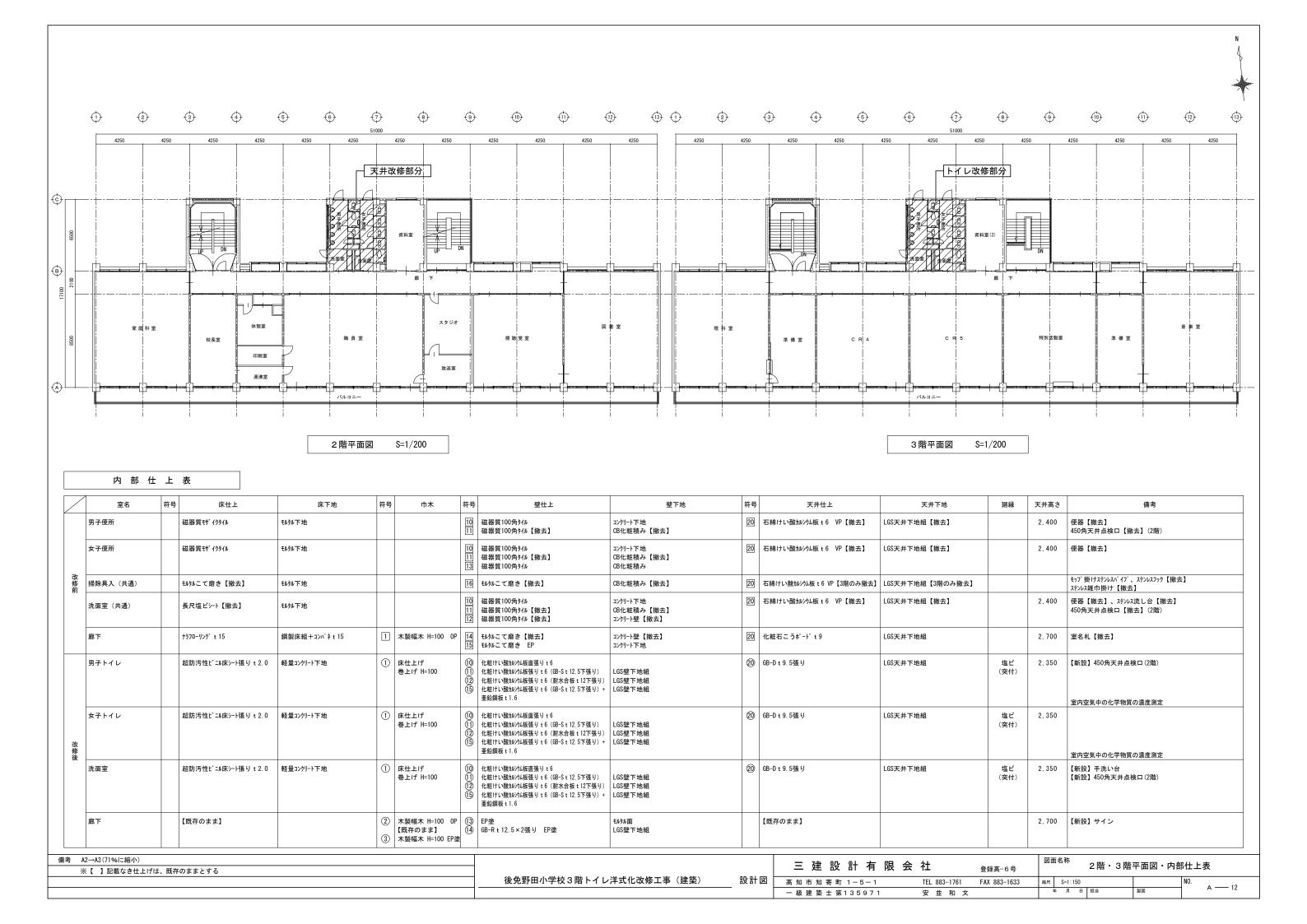
改修面積表			
3階	1	6. 50 × 5. 32	34. 58 m²
基準床面積			35 m²

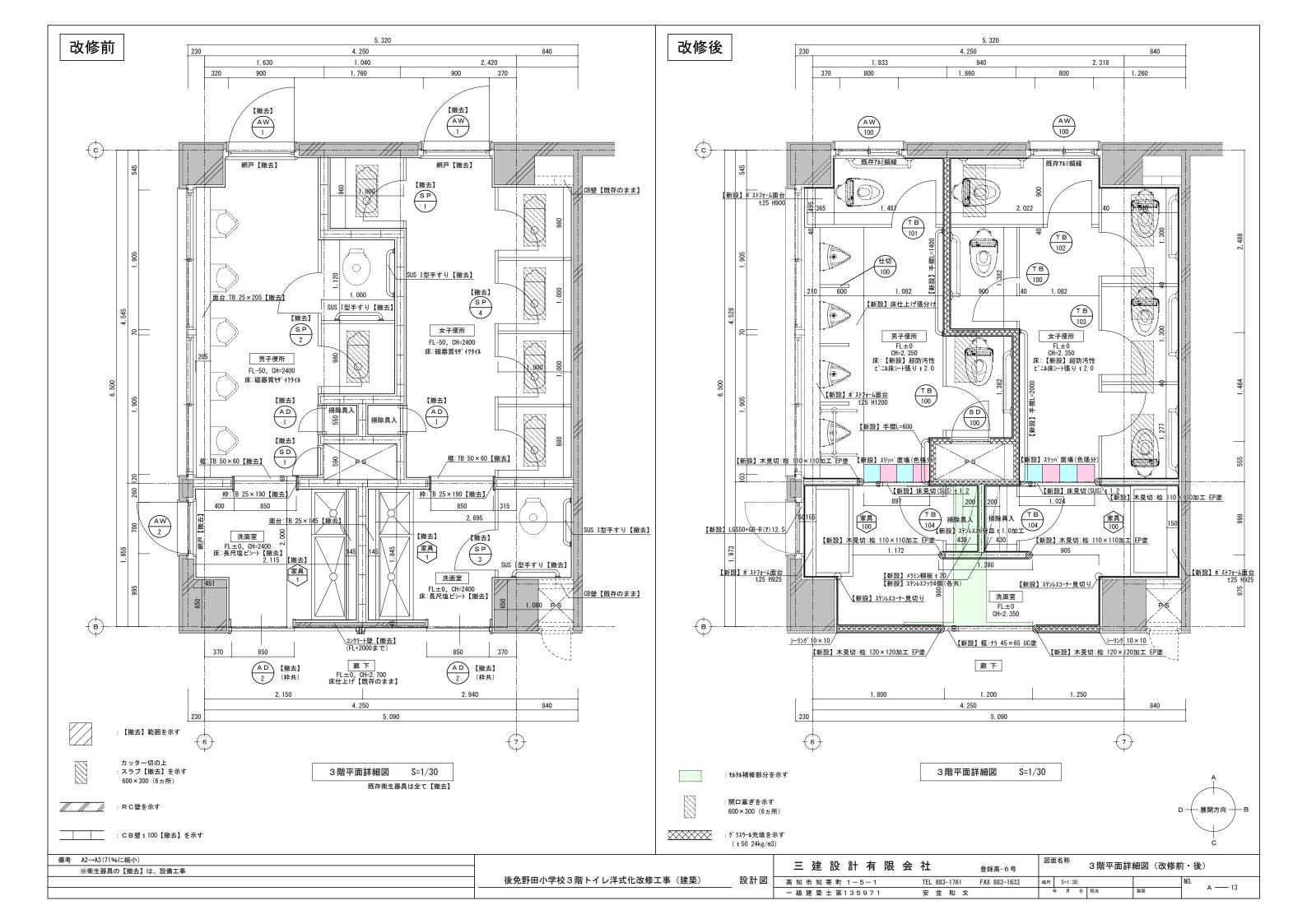


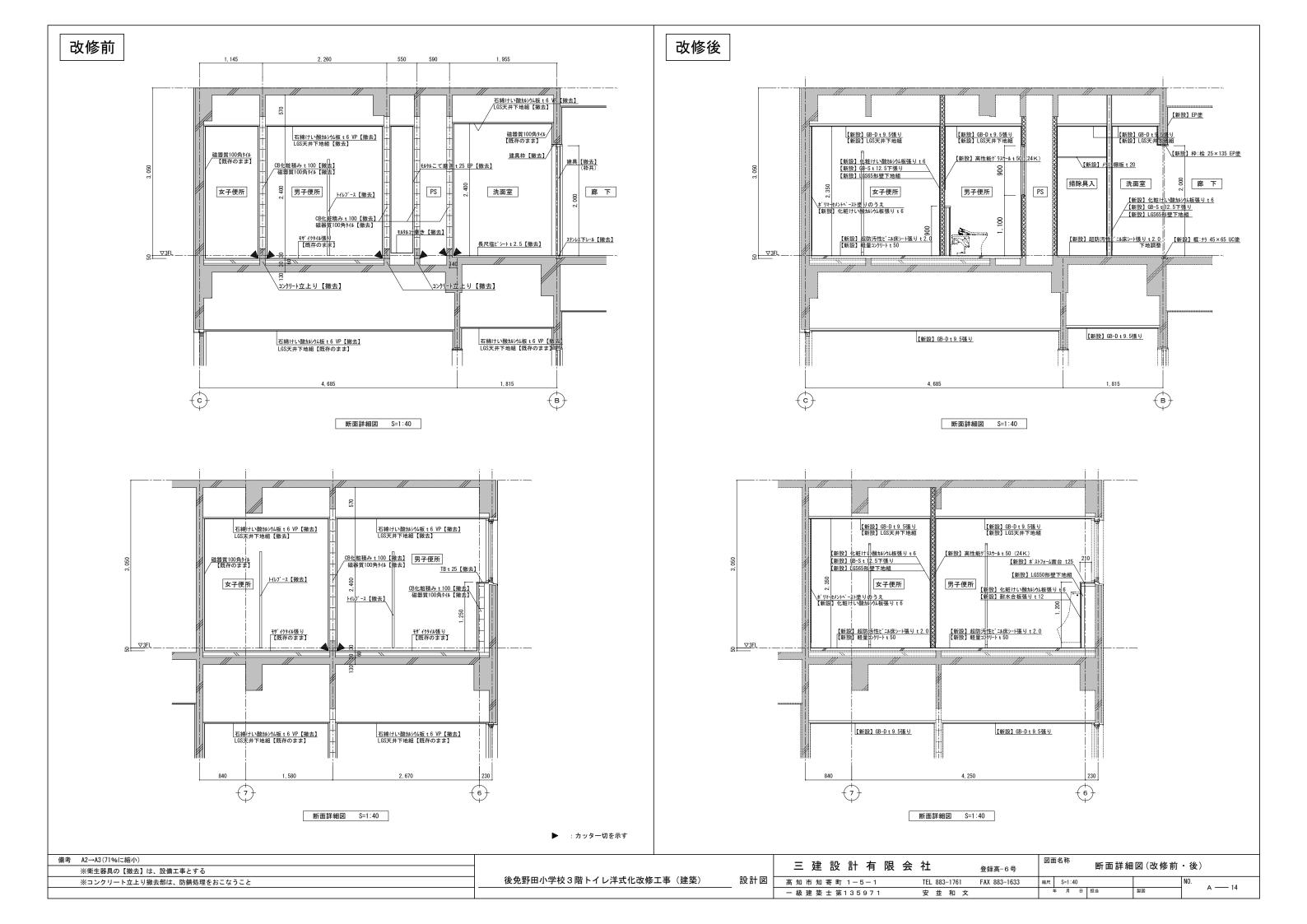


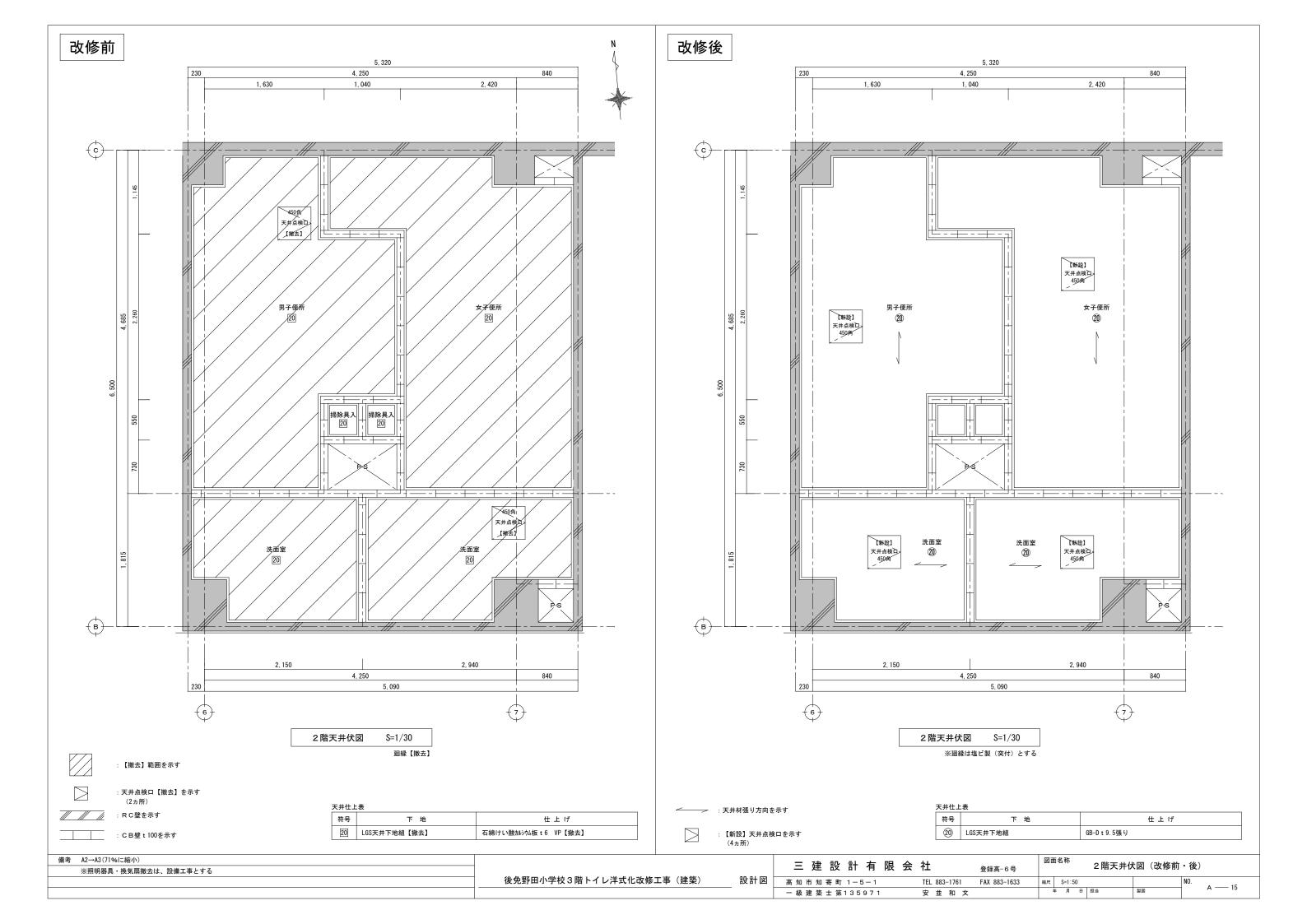


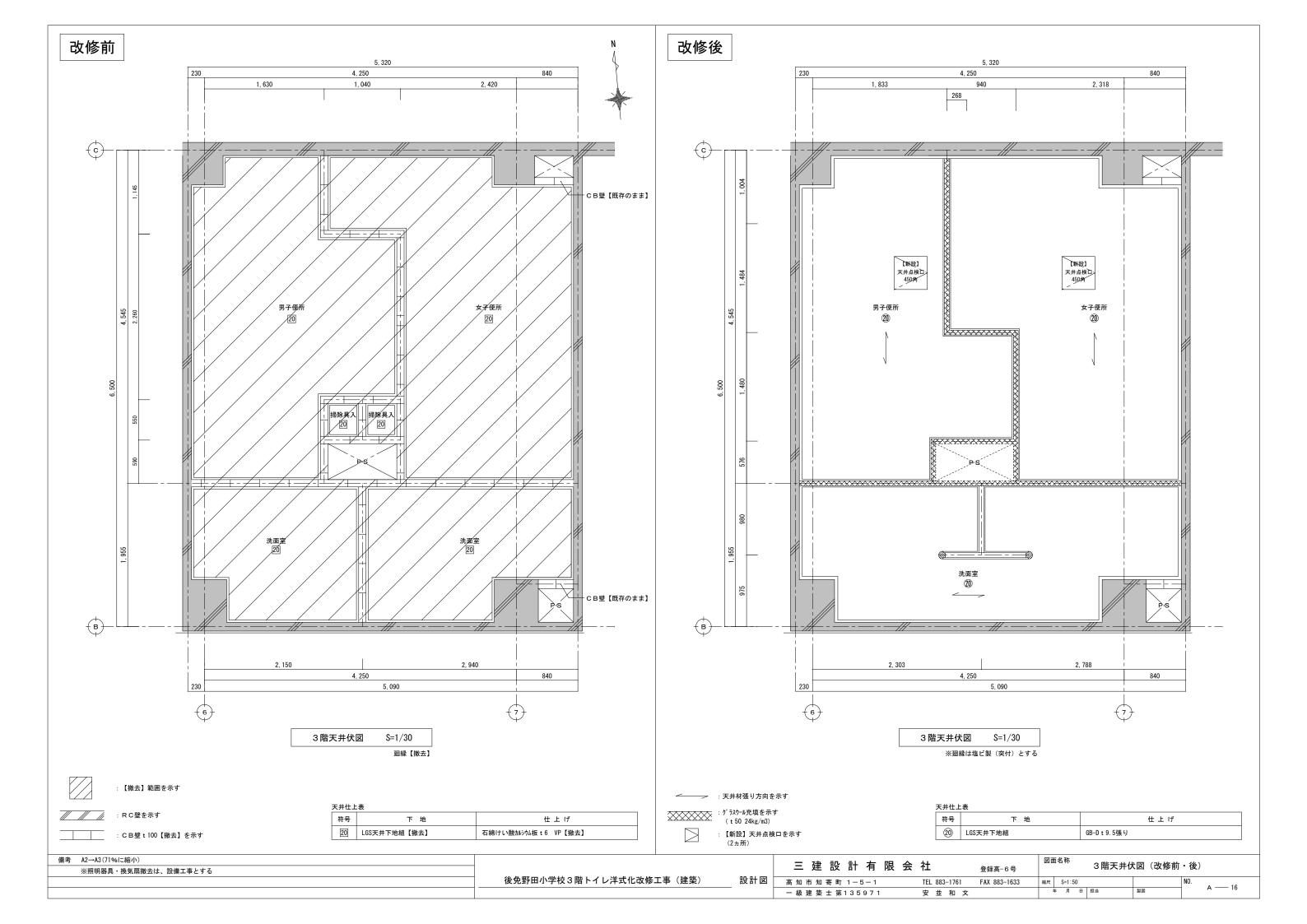
備考 A2→A3(71%に縮小)			三建設計有限会	社	登録高-6号	図面名称 工事概要	要・付近見取図・配置[図・3階改修部求積図
	後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事(建築)	設計図	高 知 市 知 寄 町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:500		NO. Δ —— 11
		-	— 奶 建 筑 + 第125071	安 並 和 女		年 月 日 担当	製図	1 4 — 11

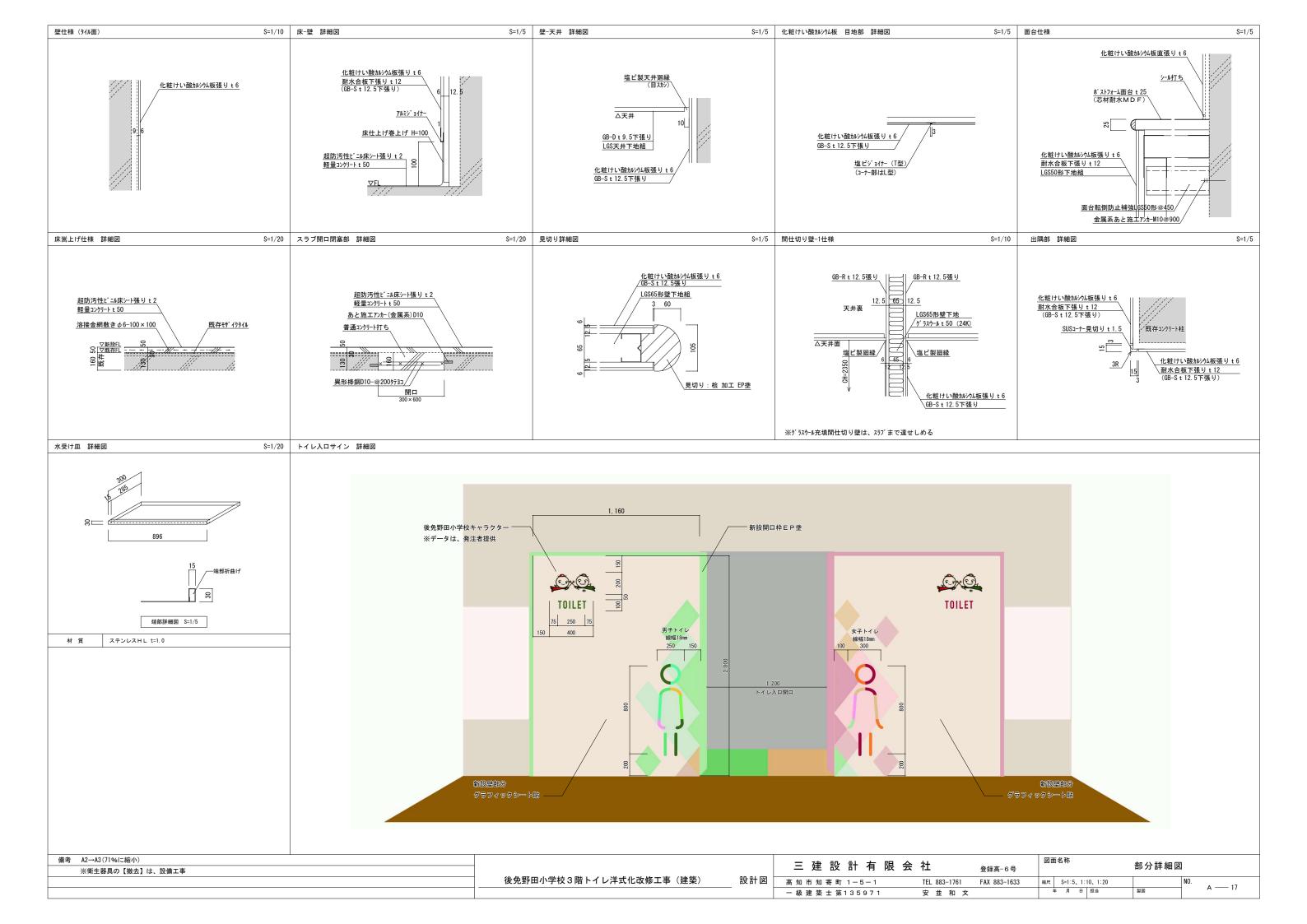


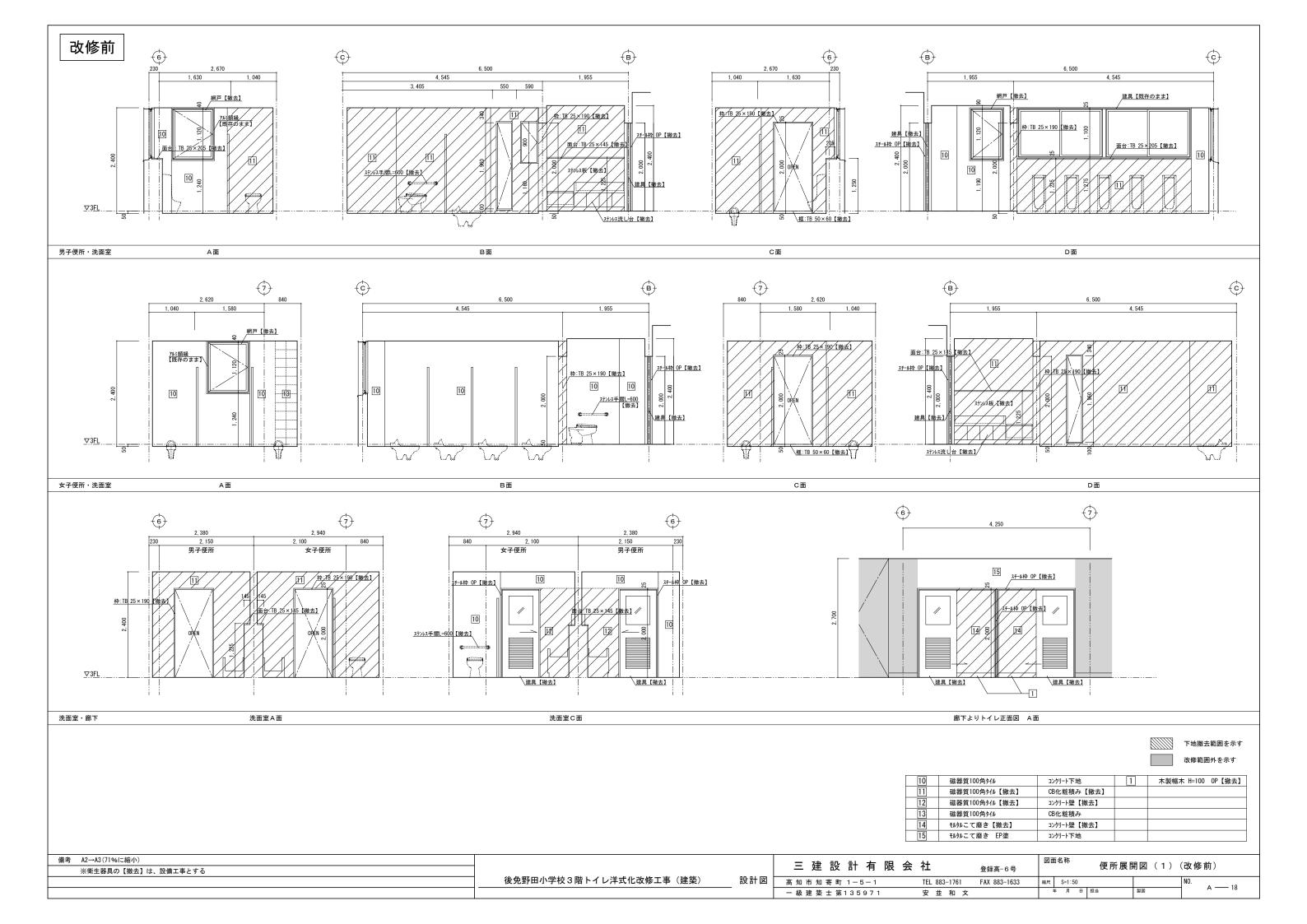


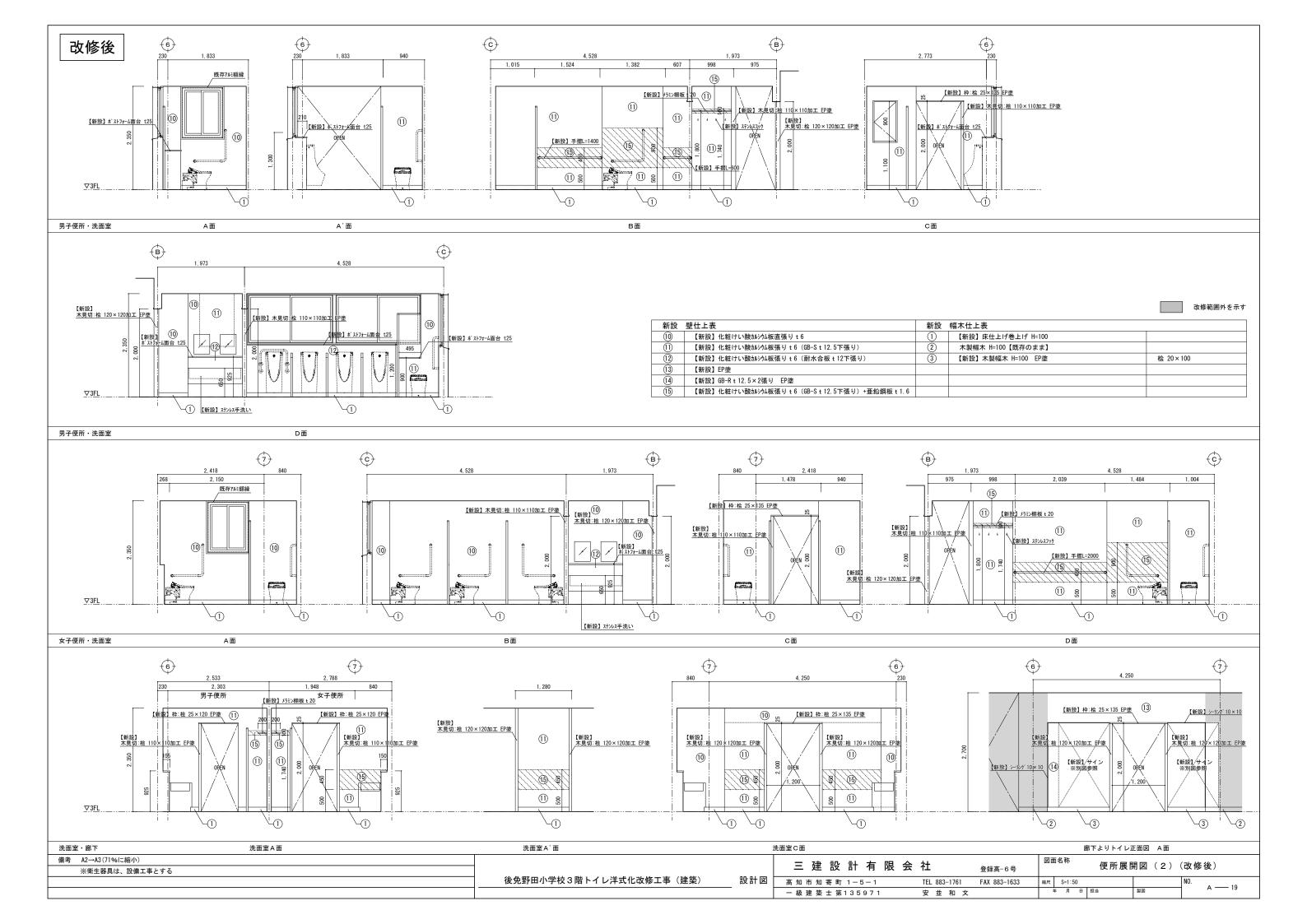


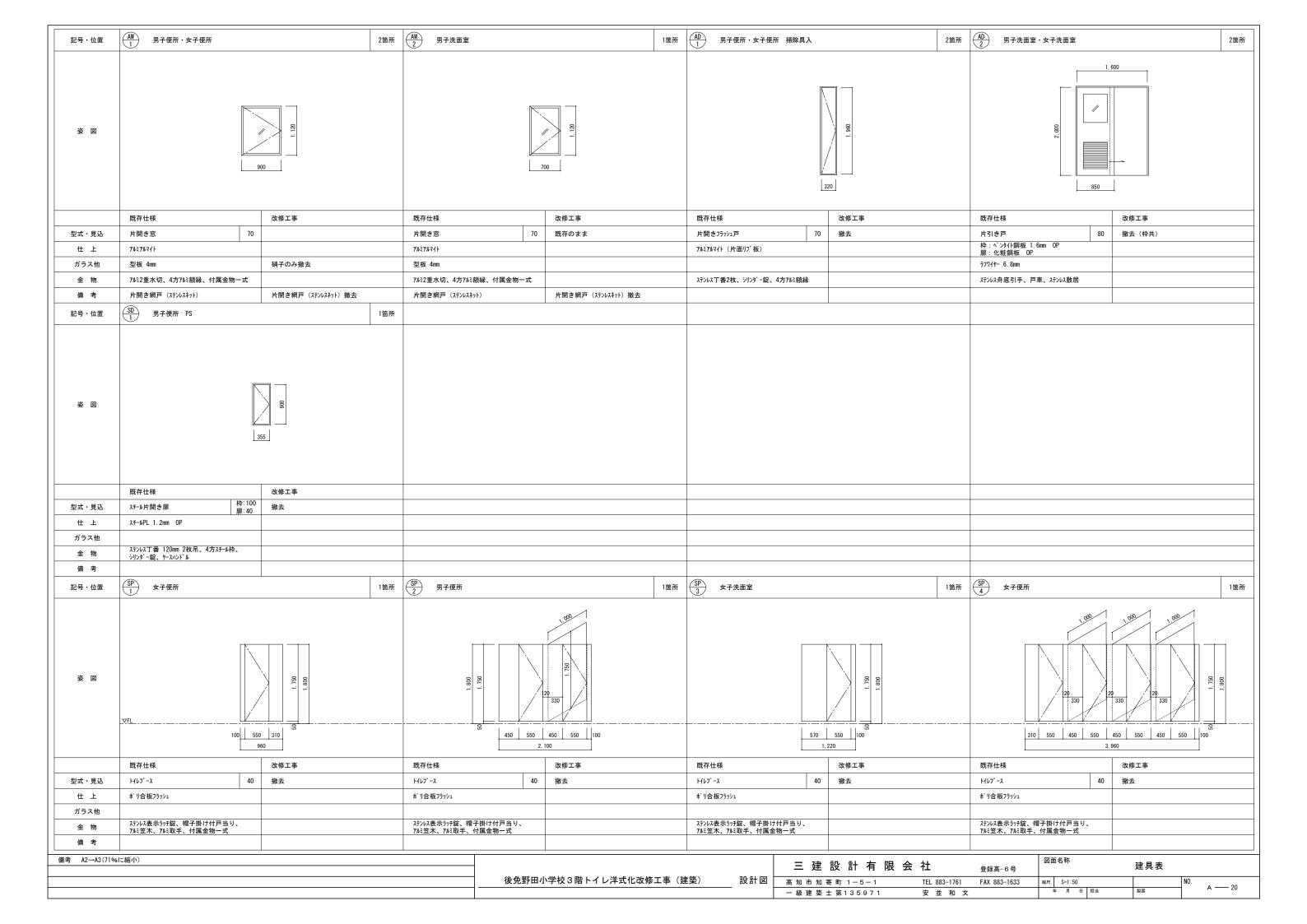


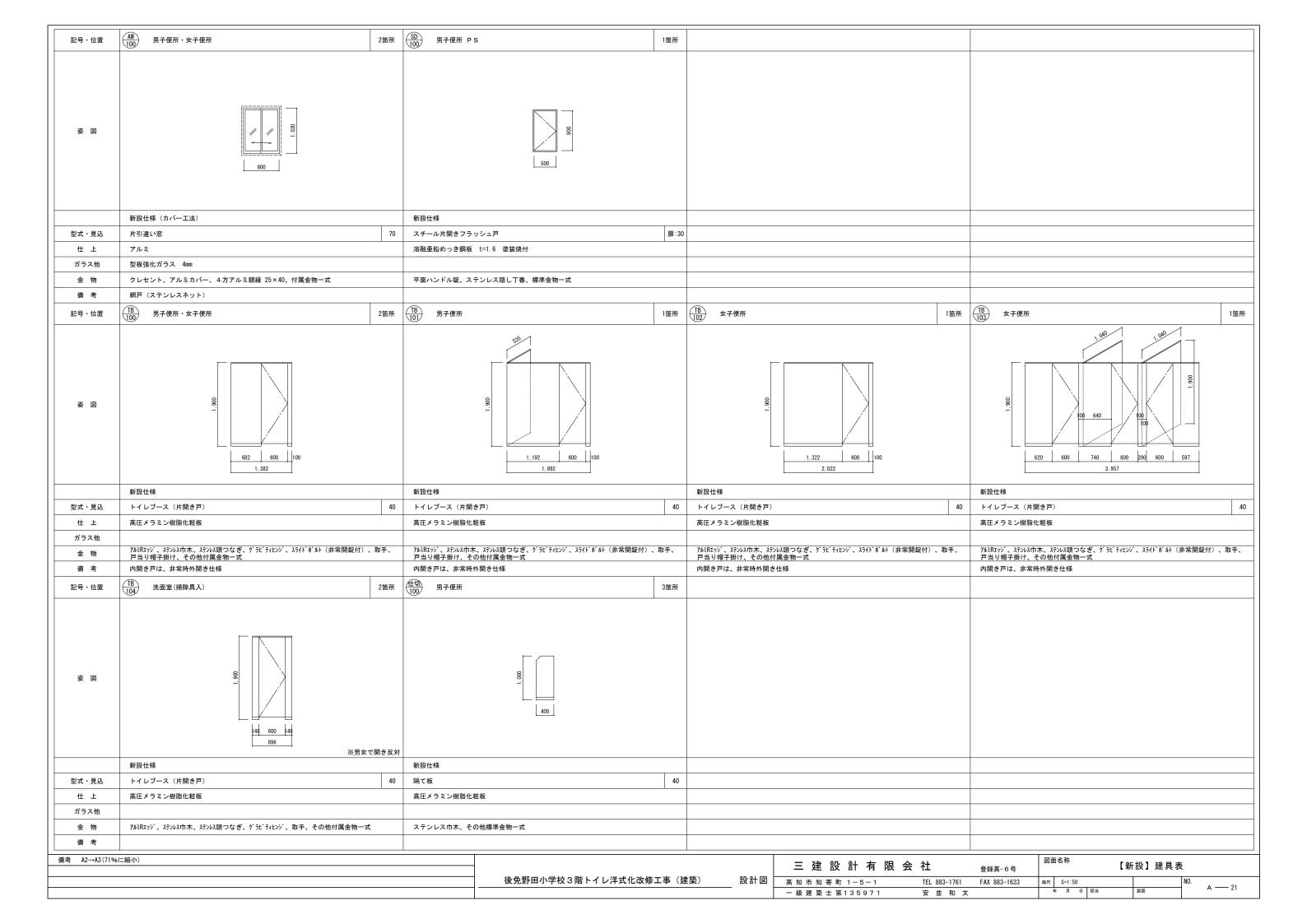


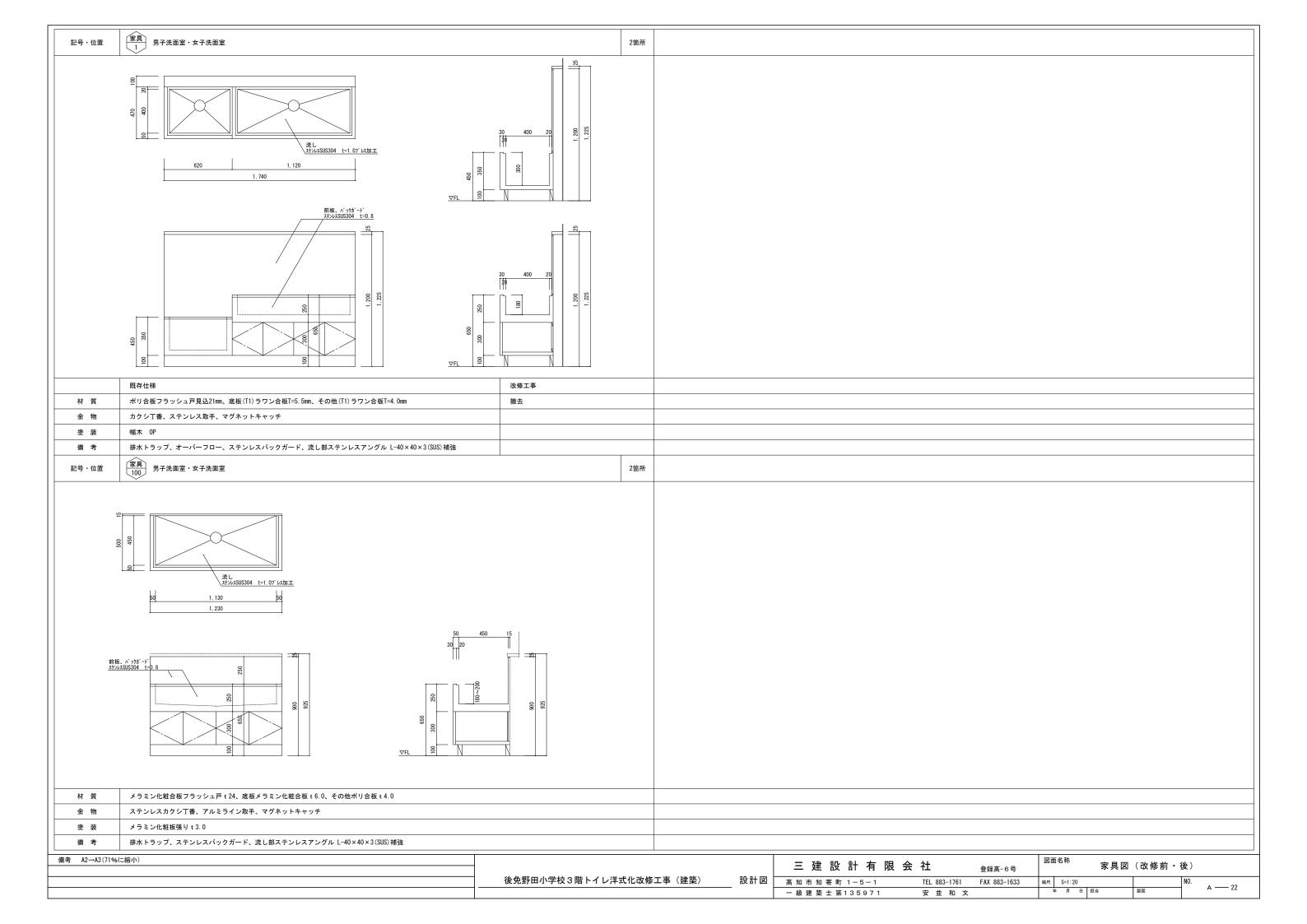


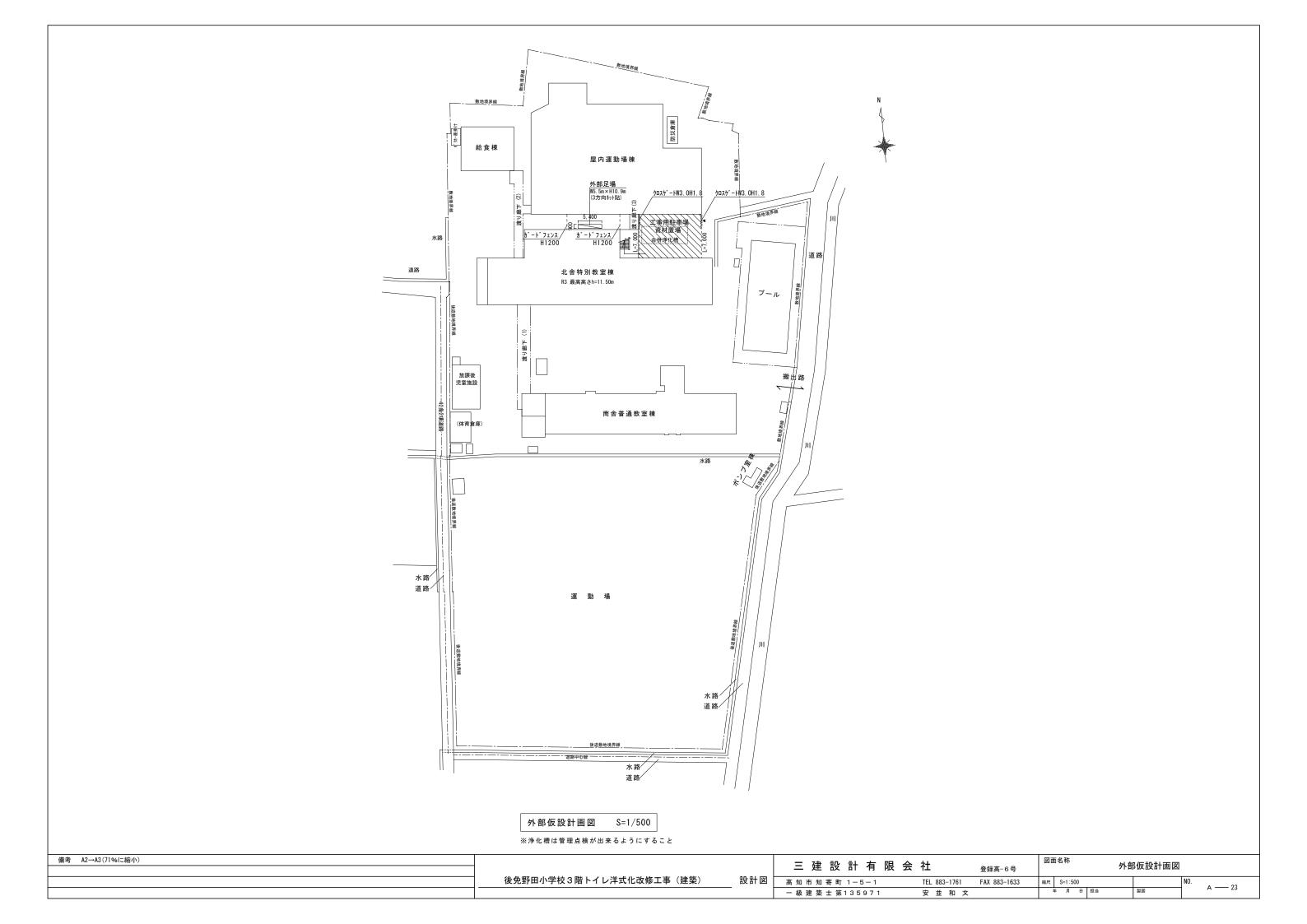


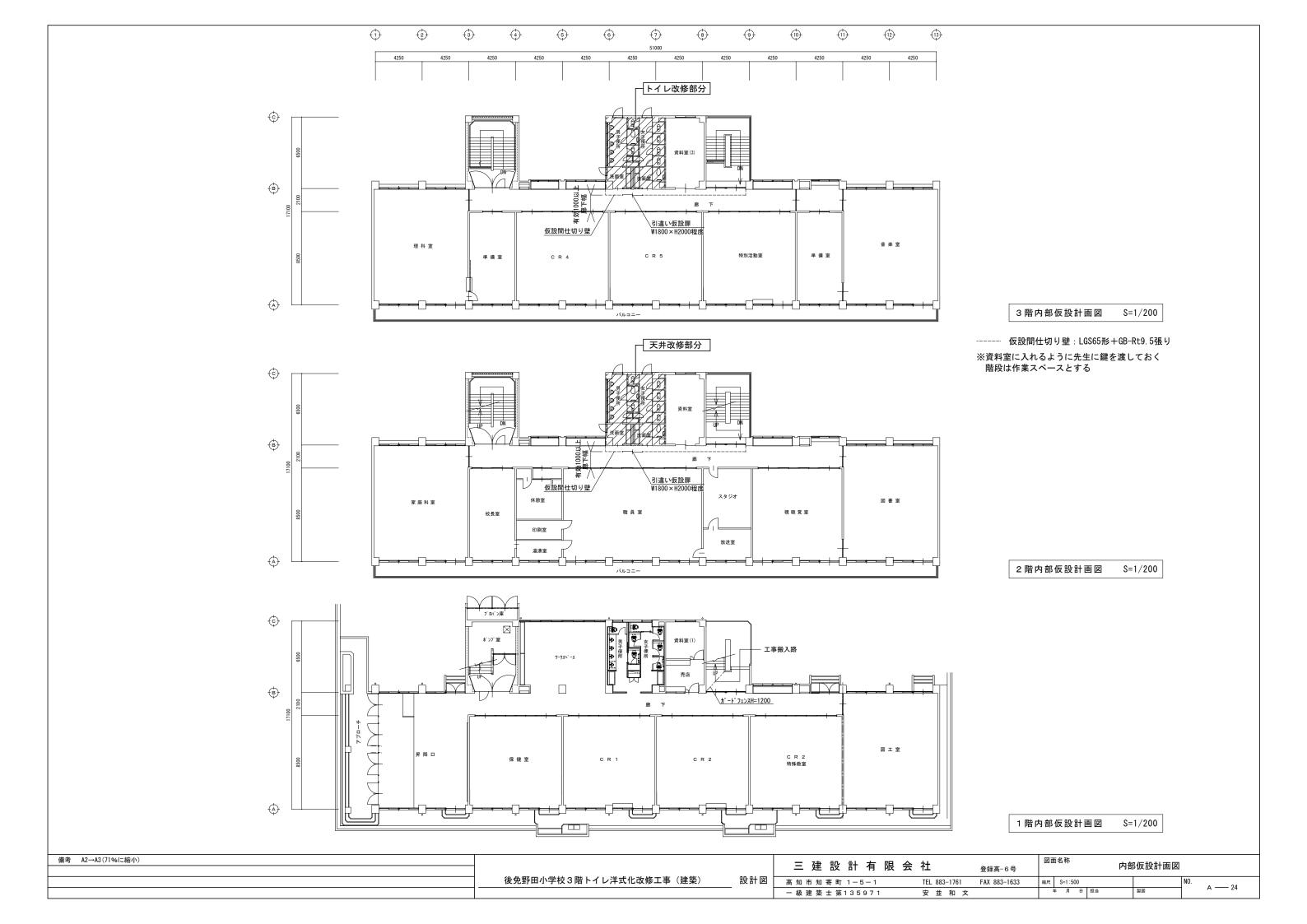












特記仕様書

- T 事 概 要
- 1. 工事場所 高知県南国市下野田276-2
- 2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令 別表第一
後免野田小学校	RC造	3 階建	1,954.62 m ²	7 項
		階建		
		階建		

(注)延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目

建物別及び屋外 エ 事 種 目	後免野田小学校		
電 灯 設 備	0		
動 力 設 備			
受 変 電 設 備			
自 家 発 電 設 備			
避雷設備			
非常灯設備			
構内交換設備			
インターホン設備			
テレビ共聴設備			
電気時計設備			
放 送 設 備			
誘導灯設備			
トイル呼 出 表 示 設 備			
火災報知設備			
外 灯 設 備			
構 内 線 路			

- Ⅱ 工 事 仕 様
 - 1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工 事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版(ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準 仕様書(電気設備工事編)令和4年版)及び電気設備工事標準図(令和4年版)による。

- - 1)項目は、番号に〇印のついたものを適用する。
 - 2) 特記事項のうち選択する事項は〇印のついたものを適用する。ただし、〇印のない場合は※ 印を適用する。

項目	特 記 事 項
① 機 材	設備機材等指定表による。
② 工事用電力,水,その他	本工事に必要な工事用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。
	官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
	自家用電気工作物保安管理業務委託先
	
③工事用仮設物	構内に作ることが ・ できない (工事用足場に限る)
4 建設副産物	次のものは原則として再生クラッシャランを使用する。
	(屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業)
	アスファルトは原則として再生品を使用する。
	工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。
5 建設発生土の処理	※構外搬出
	搬出先の名称(
	所在地 (運搬距離 () km
	その他 搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。
	・構内指定場所に敷き均し ・ 構内指定場所に堆積
⑥ 産業廃棄物の処理について	高知県土木部建築課 特記仕様書(共通編)「産業廃棄物の処理について」によること。
7 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・別途工事
	補 強 ※別途工事・本工事
	自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ
	※別途工事 ・ 本工事
	天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事(墨出しは本工事) ・ 本工事
	軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事・別途工事
	埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮枠 ※本工事・別途工事
	補 強 ※別途工事 ・ 本工事
	照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※本工事・別途工事
	屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット(ふたを含む) ※別途工事 ・ 本工事
	屋外の受変電設備基礎 ※本工事・別途工事
	動力機器(電動機など)への接続 ※本工事 ・別途工事
	電話保安器用接地 ※本工事 ・ 別途工事
	図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。

- 8 電 線 類
- 9 呼 7 ß (10) フラッシュプレートの材質
- (1) カバープレートの用途別表示
- 12 接 地

(15) 絶縁抵抗の測定 (16) 補修など

18 結 露 防 止

(19) はつり・非破壊検査

- EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたもの
- 耐火ケーブル (FP) 及び耐熱ケーブル (HP) はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。
- 長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 樹脂製・ 新金属・ ステンレス
- シール等を貼付する。
- 下記による。

接地の種類	記 号	接地抵抗值	接 地 極
共 同 接 地	EAED	10Ω以下	EB (14 ϕ) x 3連 -2 組
A 種	ΕA	10Ω以下	EB (14¢) x 3連-2組
B 種	ΕB	150/Is Ω Is=1線地絡電流	EB(14¢)x 3連-2組
D 種	ED	100Ω以下	EB (10φ) x 1
C 種	EC	10Ω以下	EB (14¢) x 3連-2組
避雷用	EL	10Ω以下	EP x 1
高圧避雷用	ELH	10Ω以下	EB(14φ)x3 連-2組

避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製 13 埋 設 表 示

上記以外の接地極及び地中配線の表示 1000 x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込ん

工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。

17 屋上・屋側の支持金物 ステンレス製とする。(装柱金物は除く)

内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。 はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所 を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注 者もしくは県建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがあ る場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務 受注者もしくは県の担当の立会により確認すること。

20 天井仕上区分

22 L E D 照 明 器 具

23 照明器具の接地

24 照明器具用位置ボックス

21 配 線 器 具

25 一般照明器具の照度測定

26 非常用照明器具の照度測定 27 分電盤分岐回路

28 テレビ共同受信設備

29 構 内 埋 設 線 路

30 執務並行改修の単価の適用

③1) 耐 震 施 エ

だものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。 取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付を行う。

工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

(室名)はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。 タンブラスイッチは大角型連用形とする。

壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。 単相200∨、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。

グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)の判断基準適合品 とする。

ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。

ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。

ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの(定格電流15A以上)及び配線が末端となる ものは位置ボックスを設けなくてよい。

照明器具の改修前と改修後に照度を測定する事とし、測定表を監督職員に提出する。 測定箇所については監督職員と協議を行う事。

設置した各部屋2箇所以上 分岐用配線用遮断機はJIS協約形2P50AFの1Pサイズとする。

分岐器、分配器、直列ユニットはBS・CS共用形(BL品)とする。 ・双方向型 電界強度の測定 ・要・不要

埋設深さ 特記なきはGL-600以上とする。

地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。

地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート(ダブル)を管頂と地表面の中間に設ける。 本工事は執務並行改修として積算に用いる単価の補正を行っている。

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人 建築研究所監修)による。

なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。

1)設計用水平地震力

機器の重量[N]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度 は、次による。

【設計用標準水平震度]	· 特	定の施設		般の施設
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
工 層 階 塔屋及び屋上	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
塔座及び座工	水槽類(※1)	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
中間階	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水槽類 (※1)	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	機器	1. 0	0. 6	0.6	0.4
地下及び1階	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽類(※1)	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
ただし重要機器	のアンカー計算におけ	- る設計用標準水平	震度は全階 2.0	とする。	

【備考】(※1)水槽類には燃料小出タンクを含む。

注:上層階の定義は次による。

2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階 13階建以上の場合は上層4階

重要機器(・ 自立配電盤 · 発電装置(防災用) · 直流電源装置) ・ 交流無停電電源装置・ 交換装置・ 自動火災報知受信機) (・ 中央監視制御装置・・

2)設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の2分の1とし、水平地震力と同時に働くものとする。

32	= :	ンクリー	- トエ事	/骨柞	†	本工事にお	いて、細骨材に海砂	を配合	した生コンクリートを	使用する場合、高知	県内産	海砂を
						配合したもの	のを優先的に使用す	るもの	とする。			
33	/\	ン	ドホ	_	ル	ハンドホー	ルは現場打ち、ブロ	ックの	どちらでもよい。			
(34)	I	事 ・	完	战 写	真	写真の撮り	方は、「国土交通省	大臣	官房官庁営繕部監修 営	繕工事写真撮影要領	(平成	28年
_						版による	エ事写真撮影ガイト	ヾブック	カ 電気設備工事編 ^国	平成30年版」による。	,	
						下記のもの	を監督職員に提出す	ける。				
						区分	提出形式		(i	青 考		
							A4版カラー印刷		A 4版カラー印刷には	、写真内容説明を記	入。	
						工事写真	画像データ(JPEG形:	式)				
							※上記両方を提出					
							A4版カラー印刷		A 4版カラー印刷には	、写真内容説明を記	入。	
						完成写真	画像データ(JPEG形:	式)	外観1枚を含む内外6枚	程度。		
							※上記両方を提出		完成検査時に提出。			
35)	I	事	完	成	図	共通仕様書	に従った完成図及び	『保守!	こ関する指導案内書を!	监督職員に提出する。)	
						A 4	版	1部		※要・不要		
						A 3	版 2ツ折り製本	2 部		※要・不要		
						CA	Dデータ CD-R	?		※要・不要		
36	石	綿含石	有 建 材	の調	一查	工事着手に	先立ち、あらかじめ	関係法	令に基づき、石綿含有	建材の事前調査を行	īう。	
						事前調査は	書面調査、現地調査	にて行	う事とし、調査の結果	により分析による石	綿含有	i調査を
						行うか監督	職員と協議を行う。					
						石綿含有建	材の設計時調査(情	報提供	· 有 ·	無		
(37)	機	器	取	付	高	壁付、壁掛	形の機器等の取付高	さは、	図面の記載のない場合	は原則として下表に	よる。	
						ただし、監	腎職員の指示により	変更す	·ることがある。(住宅	は別途協議)		
		名	称			測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付	高 (mm)
ブラケ	ット	(一般))			床上~中心	2, 100	避雷排	妾地用端 子箱	地上、床上~中心		800
"		(踊場))			"	2, 500	接地村	運埋設標	地上~中心		600
"		(鏡上))			鏡上端~中心	150	室内如	端子盤(廊下、室内)	床上~下端		300
	-											

名 称	測 点	取付高(mm)	名 称	測 点	取付高(mm
ブラケット (一般)	床上~中心	2, 100	避雷接地用端子箱	地上、床上~中心	800
" (踊場)	"	2, 500	接地極埋設標	地上~中心	600
" (鏡上)	鏡上端~中心	150	室内端子盤(廊下、室内)	床上~下端	300
避難口誘導灯	床上~下端	1,500以上	接地用端子箱	床上~下端	500
廊下通路誘導灯	床上~上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上~中心	(天井高) x0.9
スイッチ(一般)、アッテネータ	床上~中心	1, 300	呼出ボタン(身体障害者用)	"	900
スイッチ、インターホン子機(身体障害者用)	"	1, 100	復帰ボタン (")	"	1, 800
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット(一般)	"	300	廊下表示灯 (")	"	2, 000
" (和室)	"	150	テレビ機器収容箱	"	1, 800
" (台上)	台上~中心	150	火報受信機 (複合盤)	床上~操作部	800~1,500
コンセント(ガス漏れ検知器(LPガス))	床上~中心	200	火報総合盤	床上~中心	800~1,500
分電盤、制御盤、親時計	,,	1, 500	コンセント (車庫)	床上~中心	800
刀电盗、削岬盗、杭吋司	"	(上端1,900以下)	ガス漏れ検知器(LPガス)	床上~警報器上端	300
開閉器箱、中間端子盤(EPS、電気室)	,,	1, 500	" (都市ガス)	天井面~中心	(天井面) -200
インターホン、副受信機		1,300	引込開閉器箱 (低圧)	床上~上端	2, 000
		備考	(天井高) x0.9は天井高が、2,	500~3,000mmの場合	合に適用する。

③8 室内空気汚染 (揮発性有機化合物)対策

	対象建築材料等	使 用 制 限
, ,	① 合板,木質系フローリング 構造用パネル,集成材 単板積層材,MDF パーティクルボード,ユリア樹脂板 壁紙,緩衝材,断熱材 保温材,仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
	② 塗料	ホルムアルデヒド, アセトアルデヒド, スチレン, トルエン, キシレン, エテルベンゲンを含有 していない水性系のものとする。
	③ 木材保存剤 (防腐処理、防蟻処理等)	クロルビリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし 加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
	④ 内装用接着剂,木工事用接着剂 配管用接着剂,接合剂	1) ホルムアルデヒド, アセトアルデヒド, スチレン, トルエン, キシレン, エチルベンゼンを含有してないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル, フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
	⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	(①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合は F☆☆☆又は同等品を使用する。)

室内に関わる材料(上記①~④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、 ホルムアルデヒド, アセトアルデヒド, スチレン, トルエン, キシレン, エチルベンゼン, フタル酸ジー n ーブチル, フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブの有無または成分について 一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

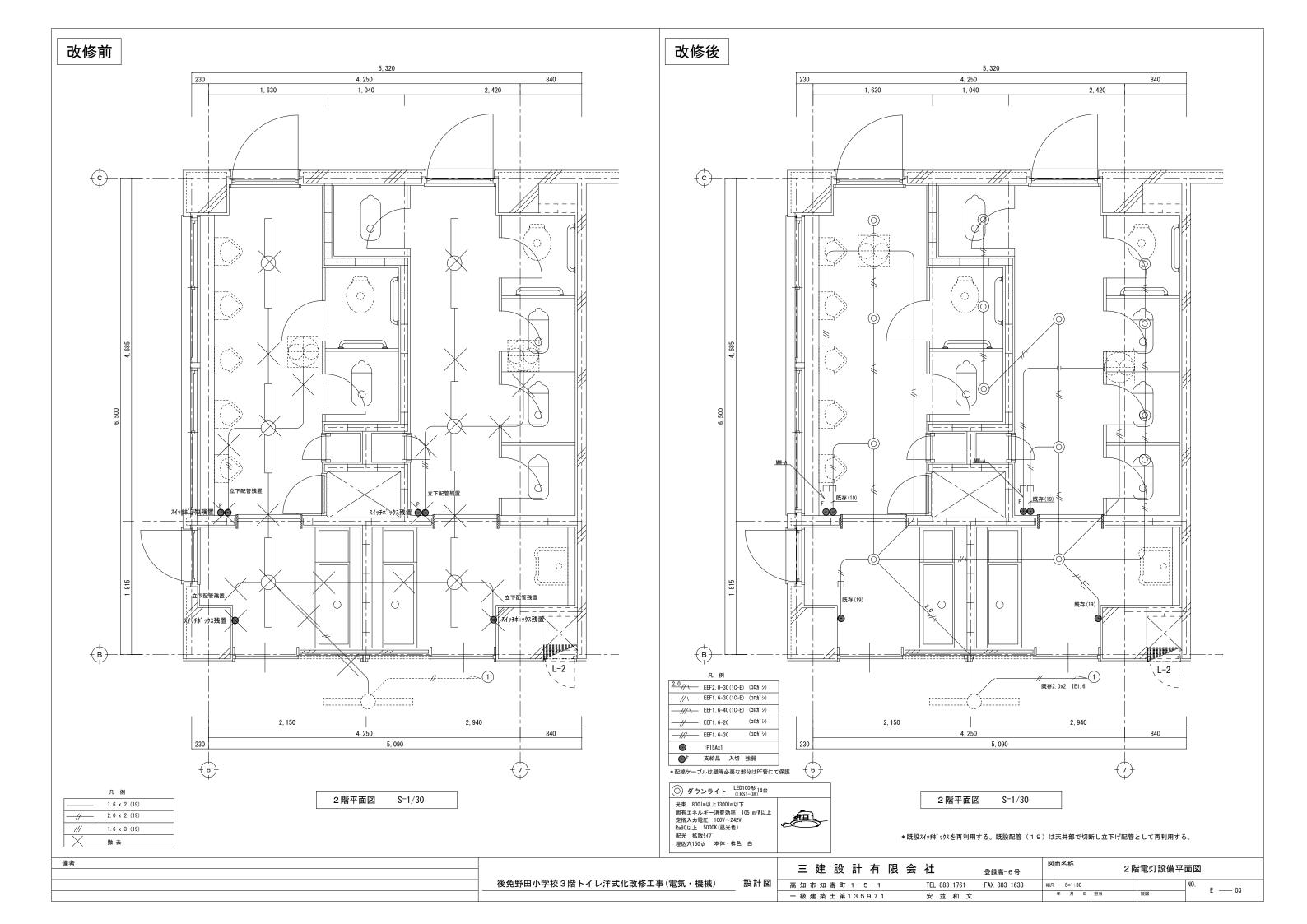
工事名

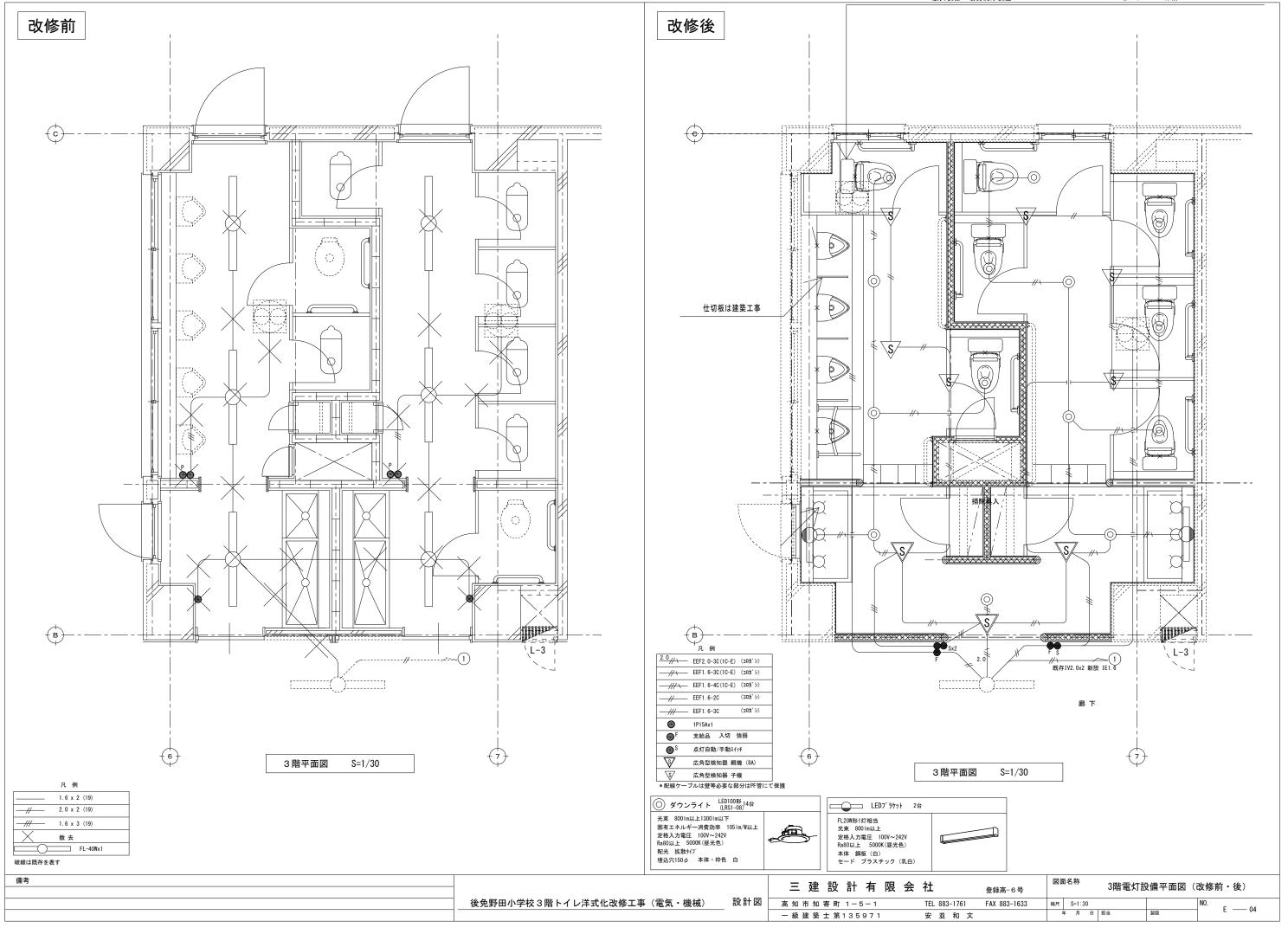
後免野田小学校3階トイレ様式化改修工事(電気・機械)

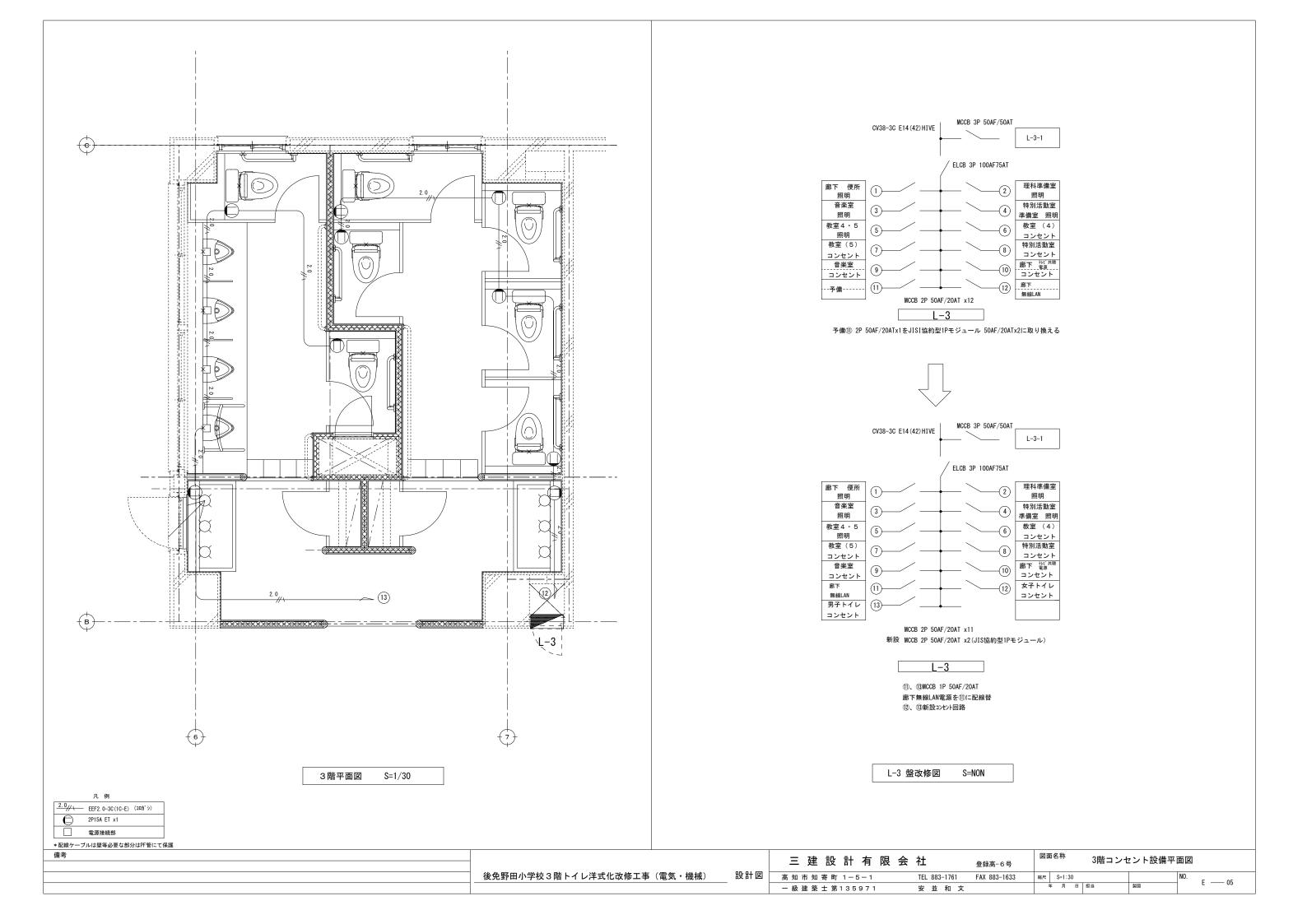
南国市

E-01

機材名	指定品	機	材	名	1	指定品	機	材	名	メーカー名	機	材	名	メーカー名	機	材	名	メーカー名
電線管類・同付属品 電 線 類 等	J I S マーク表示品 国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準						LED照明器	1		アイリスオーヤマ (株) 岩 崎 電 気 (株) (株) 遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック (株) バナソニック (株) 三菱電機照明 (株) (株) YAMAGIWA	蓄電池 へ*ント形据置 制御弁式据 据置ニッケル・		電池	エナジーウィズ株式会社 (株) GSユアサ 古河電池(株)				
	仕様書(電気設備工事編) JISマーク表示品									山田照明(株)	監視カメラ装制	<u>置</u>		(株) JVCケンウット・・公共産業システム TOA(株)				
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの						照明制御装	置		東芝ライテック(株) パナソニック(株) 三菱電機照明(株)				パナソニッウコネクト(株)				
配線器具類	JISマーク表示品						可変速電動	機用インバー	- ター装置	(株) 日立産機システム 富士電機(株)								
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機	JISマーク表示品									三菱電機(株)(株)安川電機	盤類(公共建築分電盤・制能キューじ、ケル式画	1盤)	(株) イトウテック 共 栄 電 機 エ 業 (株) 光 電 設 (株)				
JIS C 8201-2-2 に適合するもの 電磁接触器							高圧交流遮	断機(真空)		東芝インフラシステムズ(株) 日 新 電 機 (株) (株)日立産機システム 富士電機 (株)				上記の他、令和6年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの				
JIS C 8201-1, JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	JISマーク表示品									富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株) (株)明 電 舎								
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	JISマーク表示品						高圧限流ヒ	ューズ		(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株) 東芝インフラシステムズ(株) (株)日立産機システム	太陽光発電装置	<u> </u>		山洋電気 (株) (株) GSユアサ 東芝インフラシステムズ (株) パナソニック (株)				
指示電気計器 JISC1102 (指示電気計器)	JISマーク表示品									富士電機機器制御(株) 三菱電機(株)								
非常用照明器具	(社)日本照明器具工業会のJIL適合マークが貼付されたもの						高圧負荷開	閉 器		エナジーサポート(株) 大垣電機(株) (株) 新愛知電機製作所 (株) 戸上電機製作所 日本高圧電気(株)	大体和序录员	F *+ \$2 (UDC)		エナジーウィズ株式会社				
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの									(株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株)	交流無停電電源	₹ 次 但(UFS)		山洋電気 (株) (株) (8ユアサ 東芝インフランステムズ (株) 富士電機 (株) 古河電池 (株)				
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの						高圧進相コ	ンデンサ		(株) 指月電機製作所				口河电池(株) 三菱電機(株) (株)明電舎				
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの									東芝インフラシステムズ(株) ニ チ コ ン (株) 日 新 電 機 (株) 三 菱 電 機 (株)								
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定委員会の自主評定マークが						高圧用変圧		ノデンサに限	る 利昌工業(株) ※1								
非常放送装置の蓄電池	貼付されたもの JEA蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付された もの									四 変 テ ッ ク (株) (株) ダ イ へ ン タカオカ化成工業 (株)※2 (株) 東 光 高 岳 東芝インフラシステムズ (株) 日 新 電 機 (株)								
非常警報装置(非常ベル)	日本消防検定協会の認定証票が貼付されたもの						*	2 モールド	で変圧器に限	(株)日立産機システム 富士電機(株) 三 菱 電 機 (株) (株)明 電 舎 る 利 昌 工 業(株) ※2								
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの														工事名	電気割	と備 機 相	材指定表 ROE
															後免野田小	∖学校3階	トイレ洋式化	改修工事(電気・機構







(1)

工事名称 御免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事(機械)

•										
	設計年度	(設計図)	令和	6	年度					
	工事期間	(完成図)令	和	年	月	日~令和	年	月	日	
	工事場所	高知県	南国	市	下野田	276-2				

棟名	構造	階数	延床面積 (m²)	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
		3	(改修部面積)		
小学校	RC造	戸数	34.58		(15)項
		1			

	共通事項											
	項目		特	記	仕	様				りを適用する		
	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土							改修工事の均	場合は、「公会	共建築改作	多工事標準 仕様
			<u>和4年版)」)及び「公</u>					よる。				
	_	※ 国土交通省大臣官房	官庁営繕部監修 リコ	事写真撮影力	ゴイドブック ジ	機械設備.	工事編」					
	スリーブ	※ 国土交通省仕様										
		(例:外壁の地中	部等 水密を要す部分はツバ	《付鋼管スリーブ	等。地中部分で水密	を要しない	部分はVUスリーブ。柱	、梁以外の箇所	で、開口補強が	不要でスリーブ行	圣200mm以下	「は紙スリーブでも
	機器類	● 国土交通省仕様 ●										
	区画貫通処理	※ 区画貫通処理の必要						び図面等で	残す。			
	耐震措置	※「官庁施設の総合耐震								特定の抗		一般の施
			エは「建築設備耐震設		」(国土交通省	国土技術!	政策総合研究所					重要機器 一
			研究所監修 2014年版					上層階	374 1111		1. 5	1. 5 1
			寺定の施設 ● 一般		地域係数:		+ 11 ee = 1		防振機器		2. 0	2. 0 1
		1)設計用水平地震力は						ひ塔屋	水槽類		1. 5	1. 5 1
			計用標準水平震度を乗		「る。	<u> </u>	直要機器	ᅩᇛᄥ	機器		1. 0	1. 0 0
			用標準水平震度は次に				防災機器	1	防振機器		1. 5	1. 5 1
		2)設計用鉛直地震力は	設計水平地震力の1/	2290.			火を使用する機	器	水槽類		1. 0	1. 0 0 0. 6 0
							タンク類	4.4h 17.bb . 1 17.bb	機器		0.6	
							消火設備機器	地階・ 階	防振機器		1. 0	1. 0 0
	## 80 の国亡	w ##### ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **			co+ + + + + **	· + τ ~ τ-	4444		水槽類		1. 0	1. 0 0
	機器の固定	※ 基礎のアンカーボル				品類の取	りけホルトは、ロ	ックナット	メは2重ナッ	ソトにて固定	9 る。	
- 1			ボルトの余長は3山以			3* _B	1.十7 /用揮件	W 1 C \	w L-1:	(3)	- 4.4	
- 1		※機器の固定に使用す						¥16)	※ ケミカノ	レアンカーは	、大开万	「門に使用しな
	和供のませ	※ 防振架台を設置する						フェゴゲル	士壮士 7			
	配管の支持	※ 一般土間コンクリー								H 1 +>1>		
		※ 屋外及びピット内配 ※ 仕様のとおりに吊り							特策可は使	用しない。		
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表	11 11 22 21	他の貝材能で	<u>ま寺と下沙りる</u> 給水	あ口は拡	11年のを適且取り			冷温	! 7k	
	はし按口的	ねし接口物使用匹力扱		ほかし7 管 「 5/	ング 管 水栓金具		ステンレス管 ライニン		7テンル7 管	ライニング管		弁類
			テープシール材	177VAE 71-	(イ)	ノド大規	\(\lambda \) \(\	/ 日		/1-// 目	277 E	カス
				(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)			(口)
- 1		1	ペーストシール剤		/\)	\ <u>-</u> /	(/		+ `-'	(11)	(11)	127
	(テープシール材)	※(イ) テープシール				1. 未供成			のとする		···/	
	()) / / / / / /		シール材を用いない。				, , (<u>.</u> .,))	/ IC & O D	~, ∟ 7 ′V o			
	(ペーストシール剤)	※(ロ) 一般用ペース					成分のものレナス					
	(ハーストラール剤)	※ (ロ) 一般用バース ※ (ハ) 給水用、給湯							供き) に担中する	小冶田	シュール 対し レナ 2
			用及いホ温水用のMs において JWWA K 161					フ州日川収	仏 ノールη	/ に放足する	小坦用.	<u>ノール押</u> 」こ 9 る
			防食の必要がないネシ				削は下記による。					
			iの良の必要かない不っ くチックス株式会社の				w A WHEDMETIC	E_110l. =	工業性士4	>++ 0 A 11 4	エックト	ام ۸۸_۵ <i>+</i> ، كا
			、アックス株式芸社の 使用する防食用ペース			ハルメラ	7 7 WILKWEIT	1-119. Щд	工未休八 z	またのベルグ	ナックト	10, AU-3/4 C)
			使用する防食用ペーク くチックス株式会社の			+4+	ii メエックのUT_C	ool E_100 -	山工工学社	± = +	11. 7 = 11.	# No AO-0+: L
	弁類	※ ステンレス鋼管に取							山工工未作	れ五五世のへ	ルメナツ	7 NO, AU-3/4 C
	サヤ管工法	※ サヤ管工法で施工す						9 %				
	埋設深さ(管上)	○ 一般敷地300mm以						O O O mm U	F 〇 公	道1 200) mm U F	
	埋設管の保護	○ 埋設管は周囲100					т О де 1,	0 0 0 1111112	- Од	旦1, 200	/ IIIII & c	
	全成日の休良		程度に体設りをハヤ 水管はクイックチュ-									
- 1	石綿含有品	一 () 亩水去以除小甲%。				J- U 0						
I.	. H vib D . H vill		()本丁事 ()則等	€ (((1)	•	J. U.						
		※ 石綿含有分析調査					は関係法令に従い	適切に処理	を行う			
	建設発生+の処理	※ 石綿含有分析調査 アスベスト含有品(○本工事 ○別途 ガスケット、パッキン				は関係法令に従い	適切に処理	を行う。			
	建設発生土の処理	※ 石綿含有分析調査 アスベスト含有品(※ 構外搬出			手、保温材、天		は関係法令に従い	適切に処理		\ km		
	建設発生土の処理	※ 石綿含有分析調査 アスベスト含有品(※ 構外搬出 処理場所(ガスケット、パッキン	/、たわみ継号	手、保温材、天)所在地(井材等)			を行う。)距離() km		
	建設発生土の処理	※ 石綿含有分析調査 アスベスト含有品(※ 構外搬出 処理場所(ガスケット、パッキンの搬出先は上記を予算	v、たわみ継≡ ≝している。掛	手、保温材、天)所在地(井材等)) km		
		※ 石綿含有分析調査 アスベスト含有品(※ 構外搬出 処理場所(その他 建設発生土 (構内指定場所に敷き	ガスケット、パッキンの搬出先は上記を予定 均し 〇 構内指定場	v、たわみ継号 ピしている。掛 請所に堆積	手、保温材、天) 所在地(_{毅出先が変更と}	井材等)) km		
	建設発生土の処理建設副産物	※ 石綿含有分析調査 アスペト含有品(※ 構外搬出 処理場所(建設発生土 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ガスケット、パッキンの搬出先は上記を予定 均し ○構内指定場 ファルト路盤は原則と	v、たわみ継号 Eしている。 B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	手、保温材、天) 所在地 (般出先が変更と を使用する。	井材等) なる場合	は、設計変更の対	象とする。) km		
	建設副産物	※ 石綿含有分析調査 アスペ版出 処理場所 建設発生土き その他指定ルト、の砂 業内に、 ※ 浄化槽・桝類の砂 ※ 浄ス・砂・桝類の砂	ガスケット、パッキンの搬出先は上記を予定場し 〇 構内指原則と ファルト路盤はて再生地 地業は原則として再生	、たわみ継号 としている。 場所に堆積 として再生品で こくラッシャラ	手、保温材、天)所在地(設出先が変更 る。 ランを使用する。	#材等) なる場合 。(アスフ	は、設計変更の対 ファルト再生品混り	象とする。)距離(,) とする	
	建設副産物コンケリートエ事/骨材	※ 石綿含有分析調査 アスペ版出 ・ 横列現場所 健設発生生き の他指定ルトのでは ・ 浄ス・神スの・ 大ので、 ・ ※ ア・・ 神類の・ 大ので、 ・ ※ 本工事において、 ・ ※ 本工事において、	ガスケット、パッキンの搬出先() 路とは精盤としている。 の搬出 先() 路とは構盤としている。 ファルト原則をとしている。 地業は海砂を配合した。 骨材に海砂を配合した。	、たわみ継号 している。 間所に堆積 して再生品で ラクラックリー	手、保温材、 天) 所在が変 も 設出先がする。 ランを使用する。 ランを使用する。	井材等) なる場合 。(アスラ 場合、高	は、設計変更の対 ファルト再生品混り 知県内産海砂を配	象とする。 ごりは不可) 合したもの)距離(を優先的に	使用するも σ		☆置に悪出しる
	建設副産物	※ 石綿含有分析調査 アスペスト含 ・ 株外搬所(その他 建設発生土き ・ でかり、一 でかり、 ・ でかり、 ・ でかり、 ・ でかり、 ・ でかり、 ・ でかり、 ・ でかり、 ・ でかり、 ・ でかり、 ・ でがり、 ・ でがり、 ・ でがいいけい。 ・ でがいいけい。 ・ でがいいがいいいがいいいがいいいがいいいいがいいいがいいいがいいいがいいいがい	ガスケット、パッキンの搬出 先く に 構盤と に 精盤として と に 精盤として の 実は に 海砂 と この まで に あいま に かいま に あいま がっこう いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	、、たわみ継号 としてい は は に は で は で は で は で は で は で は で は で は	F、	井材等) なる場合 。(アス高 場合査を	は、設計変更の対 ファルト再生品混り 知県内産海砂を配 行う。施工場所を	象とする。 ごりは不可) 合したもの)距離(を優先的に	使用するも σ		立置に墨出しる
	建設副産物 コンケリート工事/骨材 はつり・非破壊検査	※ 石線合分析調査 イタイト イライト イライト イライト イライト イライ イライ イライ イライ イ	ガスケット、パッマート、パット、パット、パット、パット、パット、パット、パット、パット・ 一般 一般 一般 一般 一般 上記 一路 一般 上記 一路 一般 上記 一路 一般 一种	、、たわみ継言 このには再生シート このでは、 このでは、 このでは、 このでは、 このでは、 に	F、) 出 は た が は り は り た が す を 使 り を り た が す を 使 し 物 を で る の の の る の の る の の の の の の の の の の の	井材等) お場合 で入高さで は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	は、設計変更の対 ファルト再生品混 知県内産海砂を配 行う。施工場所を エする。	象とする。 ごりは不可) 合したもの 鉄筋探査器)距離(を優先的に	使用するも σ		立置に墨出しる
	建設副産物コンケリートエ事/骨材	※ ス利 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ガスケット、パパット、パパット、パパット、パパット、パパット、パパット、パパット、 に表情をしている。 いかり フ地 大の に は 横盤 と を ンチェル を でいる いっと がった いっと かった いっと かん いっと いっと いっと かん いっと	、、たわみという。 これの いな は 中 の で は 再 生 の と の な 積 出 を で し こ 生 施 ル に し こ 生 施 ル に し こ と 性 ル こ し に し ま し れ で は 再 生 の と に し ま し れ で に で ま し れ で し に は れ で こ で は に れ で こ で は れ で こ で は れ か に れ で に れ が に れ が に れ が に れ か	E ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	井材等) は は は は は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	は、設計変更の対 ファルト再生品混 知県内産海場所を 行うる。 怪職員の指示によ	象とする。 こりは不可) 合したもの 鉄筋探査器 る。))距離(を優先的に	使用するも σ		立置に墨出しる
	建設副産物 コンパートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整	※ 不可能 () () () () () () () () () (ガス かい いい いい かい かい かい かい かい いい いい いい いい いい	、、このでは、これでは、これでは、これでは、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	天 と るる事を場別を ・	井材 なる 、場前行所定 、	は、設計変更の対 ファルト再生品混配 知県内施工 開行うる。の指で 上す職員及び はいたんあ	象とする。 こりは不可) 合鉄筋探査器 る。) いの測定)距離(を優先的に により探査	使用するもの し、鉄筋・画	己管類の何	,立置に墨出しる
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可能 を	ガス ハート に の 対 フ 地骨 あいま かっと	、、、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	天 と る事を場別工大 (更 。すすの認定の別を検別音金大 (更 。すすの認定の別を検別音金大 (更 。すずの認定の別を検別音金	井 な 。場前庁所定 ダ マ 、	は、設計変更の対 アアルト再生品混配 知用内産施工 で 大工 で も の が も の が も で に し の が に に に る 。 を に る に る に る に る に る に る に る に る に る に	象とする。 こら合鉄 るいのの のの のの のの のの の の の の の の の) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ	使用するもの し、鉄筋・ E ○ そのイ	己管類の(他	
	建設副産物 コンパートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整	※ 不可見 を	ガストトトトースを当れている。 が、パッツでは、 の均フでは、 が、パッツでは、 が、パッツでは、 が、パッツでは、 の均フでは、 が、のは、 の均フでは、 が、のでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 の均フでは、 のり、 のり、 のり、 のり、 のり、 のり、 のり、 のり	、、たわみのでは、 このでは、 にので	大	井 な 。場前庁所定ダ 画 イン 高を施監室製・データ かん アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカ	は、設計変更の対 アアルト再生品混配 知用内産海場所を を 対して 対して 対して を 対して が 気流及 取付) で の で の で の で の で に の を に の た に に る の が も に ら る に り る に り る に り る に り る に り に り る に に に に	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	立置に墨出しる すりA3版製本
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可見 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ガススケットトトートを受ける。 パー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	、、、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	天 と るる事を場測工 保 所先 の ますの認定の施 場 在が す使使設性(騒板 用をを埋段。(騒板 の ますの認定の施 の ますの認定の施 ※ こる事を場測工 ※ ●	井 な 。場前庁所定ダ 画 イン 高を施監室製・データ かん アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカ	は、設計変更の対 アアルト再生品混配 知用内産施工 で 大工 で も の が も の が も で に し の が に に に る 。 を に る に る に る に る に る に る に る に る に る に	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※	ガストトトトラリンのカース・ハース・ハース・ハース・ハース・ハース・ハース・ハース・ハース・ハース・ハ	、、たわみのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	天 と るる事を場測工※●	井 な 。場前庁所定ダ 画 イン 高を施監室製・データ かん アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカ	は、設計変更の対 アアルト再生品混配 知用内産海場所を を 対して 対して 対して を 対して が 気流及 取付) で の で の で の で の で に の を に の た に に る の が も に ら る に り る に り る に り る に り る に り に り る に に に に	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可能 を	ガス かけっしょう できます という かいます という できます という	、、たけいでは、 このでは、 このでは、 このでは、 でにて、 でにて、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	F、) と うこう と と で と で で で で で で で で で で で で で で で	井 な 。場前庁所定ダ 画 イン 高を施監室製・データ かん アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカ	は、設計変更の対 アアルト再生品混配 知用内産海場所を を 対して 対して 対して を 対して が 気流及 取付) で の で の で の で の で に の を に の た に に る の が も に ら る に り る に り る に り る に り る に り に り る に に に に	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可能	ガス と こ	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	天 と るる事を場測工※● また・ の出 使ント、しる 建出出出のの	井 な 。場前行所定くが画画	は、設計変更 ファルト再生品を更 知行する。 打す職員の及取者 新元にん では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可能 を	ガス かけっしょう できます という かいます という できます という	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	天 と るる事を場測工※● また・ の出 使ント、しる 建出出出のの	井 な 。場前行所定くが画画	は、設計変更 ファルト再生品を更 知行する。 打す職員の及取者 新元にん では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可能	ガス と こ	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	天 と るる事を場測工※● また・ の出 使ント、しる 建出出出のの	井 な 。場前行所定くが画画	は、設計変更 ファルト再生品を更 知行する。 打す職員の及取者 新元にん では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可能	ガス と こ	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	天 と るる事を場測工※● また・ の出 使ント、しる 建出出出のの	井 な 。場前行所定くが画画	は、設計変更 ファルト再生品を更 知行する。 打す職員の及取者 新元にん では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可能	ガス と こ	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	天 と るる事を場測工※● また・ の出 使ント、しる 建出出出のの	井 な 。場前行所定くが画画	は、設計変更 ファルト再生品を更 知行する。 打す職員の及取者 新元にん では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可能	ガス と こ	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	天 と るる事を場測工※● また・ の出 使ント、しる 建出出出のの	井 な 。場前行所定くが画画	は、設計変更 ファルト再生品を更 知行する。 打す職員の及取者 新元にん では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	
	建設副産物 コンリリートエ事/骨材 はつり・非破壊検査 総合調整 技能士の適用	※ 不可能	ガス と こ	、 こうには、 こうにはは、 こうにはないは、 こうにはは、 こうにははは、 こうにはは、 こうにはは、 こうにはは、 こうにははは、 こうにははは、 こうにはは、 こうにははは、 こうにははは、 こうにははは、 こうにははは、 こうにははは、 こうにははは、 こうにははは、 こうにはははは、 こうにははは、 こうにはははははははいははははいはははは、 こうにはははいはははははいははははいははははいははははいはははははいははいはははいはははは	天 と るる事を場測工※● また・ の出 使ント、しる 建出出出のの	井 な 。場前行所定くが画画	は、設計変更 ファルト再生品を更 知行する。 打す職員の及取者 新元にん では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	象とする。 こう合鉄 るいか こうのの ではた でも ではた でも でも でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる) 距離(を優先的に により探査 引和機器施コ 本 1部	使用するもの し、鉄筋・ □ ○ その↓	己管類の(他 ※ 2ツ折	

壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上げ塗材 ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。 クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、 十分乾燥した後に現場搬入する。 ④ 内装用接着剂,木工事用接着剂,配管用接着剂,接合剂 1) ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼンを含有してないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル,フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。 対策 ⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台 ⑥ ② ③ ② ④ の建築材料を使用する場合はF☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆又は同等品を使用する。

室内に関わる材料(上記②~④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、 エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して 提出するものとする。

1	和英田出主帰帰英	【SGP黒管】(JIS G 345	:0\		Ø +u -i =' \	ン管 (JIS K 6778)					
							・グ鋼管 【D-VA】(WSP(140)			
		【SGP白管】(JIS G 345		HOD 044)		₹塩1℃ビールフイーン ンタールエポキシ塗装		J42)			
10			GGP-VA] (JWWA K 116·V								
1 =			管 【SGP-VD】(JWWA		15	②4 排水用鋳鉄管 【メカニカル形2種管】(JIS G 5525)②5 鉛管(HASS 203)					
			[SGP-PA] (JWWA K 132	2 • WSP 039)	15						
1 =		ル外面被覆鋼管 【SGP		K 440)	1 2	②⑥ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】(JIS K 6741)②⑦ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】(JIS K 6741)					
1 =]管 【SGP-HVA】(JWWA	K 140)		温16.□ル宮 【VU】 記用耐火二層管 【内'					
1 =		ス銅鋼管 【SUS 304 T	- '								
1 =			S G 3459) · · · 60A以下	は拡管式	10	ゴムリング】(JAWAS		1. 1 Mr			
1 =		鉄管 【3種管】(JWWA	G 113)		-		製品 (JIS A 5372)				
1 =	銅管 【M】(JIS H 3				10		.】(JIS G 3452原管) 白				
1 ~	外面被覆銅管 【M】				10	Jエチレン管(JISK					
1 ×		ル管 【HTVP】(JIS K			15			05)によりガス用に製造されたもの】			
		ル管 【VWP】(JIS K 6			1 2		ン保温材】(JCDA 0009)				
1 =		ニル管 【HIVP】(JIS			19			備安全センターの性能認定取得品)			
(16) 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】(JWWA K 127) (36) 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品)											
1 ×	① 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】(JWWA K 129)										
1 ×	18) 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762) 38 -										
1 =	⑨ 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)										
(20)	架橋ポリエチレン管				40 -						
(20)	工種 場所	(JIS K 6769) 屋内一般	屋内ピット	屋内コンクリ	(40) - 屋内土中	屋外埋設	屋外架空				
管	工種 場所 給水(直圧)	屋内一般	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般)	屋内一般	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種	工種場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水	屋内一般 ③ 28	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気	屋内一般 ③ 28	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	<u>工種</u> 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	<u>工種</u> 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気 ガス 消火	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	<u>工種</u> 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気 ガス 消火 給湯	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気 ガス 消火 給湯 器具接続	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通ガス 消火 給湯 器具接続 冷温水	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気 ガス 消火 給湯 器具接続 冷温水	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気 ガス 消火 給湯 器具接続 冷温水 中水	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	工種 場所 給水(直圧) 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気 ガス 消火 給湯 異長 核 冷却水 中水 冷媒	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気 ガス 消火 給湯 器具接続 冷温水 中水	屋内一般 ③ ② ② ② ②	屋内ピット	屋内コンクリ		屋外埋設	屋外架空				
管種使用区分	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通気 ガス 消火 給湯 器具接続 冷温水 冷却水 中水 冷媒 空調ドレン	屋内一般 ③ 28 28 26				屋外埋設	屋外架空				
管種使用区分 ※	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通ガス 消火 給湯 器具接続 冷温水 冷却水 中水 空調ドレン 亜鉛メッキ面の塗装	屋内一般 ③ ②3 ②3 ②3 ②6 ②6 下地は化学処理(エッラ	チングブライマ)を施す			屋外埋設	屋外架空				
管種使用区分 ※※	工種 場所 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 通ガス 消火 給湯 器具接続 冷却水 中水 空調ドレン 亜鉛管類のコンクリー	屋内一般 ③ 23 28 26 で で で で は 化学処理 (エッラ ト内配管には プラスチ	チングプライマ)を施す ックテープ1/2重ね1回		屋内土中	屋外埋設	屋外架空				

/	工種場所	屋内露出	機械室·倉庫	天井·PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考
保温	給水	a2() VII	b() VII	c2(□)VII	d() VII	e2() VII	()	
	排水・空調ドレン	a() VII	b() VII	c2() VII				
防露	給湯	a() I	b() I	c2() I	d() I	e2() I		
路	冷水・冷温水管	A() III	B() III	C1()Ⅲ	D() III	E2() Ⅲ		
	冷媒管	(チ)+	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+		
	矩形ダクト	J1()XI	I()XI	I()XI		K2()XI		
	スパイラルダクト	01()XI	N()XI	N(□)XI		P2()XI		
	(イ)ロックウール保温材	(=)	簡易保温筒10mm	(ト)簡易	引耐熱保温筒20mm	(ヌ)ガルバ	リウム鋼板	
1	(ロ) グラスウール保温材	(未)	簡易保温筒20mm	(チ)冷雄	打田被潛銅管	(ル)カラー	- ガルバリウム鋼板	

(ロ)グラスウール保温材 (ホ)簡易保温筒20mm (ハ)ポリスチレンホーム保温材 (へ)簡易耐熱保温筒10mm (チ)冷媒用被覆銅管(リ)SUSラッキング |(ル)カラーガルバリウム鋼板 (ヲ)ー

■ フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。

※ 器具類(洗面化粧台・給湯器・温水器等)と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。

○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類 (電気メッキ品) は塗装 (さび止めペイント・中塗り・上塗り) を施す。

※ 下記の露出配管、ダクト(ダクト構成部材含む)、電線管、フード類の塗装を行う。

屋内: ○ダクト (指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装) ●フード類(指定色塗装)

屋外: ○ドレン管(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装)

①機械室・ピット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。

②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。

③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。

※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。

※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図13)

※ 水中に設置するような各種主要機器類(水中ポンプ等)は銘板を盤付近にも設ける。(製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。)

※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。

※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。

※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。

※排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示鋲(標示柱は県標準図8)を設ける。

※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。(排水・通気管を除く)

○ 引渡しを要するもの(

○ 現場において再利用を図るもの(

-※ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。

※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。

		三建設計有限会社 養験高-6号 機械設備特記仕様書(1)	
後免野田小学校 3 階トイレ洋式化改修工事(機械)	設計図	高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 総R S=1:100 NO.	м — 01
		一級建築士第135971 安 並 和 文 ^{年 月 日 担当 製図}	IVI — 01

特 記 仕 様 書 (2)

	取付位置	※ 衛生器具及	『周辺機器類の取付	区目で炒口区・米里区=						
•	W Li IT IE			世世は総古呂・展開呂 類と操作ボタン類・操作	作ボタン類と手すり	等の位置関係に注意)				
衛生器 具設	大便器			に接する部分はアスファ		上)とする。(県標準	図1)			
器員	化粧鏡			る場合、和風便器用耐火 損防止のため、裏面シー		- 7 取付かどの処置を	施士			
設備	流量調整			頃の丘のため、表面フ シュ弁流量調整は、下訂				等に記載があれ	ルば内容に準ずる	ること。
厢		大便器 8~			水栓 7秒					
	洗濯機パン			耐荷重性と平滑性に注意						
	シール(コーキング)	○ 器具類と壁	床のシール(コー	キング)打ちは右記の表	表による。		設置場所の原	が湿式(防水)	設置場所の床が	「乾式(非防水)
						機器種別	壁	床	壁	床
						洋風便器 洗面器類	不	- 不	要	<u>不</u> -
						掃除流し	不	_	要	
						洗濯流し	不	-	要	· 不
						洗濯パン	_	_	要	不
						ステンレス流し		不	要	不
						化粧棚	- 大 - 大 - 立 : ウ :		要	
							こかかわらず、自馴 kかかりが好まし [、]			
						長人の人間及れて	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(7611.25	•
	負担金	● 不要 ○)						
全	弁類			品(指定のない場合は、			·/+== / - > #			
給水設備				は青銅製で蝶ハンドル付 は管端防食ねじ込み形青)		
設	継手類			に巨端的及れることがから 具側砲金内ねじ形とする		対処表「自己四回ノイ				
				への接続は砲金継手等を		睛をする。				
		※ ビニル管と	イニング鋼管の接	続には水栓エルボ・水柱	全ソケットは使用し	ない 。				
				砲金)おすネジを打込し						
	バルブボックス			埋設弁のボックスは、県 今は下記の通りにする		- *	. け配叔啦!! ヘゼー	ニートリクタナサ		
	隠蔽部の保温		「保温は特記なき場 中配管 → 要	合は下記の通りとする。 流し下の空間配管		ッの加工か凶難な場合	は監督職員の指列	いこより1休温を放	E 9 o	
	既設給水鋼管への接続			グ鋼管)を切断して、ヤ		レ継手を使用する場合	には、鋼管類の切]断部の防錆処理	惺として、JWWA	K 135規格適合
		(エポキシ	DEVCON SF等パイフ	プライニング用)にて処置	置する。ただし、コ	アー体型管端防食タイ	プソケットRC-LA	型㈱リケンを使	用する場合は処	理不要とする
	水槽類の施工手順	※ 水位設定の	3議後に、水位高さ	入り施工図を作成し発活	主・施工を行う。なる	お、県標準図4を参考	とし水位高さを協	3議する。		
	水槽類の衛生管理			等含む)施工する場合は						
	引渡前の水質の管理			端末において0.2mg/L以 侶に関するは急にまざる			拉北坦亚比北中2	* 年 : / ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	証) しナフ	
					/ - ル 低 + ト 木 (11 1 1 日 1)		抹小场別は拍走り)固別じし ク	· 別/ こりる。	
		○ 建未物に約	る 用工 的 垛 児 の 唯	休に因り る広洋に座 ノヽ	く水質検査(11項目)	について行うこと。				
		○ 建来物に33	る 単 工 的 垛 塊 の 唯	床に戻り る広伴に奉 ノ、	〈水質検査(11項目)	12 JU (17) 2 2 .				
	保護砂 砂利			には、保護砂(180度						
• +#:		○ 第 1 桝以降 ○ 遠心力鉄筋)屋外ビニル管部分 ンクリート管部分	には、保護砂(180度 には砂利台を要す。		100000000000000000000000000000000000000				
	樹脂製排水桝	○ 第 1 桝以降 ○ 遠心力鉄筋 ※ 防護蓋を設)屋外ビニル管部分 ンクリート管部分 でする場合は県標準	には、保護砂(180月 には砂利台を要す。 図7による。	度台)を要す。		- 7			
●排水設備		○ 第1桝以降 ○ 遠心力鉄筋 ※ 防護蓋を設 ● 洗面器等の	D屋外ビニル管部分 ンクリート管部分 する場合は県標準 ▼水金具と専用の排	には、保護砂(180点 には砂利台を要す。 図7による。 水アダブタでビニル管に	度台)を要す。 こ接続できない場合、	VCパッキンを使用す		、 目 堙 淮 図 5 /-	- + Z	
	樹脂製排水桝	● 第1桝以降 ● 遠心力鉄筋 ※ 防護蓋を設 ● 洗面器等の ※ 既製流しの	D屋外ビニル管部分 コンクリート管部分 する場合は県標準 ・水金具と専用の排 ・水金具に使用して	には、保護砂(180月 には砂利台を要す。 図7による。	度台)を要す。 こ接続できない場合、 そのまま使用せず、\	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ		5。県標準図5に	こよる。	
	樹脂製排水桝	● 第1桝以降 ・ 遠心力鉄筋 ・ 防護蓋器等の ・ 洗観流 しの ・ 雨水立管の	屋外ビニル管部分 ンクリート管部分 する場合は県標準 水金具と専用の排 水金具に使用して 部受部は差込継手	には、保護砂(180月 には砂利台を要す。 図7による。 水アダプタでビニル管に いるジャバラホースはそ	度台)を要す。 こ接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 屋建は不要とする。)	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			累出配管→不§
	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等	● 第1 桝 対 以 鉄 筋 没 数 が 別 以 鉄 筋 設 の ※ 既 転 悪 流 立 の 試 歌 不 間 水 ご 高 水 で 高 水 で 高 水 で 高 水 で あ か か か か か か か か か か か か か か か か か か	■屋外ビニル管部分 ンクリート管部分 する場合は県保標準 水水金具に使用して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	には、保護砂(180月には砂利台を要す。図フによる。水アダプタでビニル管にいるジャパラホースは見を使用する。(但し平すを使用する。(すると、受力をできる。	度台)を要す。 に接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 屋建は不要とする。) 水槽他水槽からドレ	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			雾出配管→不多
	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露	● 第1 桝 対 以 鉄 筋 没 数 が 別 以 鉄 筋 設 の ※ 既 転 悪 流 立 の 試 歌 不 間 水 ご 高 水 で 高 水 で 高 水 で 高 水 で あ か か か か か か か か か か か か か か か か か か	■屋外ビニル管部分 ンクリート管部分 する場合は県保標準 水水金具に使用して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	には、保護砂 (180月 には砂利台を要す。 図7による。 水アダプタでビニル管に いるジャパラホースはそ を使用する。 (但し平月 等のスラブ上配管・受力	度台)を要す。 に接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 屋建は不要とする。) 水槽他水槽からドレ	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			累出配管→不多
	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等	● 第1 桝 対 以 鉄 筋 没 数 が 別 以 鉄 筋 設 の ※ 既 転 悪 流 立 の 試 歌 不 間 水 ご 高 水 で 高 水 で 高 水 で 高 水 で あ か か か か か か か か か か か か か か か か か か	■屋外ビニル管部分 ンクリート管部分 する場合は県保標準 水水金具に使用して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	には、保護砂(180月には砂利台を要す。図フによる。水アダプタでビニル管にいるジャパラホースは見を使用する。(但し平すを使用する。(すると、受力をできる。	度台)を要す。 に接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 屋建は不要とする。) 水槽他水槽からドレ	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			零出配管→不動
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等	● 第1 対対 以鉄筋設 が ・ 第 は で	屋外ビニルに 管部分分 できます できます できます できます できます できます できます できます	には、保護砂(180月には砂利台を要す。図フによる。水アダプタでビニル管にいるジャパラホースは見を使用する。(但し平すを使用する。(すると、受力をできる。	度台)を要す。 こ接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 産建は不要とする。) 水槽他水槽からドレ:	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			零出配管→不動
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他	● 第1 対 以 鉄 筋 設 か が	屋外ビニルに 管部分分 できます できます できます できます できます できます できます できます	には、保護砂(180月には砂利台を要す。 図7による。 水アダプタでピニル管に なジガタでポースには を使用する。(但し、受力 大上配管・受力 大上配管・受力 は在区画に適合する処理	度台)を要す。 こ接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 産建は不要とする。) 水槽他水槽からドレ:	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			零出配管→不動
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他	● 第1 対 以 鉄 筋 設 か が	屋外ビニルに 管部分分 できます できます できます できます できます できます できます できます	には、保護砂(180月には砂利台を要す。 図7による。 水アダプタでピニル管に なジガタでポースには を使用する。(但し、受力 大上配管・受力 大上配管・受力 は在区画に適合する処理	度台)を要す。 こ接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 産建は不要とする。) 水槽他水槽からドレ:	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			累出配管→不動
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他	● 第1 対 以 鉄 筋 設 か が	屋外ビニルに 管部分分 できます できます できます できます できます できます できます できます	には、保護砂(180月には砂利台を要す。 図7による。 水アダプタでピニル管に なジガタでポースには を使用する。(但し、受力 大上配管・受力 大上配管・受力 は在区画に適合する処理	度台)を要す。 こ接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 産建は不要とする。) 水槽他水槽からドレ:	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			客出配管→不多
排水設備 ○ 消火設	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他	● 第1 対 以 鉄 筋 設 か が	屋外ビニルに 管部分分 できます できます できます できます できます できます できます できます	には、保護砂(180月には砂利台を要す。 図7による。 水アダプタでピニル管に なジガタでポースには を使用する。(但し、受力 大上配管・受力 大上配管・受力 は在区画に適合する処理	度台)を要す。 こ接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 産建は不要とする。) 水槽他水槽からドレ:	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			累出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他	● 第 1 対 2 対 3 対 3 対 3 対 4 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3	屋外ビニルに を を で で で で で で で で で で で で で	には、保護砂(180月には砂利台を要す。 図7による。 水アダプタでピニル管に なジガタでポースには を使用する。(但し、受力 大上配管・受力 大上配管・受力 は在区画に適合する処理	度台)を要す。 に接続できない場合、 そのまま使用せず、 を理は不要とする。) 水槽他水槽からドレ: 里を施す。 ーカー仕様)	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			零出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他 消火栓箱	● 第 1 桝 カ 差 等 1 桝 カ 差 器 流 立 物 力 差 器 流 立 動 放 洗 既	屋外ビニルに 部分分遣する場合と専門を は水金具に は 差 集 を 中田 通水 音	には、保護砂(180月には、砂利台を要す。図7による。 図7による。 水 アジッパラホース 旧し 受力 を使用すう。 上配管・受力 鏡椎区 画に 適合する 処理	度台)を要す。 に接続できない場合、 そのまま使用せず、\ 産建は不要とする。) 水槽他水槽からドレ: 里を施す。 ーカー仕様)	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ	-ンでも可)とする			累出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の防 球 その他 消火栓箱 弁類 絶縁対策	● 第 1 対力 数 8 前 2 前 2 前 2 前 2 前 2 前 2 前 2 前 2 前 2 前	屋外ビニートは東京 から分準 は から	には、保護砂(180月には、保護砂(180月には、砂利台を要す。図7による。水アジタでボースし、では、いを使用する。 ・	度台)を要す。 こ接続できない場合、 そのまま使用せずる。) 水槽他水槽からドレ: 里を施す。 ーカー仕様) 調弁10K う。 こは絶縁継手を使用・	. VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンバルブまで→必要	-ンでも可)とする			零出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他 消火栓箱	● 第 1 対 2 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3	屋外ピニートは東田田 を	には、保護砂(180月には、保護砂(180月には、砂利台を要す。図7によずタではニル管に水でがある。水アダジカすっず、1 配管・を使れるが、1 配管・のないのでのでは、1 配管・のでは、1 では、1 では、1 では、1 では、1 では、1 では、1 では、1	度台)を要す。 こ接続できない場合、 そのまま使用せずる。) 水槽他水槽からドレ: 里を施す。 ーカー仕様) 調弁10K う。 こは絶縁継手を使用・	. VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンバルブまで→必要	-ンでも可)とする			累出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の防 球 その他 消火栓箱 弁類 絶縁対策	● 洗り 1 付別 2 を 1 を 1 を 1 を 2 を 2 を 3 を 3 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 5 を 5 を 5 を 5 を 6 を 6 を 6 を 6 を 6 を 6	屋外ビニートは中では、 一では、 一では、 一では、 ででででは、 ででででは、 ででででいます。 でででいます。 一ででは、 でででいます。 一ででは、 ででいます。 一ででは、 ででいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	には、保護砂(180月には、保護砂(180月には、保護砂(180月には砂利台る。 といい では、一人の でピール 管にる でピール でいる でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます	度台)を要す。 に接続できない場合、 そのはまま使とする。レジャ槽他水槽からドレジャを施す。 一カー仕様) 「のようないは、 「しょうないは、 「しょくないは、 「しょうないは、 「しょうないは、 「しょくないは、 「しょくないは、 「しょくないは、 「しょくないは	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンパルブまで→必要 ンパルブまで→必要 かを使用する。	-ンでも可)とする			零出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他 消火栓箱 弁類類 策 絶縁対 策 給湯管の保温	● 第 道 が	屋外ビニートは東田の は かかり な ままま かかり は かかり は かかり は かかり は かかり は かかり は かり は は かり は かり は は かり は は は は	には、保護砂(180月には、砂利台を要す。図フには、砂利台る。でピールにはのでによってピール管にでいたがでいた。(配管・マラッでは、大きでのでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	度台)を要す。 に接続できない場合、 を表ますできない場合、 をのはなれて槽とする。レンタは神他水槽のよりである。レンターでは、 するでは、 ないますが、 ないまが、 ないまが、 はいまが、 ないまが、 ないまがればいまが、 ないまがればいまが、 ないまがればいまがればいまが、 ないまがればいまがればいまが、 はいまがいまがればいまが、	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンパルブまで→必要 ンパルブまで→必要 かを使用する。	-ンでも可)とする			零出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の防 球 その他 消火栓箱 弁類 絶縁対策	● 第 道 が	屋外ビニートは東田の は かかり な ままま かかり は かかり は かかり は かかり は かかり は かかり は かり は は かり は かり は は かり は は は は	には、保護砂(180月には、保護砂(180月には、保護砂(180月には砂利台る。 といい では、一人の でピール 管にる でピール でいる でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます でいます	度台)を要す。 に接続できない場合、 を表ますできない場合、 をのはなれて槽とする。レンタは神他水槽のよりである。レンターでは、 するでは、 ないますが、 ないまが、 ないまが、 はいまが、 ないまが、 ないまがればいまが、 ないまがればいまが、 ないまがればいまがればいまが、 ないまがればいまがればいまが、 はいまがいまがればいまが、	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンパルブまで→必要 ンパルブまで→必要 かを使用する。	-ンでも可)とする			零出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他 消火栓箱 弁類類 策 絶縁対 策 給湯管の保温	● 第 道 が	屋外ビニートは東田の は かかり な ままま かかり は かかり は かかり は かかり は かかり は かかり は かり は は かり は かり は は かり は は は は	には、保護砂(180月には、砂利台を要す。図フには、砂利台る。でピールにはのでによってピール管にでいたがでいた。(配管・マラッでは、大きでのでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	度台)を要す。 に接続できない場合、 を表ますできない場合、 をのはなれて槽とする。レンタは神他水槽のよりである。レンターでは、 するでは、 ないますが、 ないまが、 ないまが、 はいまが、 ないまが、 ないまがればいまが、 ないまがればいまが、 ないまがればいまがればいまが、 ないまがればいまがればいまが、 はいまがいまがればいまが、	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンパルブまで→必要 ンパルブまで→必要 かを使用する。	-ンでも可)とする			零出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水での が試験等 その が試験等 その が 対 大 気 病 が な を の が は れ を の の は れ を の の は れ り を り ん り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、	● ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	屋ンプする場とには、 ボ・水部中●物の「は、 ・は、東に、 ・は、東に、 ・は、東に、 ・は、東に、 ・は、東に、 ・は、東に、 ・は、東に、 ・は、東に、 ・は、東に、 ・は、、ののでは、 ・は、、ののでは、 ・は、でいる。 ・は、、ののでは、 ・は、、ののでは、 ・は、、ののでは、 ・は、、ののでは、 ・は、、ののでは、 ・は、でいる。 ・は、でい。	には、保護学・では、保護学・では、保護会会。 は、一般では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	度台)を要す。 さを要す。 こ接続までできないいます。 こをできな用とするにいます。 全を理は他水す。 一カー仕様) 和介のには場合に、 和介のには、 和ののには、 和のののには、 和ののには、 和ののには、 和ののには、 和ののには、 和ののには、 和のののには、 和ののには、 和ののには	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンパルブまで→必要 する。 Dを使用する。 値工を行う。	・ンでも可)とする 流し台下空間面	2管・実験台等へ		累出配管→不多
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水下管の防露 排水で管のの試験等 その他 消火栓箱 弁類対策 給湯管の保温 大気汚染対策	● ※ 第 遠 が 表	屋ンプラスを 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 一には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	には、保護台を。 (18 0月 では、保護台を。 (18 0月 では、保護台を。 (17 0月 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	度台)を要す。 さを要す。 こ接続までできないいます。 こをできな用とするにいます。 全を理は他水す。 一カー仕様) 和介のには場合に、 和介のには、 和ののには、 和のののには、 和ののには、 和ののには、 和ののには、 和ののには、 和ののには、 和のののには、 和ののには、 和ののには	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンパルブまで→必要 する。 Dを使用する。 値工を行う。	・ンでも可)とする 流し台下空間面	2管・実験台等へ		累出配管→不多
排水設備 ○ 消火設備 ○ 給湯設備 ○ ガ	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水水管の防露 排水水管のの試験等 その性 消火栓箱 発験対策 金湯 発験対策 会 会 の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	○ 適防・	屋ンプすな金典部中・計画・物の分準排で手に、 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1	には、保護や (180月) (度台)を要す。 :接続まできない場合、 できな用せするドレニー を要性他を施す。 ・ 一 は様) 「ののでは、 一 は は が は か は か は か は か は か ら に は か ら に は か ら に は か ら に は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンパルブまで→必要 する。 のを使用する。 を工を行う。 新装置・転倒防止金具	等の必要有無に注	意する。		累出配管→不勇
排水設備	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水下管の防露 排水で管のの試験等 その他 消火栓箱 弁類対策 給湯管の保温 大気汚染対策	○ 適防洗既雨空満洗 第適防洗既雨空満洗 消力蓋器流立の試機 栓区 ・ ※ N ※ N ※ N ※ N ※ N ※ N ※ N ※ N ※ N ※	屋ンプすな金銀部中・ 物の の	には、保護台を。 (18 0月 では、保護台を。 (18 0月 では、保護台を。 (17 0月 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	度台)を要す。 :接続まできない場合、 できな用せするドレニー を要性他を施す。 ・ 一 は様) 「ののでは、 一 は は は が は か は か は か は か は か ら に は か ら に は か ら に は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキ ンパルブまで→必要 する。 のを使用する。 を工を行う。 新装置・転倒防止金具	等の必要有無に注	意する。		累出配管→不多
排水設備 ○ 消火設備 ○ 給湯設備 ○ ガス	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水水管の防露 排水水管のの試験等 その性 消火栓箱 発験対策 金湯 発験対策 会 会 の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	○ 添き ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	屋ンプすな金型配面の 保養 2 要 上支 2 の 4 に 4 で 管続 2 要 上支 2 の 4 に 4 で 管続 2 要 上支 2 の 4 に 4 で 管続 2 要 上支 2 の 4 に 4 で 管続 2 要 上支 2 の 4 に 4 で 管続 2 を 2 を 2 を 2 を 3 に 4 で 2 を 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4	には、保護や要のでは、大学のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	度台)を要す。 : 技統ままできない場で、 (を表する) に でき使ままでは (できしません) でき (できしません) では (できしません) では (できしません) では (できしません) に (できしまません) に (できしままません) に (できしままません) に (できしまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	VCパッキンを使用す P配管直結(VCパッキン P配管直結(VCパッキンパルブまで一必要 する。 使用する。 を工を行う。 ・転倒防止金 真具 の固定が出来る部材等	等の必要有無に注	意する。		霧出配管→不多
排水設備 ○ 消火設備 ○ 給湯設備 ○ ガス	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水水管の防露 排水水管のの試験等 その性 消火栓箱 発験対策 金湯 発験対策 会 会 の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	● ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	屋ンすな金金野配通の 県権 できまり できまり できまり かりの できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり	にはは、砂けには、砂けには、砂ができます。 「には、砂ができます。 「には、砂がに プライン () できます できます できます できます できます できます できます できます	度台)を要す。 : 接続できない場で、	VCパッキンを使用す IP配管直結(VCパッキングルンバルブまで→必要 する。 使用する。 を工を行う。 ・転倒防止止金具 の固定が出来る。	・ンでも可)とする 流し台下空間 等の必要有無に注 を使用して接続す	意する。	◇ の立ち上がり置	零出配管→不多
排水設備 ○ 消火設備 ○ 給湯設備 ○ ガス	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水水管の防露 排水水管のの試験等 その性 消火栓箱 発験対策 金湯 発験対策 会 会 の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	● ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	屋ンす水水部中♪物 ()防 網ンー易手化置 はや管続サ・ドライン は、水が割中♪物 ()防 網ンー易手化置 はや管続サ・ で	にはは、砂けには、保護台名。 には、保護台名。 には、保護台名。 には、保護台名。 にこー (日宮) では、 (日本) では、	度台)を要す。 さきない場合、() でき使表までできな用せるドレン でも使きなからでは他水す。 一力 () のは、() のは、	・VCパッキンを使用する PR配管直結(VCパッキンを使用する のを使用する。 を使用する。 を変形を正を行う。 ・転機防・部材等 のないカカーのないカカーのないカカーのないカカーのないカカーのないカーのないカー	・ンでも可)とする 流し台下空間 等の必要有無に注 を使用して接続す	意する。	◇ の立ち上がり置	零出配管→不多
排水設備 ○ 消火設備 ○ 給湯設備 ○ ガス	樹脂製排水桝 衛生器具等の接続 排水水管の防露 排水水管のの試験等 その性 消火栓箱 発験対策 金湯 発験対策 会 会 の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り の の は り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	● ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	屋ンす水水部中♪物 ()防 網ンー易手化置 はや管続サ・ドライン は、水が割中♪物 ()防 網ンー易手化置 はや管続サ・ で	にはは、砂けんでは、	度台)を要す。 さきない場合、() でき使表までできな用せるドレン でも使きなからでは他水す。 一力 () のは、() のは、	・VCパッキンを使用する PR配管直結(VCパッキンを使用する のを使用する。 を使用する。 を変形を正を行う。 ・転機防・部材等 のないカカーのないカカーのないカカーのないカカーのないカカーのないカーのないカー	・ンでも可)とする 流し台下空間 等の必要有無に注 を使用して接続す	意する。	◇ の立ち上がり置	零出配管→不多
排水設備 ○ 消火設備 ○ 給湯設備 ○ ガス	樹脂生器具等のが接続 排水 を管ののの が が か が を で のの が が か が か か か か か か か か か か か か か か	● ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※	屋ンする金のでは、 一型では、 一で	には、砂には、 (1 す。) (1 す。) (1 す。) (2 す。) (3 す。) (4 す。) (4 す。) (4 す。) (5 す。) (6 す。) (6 す。) (7 す。) (6 できる) (7 ずがらかっ。) (6 できる) (7 ずがらかっ。) (6 できる) (7 ずがらかっ。) (7 できる) (7 できる) (7 できる) (7 できる) (7 できる) (7 できる) (8 できる)	度台)を要す。 さきない場合、() でき使表までできな用せるドレン でも使きなからでは他水す。 一力 () のは、() のは、	・VCパッキンを使用する PR配管直結(VCパッキンを使用する のを使用する。 を使用する。 を変形を正を行う。 ・転機防・部材等 のないカカーのないカカーのないカカーのないカカーのないカカーのないカーのないカー	・ンでも可)とする 流し台下空間 等の必要有無に注 を使用して接続す	意する。	◇ の立ち上がり置	霧出配管→不多
排水設備 ○ 消火設備 ○ 給湯設備 ○ ガス	樹脂生器具等の接続 排水 を管 ののの が で 管 ののの が で 管 か が か か か か か か か か か か か か か か か か か	● ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※	屋ンすな金金野配通の 県権 国技・試賞 準受 と 大きなのく 1 必要 上支のく 1 はゃ管続ります にったい 単次 スコッア形圧 応 はって 1 が 1 が 2 に 1 が 3 が 3 が 4 が 5 に 1 が 5 に 1 が 5 に 1 が 5 に 1 が 6 に 1 が 7 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 8 に 1 が 7 が 8 に 1 が 8 に	には、砂では、	度台)を要す。 さ接続まできない場が、ことではできています。 こ接続ますのは他ではできでではできないます。 できでできでではできないます。 できでではできないます。 一力	VCパッキンを使用する PP配管直結(VCパッキンを使用する で→必要 する。 を使用する。 を工を行う。 を工を行う。 を工をする。 を工をする。 のはいかの関係をある。 をする。 のなする。	等の必要 有無に に 注 を使用して アク も に に に に に に に に に に に に に	意する。	の立ち上がり置	零出配管→不多
排水設備○ 消火設備○ 給湯設備○ ガス設備○ 净	樹脂生器具等のが接続 排水 を管ののの が が か が を で のの が が か が か か か か か か か か か か か か か か	○ ※ ● ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	屋ンすか水が部中●物 (前) 網ン一易手化置 はゃ管続り・よ は開いた は、 でいまな のの 果様を いっとなり はっています 単内スコのジス におお 「本の とには、 は でいます は に おお は 関 は でいます は でいます は に おお は 関 は でいます は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	には、砂には、 (1 す。) (1 す。) (1 す。) (2 す。) (3 す。) (4 す。) (4 す。) (4 す。) (5 す。) (6 す。) (6 す。) (7 す。) (6 できる) (7 ずがらかっ。) (6 できる) (7 ずがらかっ。) (6 できる) (7 ずがらかっ。) (7 できる) (7 できる) (7 できる) (7 できる) (7 できる) (7 できる) (8 できる)	度台)を要す。 さを要す。 こを要す。 こをを要す。 こをを要す。 こをを見せれる。 こをのは他のでする。 こをのは他のでする。 こをのは他のでする。 こをのは他のでする。 こをのでは他のでする。 こをのでは他のでする。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる	VCパッキンを使用用する PR配管直対まで一必要 する。使用する。 を工を行う。 を工を行う。 を工をするのは、部分では、 のなする。 を工をする。 を工をする。 をよっ)には、 のなする。 は、また、また、また、また、また。 は、ななない。 は、なない。 は、なない。 は、なない。 は、なない。 は、なない。 は、なない。 は、ないないないないない。 は、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	等の必要 有無に注 を使用してフックも同 で清掃等」を行う	 意する。 る。 様の強度を持つ ほか下記の事項	ものとする。	
排水設備 〇 消火設備 〇 給湯設備 〇 ガス設備 〇 浄化	樹脂生器具等の接続 排水 を管 ののの が で 管 ののの が で 管 か が か か か か か か か か か か か か か か か か か	降筋股のののる 水 はの はびボ管管の監 合シフー支ン録 始の管の はびボ管管の監 合シフー支ン録 開槽特別鉄を等し管あ験排 箱画 はびボ管管の監 合シフー支ン録 開槽特別ない 乗り用ホペア記 開槽特別ない 乗り用ホペア記 開槽特別ない 乗り用ホペア記 開槽特別ない 乗り用ホペア記 開きの はびば を が	屋ンす水水部中●物 (前) 解シー易手化置 はヤ管続サ・よ は開管を開ています。 は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	にはは、砂では、	度台)を要す。 さを要す。 こ接続まできないせずるドンでき使要なからでき使要から でき使要から できでした では といま でき	VCパッキンを使用用する PR配管直対まで一必要 する。使用する。 を工を行う。 を工を行う。 を工をするのは、部分では、 のなする。 を工をする。 を工をする。 をよっ)には、 のなする。 は、また、また、また、また、また。 は、ななない。 は、なない。 は、なない。 は、なない。 は、なない。 は、なない。 は、なない。 は、ないないないないない。 は、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	等の必要 有無に注 を使用してフックも同 で清掃等」を行う	 意する。 る。 様の強度を持つ ほか下記の事項	ものとする。	
排水設備 ○ 消火設備 ○ 給湯設備 ○ ガス設備 ○ 浄化槽設	樹脂生器具等の接続 排水 を管 ののの が で 管 ののの が で 管 か が か か か か か か か か か か か か か か か か か	降筋設のののる 水 はの はの はびボ管管の監 合ンフー支ン録 始の管監 といると等し管あ験排 箱画 はびボ管管の監 合ンフー支ン録 開槽持事 にびボ管管の監 会ンフー支ン録 胎の管監 といったの配視 装グレス持力計 時使理智 かんの はいば で	屋ンす水水部中●物 () 防網ンー易手化置はや管続サ・よは開管によいする金金受配通の 県権 () 保内 () 関係のし継性() 等 2要 上支のイ温は () ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	にはは、砂には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	度台)を要す。 まさいは場合、 () を要す。 にを要するドレニューをでき使来れて、 () でき使悪な用とからでは他本す。 () ではして、 () では、	VCパッキンを使用用する PR配管直結(VCパッキングでの必要 すのをエをでする。 を関する。 を取りまする。 を取りまする。 を取りまする。 が出る。なする。 のなする。 は、大陽 は、大陽 は、大陽 は、大陽 は、大陽	等の必要 有無に注 を使用してフックも同 で清掃等」を行う	 意する。 る。 様の強度を持つ ほか下記の事項	ものとする。	
排水設備 〇 消火設備 〇 給湯設備 〇 ガス設備 〇 浄化	樹脂生器具等の接続 排水 を管 ののの が で 管 ののの が で 管 か が か か か か か か か か か か か か か か か か か	●※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○※○	屋ンす水水部中●物 ()防網ンー易手化置はヤ管続サ・よは開管にに頂がり場具具部管水床 標査 (人工の) というは、大いのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、大いのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	にはは、砂ないで、	度台 分 を 要 す 。	VCパッキンとを使用用する。 (PRICを使用する) (PRICを使用する) (PRICを使用する) (PRICを使用する) (PRICをを行うを工ををできません。) (PRICをを行うを工ををできません。) (PRICをを行うを工ををできません。) (PRICを対している。) (PRICを対しているのはないる。) (PRICを対しているのはないるのはないるのはないるのはないるのはないるのはないるのはないるのはな	・ンでも可)とする流し台下空間等の必要有無にた使用してフックもにび清掃い、そのこのびがきでのこの	意する。 意する。 る。 ほか下記の事管理 ほかで維持管理	ものとする。	

•	空調機器の仕様	※ グリーン購入法(国等による環境物品	等の調達の推進等に関する法律	(平成十二年法律第百号)) の判断基	準適合品とする。					
-		なお、パッケージ及びマルチエアコン	等については、各メーカーの最	最高効率機種とする。						
空气		○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ()屋外機は耐塩害仕様とする。							
気 調	パッケージエアコン等	※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。								
和		● 天力セ形室内機の取付等による天井の	開口及び補強・補修を行う。	(建築工事標準詳細図参照)						
• 換		1)補強野縁は野縁と、補強野縁受及	び取付け用補強材は野縁受と同]材とする。						
気設		2) 野縁受のはね出しが300mm以上の均	場合は、増し吊りを設ける。							
設		※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜	鉛メッキ製またはSUS製の転倒	防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを	を設ける。					
VHI	自動空気抜き弁装置	○ 不要 ○ 要()ヶ所 自!	動空気抜き弁にはGV及びスト	レーナーを取付ける。						
	冷媒配管のラッキング	※ 配管ラッキング(溶融アルミニウムー	亜鉛鉄板・配管化粧カバー)は	は室外機の直近まで施す。						
		※ 配管樹脂化粧カバー(スリムダクト)も	室外機の直近まで施す。なお、	屋外スリムダクト最終部は閉塞処理	を行う。(コーキング処理、またはエンドキャップ処理)					
		(フリーコーナー(ジャバラ)は使用した	はい。)							
	ダクト	○ アルミフレキ (不燃材料認定品) ○	ステンレスフレキ(不燃材料	認定品) 〇						
	消音内貼り	※ 内貼りチャンバの寸法表示は、外法寸	法とすること。サプライチャン	バにはその上に銅きっ甲金網押えを	行う。					
		※ 消音材はグラスウール(吹出ロチャン/	バー・吸込ロチャンバー・レター	ンチャンバーは25mm厚,サプライチャ	ンバーは50mm厚)とし、ガラスクロス押えとする。					
	厨房等の排気フード	※ 排気フードは、SUS430製とする。(1.	Omm厚)							
		※ フィルターは分解掃除が出来るものに	する。							
		※ 黄銅製コックは20mmのものとする。 (キャップ止でもよい)							
		※ 火器使用機器が確定後にフードの形状	寸法を変更して、投影面積が変	わる場合はフードの面風速もチェッ	クする。					
		(参考:フードの面風速は一般的に0.3	m/sとして設計している。)							
	送風機(大型)	※ 送風機の機器表にファンの番手(#)	を明記している場合、小さい番	手にしない。						
	エアコン類の電気工事	※ エアコン設置に必要な一次側電源送り	以降の、室内外渡り電源線、制	御線、アース(CE2sq/4C・CE3.5sq/4	C程度)を要す。					
		※ リモコン線はEM-AEO.9mm/2C~3C、又はVCT	F0.75sq/2C~3Cとする。(但し	,延長が10m以下のリモコン線は機器付属品	計でもよい。)					
		※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じ	ルートを施工する場所は同保温	4外装内に納める。(電源・制御配線	の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。)					
		※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は	視認性の良い高さ(1,300~15	DOh) 照明SWの上を標準とするが、	総合図で充分打合せ調整を行う。					
	防振ハンガー	※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準	図14による。							
	耐震対策措置	※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設	備耐震対策措置は県標準図15	による。						
	機器付属の制御盤	※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機	の盤の始動スイッチの二次側に	:煤煙濃度計用電源端子を設ける。						
	大気汚染対策	○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい	煙濃度測定口を要す。							
_	別途工事	〇 スリーブ、箱入れの補強筋	○ ガラリ	● 点検口	0					
別工		● 天井および壁貫通に対する下地補強	○ プロパンボンベ庫	0	0					
途 事				-						
ш :	材料メーカー表									

	材 料	材料メーカー
	衛生陶器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
	水栓金具類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
	FRP水槽	三菱、日立、積水 ブリヂストンを削除
	うず巻ポンプ	在原、日立、テラル、川本
	水中モーターポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見
	汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見、新明和
	電気温水器	四変テック、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
	厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
	小型鋼板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネポン、ヒラカワ
	FRP膨張タンク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
	ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
	パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
	冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
	エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重エ
	送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
	冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
	自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
	ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
	全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
	その他	国土交通省仕様適合品
i		

D-24 2 = 4	ボイラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者 (小型ボイラ) ○ 講習修了者 ○ () 級ボイラ技士
完成後必要な	危険物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
取扱資格者	冷凍機	○ 資格不要 ○ 第 () 種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打 合 世 事 項	硝	图 認	日	
給 水			令和	年	月	日
排水			令和	年	月	日
消 防			令和	年	月	日
浄 化 槽			令和	年	月	日
ガス			令和	年	月	日
その他			令和	年	月	日
			令和	年	月	日

			三	建	設 計	有	限	会 社	登録高-6号	図面	^{1名称} 機柄	設備特記	士様書(2)	
後免野田小学校3階トイレ	洋式化改修工事(電気・機械)	設計図	高 知	市知書	寄町 1-	5 — 1	TEL	883-1761	FAX 883-1633	縮尺	S=1:100			NO. M — 02
			— 級	建築士	上第13	5971	安	並和文	;	- 1	手 月 日	担当	製図	м — 02

改修後

男子便所、洗面室	[撤去器具表]	
器具名	型番	数量
和風大便器	C750VF, TV173, 紙巻器	1
腰掛便器	C 2 1, T V 1 7 6, 紙巻器	1
小便器	U 2 9, 手動 F V	5
I 型手すり	L=600	2
水栓	T200S13	3
床排水金物	T5B-50	1
流し排水トラップ	T14AA-50	2
床上掃除口	COB-80	2

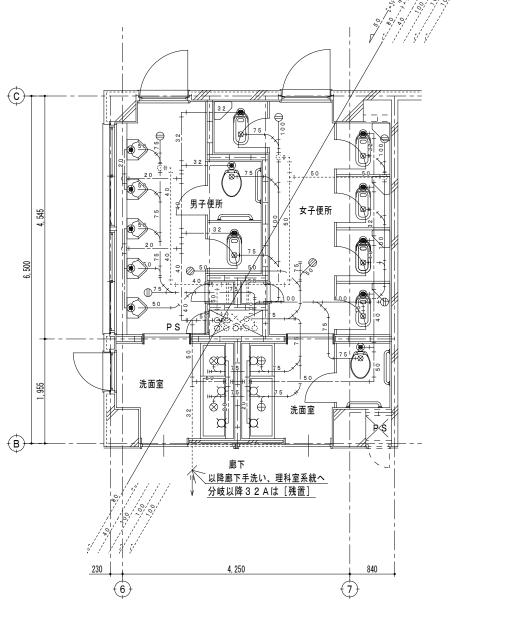
女子便所、洗面室	[撤去器具表]	
器具名	型番	数量
和風大便器	C750VF, TV173 (撤去済)	5
	ロータンクへ改修、紙巻器	
腰掛便器	C 2 1, T V 1 7 6, 紙巻器	1
I 型手すり	L=600	2
水栓	T200S13	3
床排水金物	T5B-50	1
流し排水トラップ	T14AA-50	2
床上掃除口	COB-100	3

 服公託 610 ft
 保温
 天井・PS内仕様 (グラスウール)

 給水
 硬質塩ビライニンング鋼管 (SGP-VA)
 保温
 天井・PS内仕様 (グラスウール)

 通気
 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)





3階 便所平面詳細図 [改修前] S=1:50

※ 図中の衛生器具、排水金物、配管、保温材を [撤去] とする。 (撤去器具表参照)

※ PS立管は[現状残置]とし、給水配管は弁以降を[撤去]とする。

※ 撤去後の躯体開口は和風大便器部を除き本工事にてコンクリート補修とし仕上は建築工事とする。 ※ 女子便所 和風大便器はロータンク方式に改修、既設FV床給水よりSGP-VA20Aにて露出配管。

男子便所[新設器具	表]	
器具名	型番	数量
腰掛便器	CS597BMS, SH596BAYR,	2
(ロータンク方式)	TCF5534, HE39, HT430-7	
紙巻き器	YH701 [棚付2連タイプ]	2
L型手すり	T112CL9, T110D3R×3	1
L型手すり	T112CL9, T110D16×2,	1
L至ナリリ	T110D34	'
小便器(低リップ)	UFS900R	4
小便器用手すり	T112CU22, T110D15×4	1
床上掃除口	CKH-100※シート床用とし床段差無	1

	器具名	型番	数量
	腰掛便器	CS597BMS, SH596BAYR,	2
	(ロータンク方式)	TCF5534, HE39, HT430-7	
	紙巻き器	Y H 7 O 1 [棚付 2 連タイプ]	2
	L型手すり	T112CL9, T110D3R×3	1
	L型手すり	T112CL9, T110D16×2,	1
		T110D34	'
	小便器(低リップ)	UFS900R	4
	小便器用手すり	T112CU22, T110D15×4	1
	床上掃除口	CKH-100※シート床用とし床段差無	1
	※腰掛便器洗浄はセ	ンサースイッチ(乾電池)方式とする。	

※腰掛便器洗浄はセンサースイ	ッチ	(方式とする。

洗面室 [新設器具表]							
器具名	型番	数量					
自動単水栓	TLE26SP1A	6					
手洗いシンク	SUS製 建築工事	(2)					
化粧鏡	YM4560A	4					
流し排水トラップ	T14AA-50	2					
床上掃除口	CKH-80 ※シート床用とし床段差無	1					

(c)

 \bigcirc B

_ 女丁读剂 [初政命兵衣]						
器具名	型番	数量				
腰掛便器	CS597BMS, SH596BAYR,	5				
(ロータンク方式)	TCF5534, HE39, HT430-7	3				
紙巻き器	Y H 7 O 1 [棚付 2 連タイプ]	5				
L型手すり	T112CL9, T110D3R×3	4				
L型手すり	T112CL9, T110D16×2,	1				
「至子すり	T110D34	'				
床上掃除口	CKH-100※シート床用とし床段差無	2				
※腰掛便器洗浄はセ	ンサースイッチ(乾電池)方式とする。	_				

2.0	
ボール弁	1
B A V - 3 2 A	1
ボール弁	1
B A V - 4 0 A	ı

床・壁貫通箇所(男子便所)									
設備	場所	管径	口径	厚み	構造	数量			
給水	床	2 0	50	130	RC	5			
排水	床	5 0	100	130	RC	4			
排水	床	7 5	125	130	RC	2			
排水	床	100	150	130	RC	1			
給水	壁	2 0	50	120	RC	1			
給水	壁	3 2	100	120	RC	1			

床貫通箇所(女子便所)								
設備	場所	管径	口径	構造	数量			
給水	床	2 0	50	130	RC	5		
排水	床	7 5	125	130	RC	5		
排水	床	100	150	130	RC	2		

床・壁貫通箇所(PS)								
設備	場所	管径	口径	厚み	構造	数量		
給水	床	4 0	100	130	RC	1		
給水	壁	4 0	100	120	RC	1		
通気	壁	5 0	100	120	RC	1		

床・壁貫通箇所(洗面室)								
設備	場所	管径	口径	厚み	構造	数量		
給水	床	20	50	130	RC	1		
排水	床	5 0	100	130	RC	2		
排水	床	7 5	125	130	RC	1		
排水	壁	50	100	120	RC	1		

※男女便所は床スラブにシンダーコンクリート≒120打設。 ※穴あけ貫通はダイヤモンドコア使用とする。
※厚みは構造体の寸法としモルタル、仕上材は含まない。 ※貫通施工は特記仕様書(1)一般共通仕様

__ はつり・非破壊検査の項目に準じて行う。

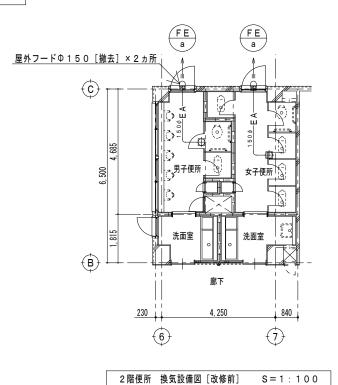
3階 (更所平面詳細図	[改修後]	S = 1 : 50
	既設配管接続	箇所を示す。	
②	躯体床貫通箇	所を示す。	

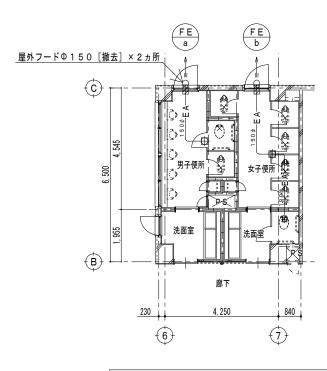
洗面室

以降廊下手洗い、理科室系統へ

	三建設計有限	会社 登録高-6号	図面名称 3階便所平面詳細図 [改修前・改修後]
	高 知 市 知 寄 町 1-5-1	TEL 883-1761 FAX 883-1633	縮尺 S=1:50 NO. M — 03
	一級建築士第135971	安 並 和 文	年月日担当 製図 101 — 03

改修前





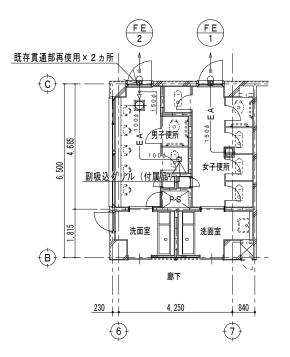
3階便所 換気設備図 [改修前] S=1:100 ※ 3階天井解体撤去に伴い換気設備の [撤去] を行う

撤去換気機器 リスト

- FE 天井埋込換気扇
- a V-16ZB2 (三菱電機) Φ150×30. 0w×3. 3kg ×2台
- FE 天井埋込換気扇

※ 丸ダクトは亜鉛鉄板製スパイラルダクトを使用。

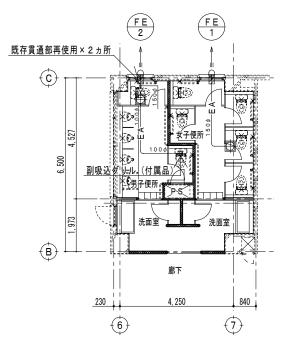
改修後



※ 2階天井解体撤去に伴い換気設備の [撤去] を行う

 2階便所 換気設備図 [改修後]
 S=1:100

 ※ 2階天井新設に伴い換気設備の [新設] を行う



3階便所 換気設備図 [改修後] S=1:100 ※ 3階天井新設に伴い換気設備の [新設] を行う

新設換気機器 リスト

記号	機器名称	機器仕様	電気容量 Φ-V	[参考値] W	台数	設置場所	備考
FE 1	天井埋込換気扇	低騒音型 プラスチックボディ・ファン・グリル (格子) Φ150×300m3/h×60Pa (強ノッチ) 3段階風量切替 (内2段階採用) DCブラシレスモーター、高気密風圧シャッター付 SUS製深形フード Φ150	1-100	7.0	2	2階 女子便所 3階 女子便所	天吊り金具共 コントロールスイッチ (24時間換気対応、風量ノッチ 選択タイプ)
FE ₂	天井埋込換気扇	低騒音型 プラスチックボディ・ファン・グリル(格子) 副吸込口付2箇所同時排気型、副吸込グリル共 Ф100×250m3/h×100Pa(急速ノッチ) 3段階風量切替(内2段階採用) DCブラシレスモーター、高気密風圧シャッター、 風量調整板付(本体・副吸込グリル共) SUS製深形フード Φ150(ダクト増径図示)	1-100	31.0	2	2階 男子便所 3階 男子便所	天吊り金具共 コントロールスイッチ (24時間換気対応、風量ノッチ 選択タイプ)

換 気 設 備 特 記 事 項 (天井埋込換気扇) 機器風量、静圧、は記入値以上とし、消費電力等は以下とする、機器据付に際しては、特記仕様書(一般共通仕様 耐震措置)の項目に従い施工すること。 排気ダクトは、亜鉛鉄板製スパイラルダクトとし、外壁より1.0mに保温(グラスウール)を施す。 屋外フードは機器表参照とし深形フードSUS304製(SUS製防鳥網・壁汚れ軽減[ワイド水切り]・指定色焼付塗装)とする。 天井ダクト扇のON、OFF制御は電気設備工事としコントロールスイッチ(樹脂製ワイドタイプ)は、電気設備に無償支給とする。 雨仕舞いには、充分対処して施工する。

		三建設計有限会	社	登録高-6号	図面名称 2,	3階便所	換気設備図[ひ修前・改修後]
後免野田小学校3階トイレ洋式化改修工事(電気・機械)	設計図	高 知 市 知 寄 町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:100			NO.
	_	一級建築士第135971	安 並 和 文		年 月 日 担	旦当	製図	IVI —— 04